

令和3年度  
事務事業の決算評価報告書  
事務事業の外部評価報告書

遊佐町イメージキャラクター



遊佐町行政評価推進委員会  
遊佐町行政評価外部評価委員会

## 目 次

第1部 事務事業の決算評価報告書（内部評価）	P1
遊佐町行政事務事業評価制度の概要	P2
事務事業評価シート記入例	P6
事務事業（決算評価）4段階評価の手法	P7
遊佐町行政事務事業評価制度体制図	P9
令和4年度 遊佐町行政評価推進委員会 委員名簿	P10
遊佐町行政評価推進委員会設置要項	P11
令和4年度 内部評価結果一覧表（令和3年度事後評価） 総合発展計画 第4章～第6章 ※令和4年度外部評価対象外事業	P12
事務事業評価シート（令和4年度外部評価対象事業シート） 総合発展計画 第1章～第3章	P20
第2部 事務事業の外部評価報告書	P79
外部評価制度について	P80
評価の視点	P80
令和4年度 遊佐町行政評価外部評価委員会 委員名簿	P83
遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱	P84
遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱	P85
令和4年度 行政評価外部評価ヒアリング 日程表	P86
令和4年度 外部評価ヒアリングの結果	P87
令和4年度 外部評価結果一覧表（令和3年度事後評価）	P90
令和4年度 外部評価制度に対して外部評価委員から出された意見	P98
外部評価対象外事業一覧表	P100
おわりに・・・令和4年度外部評価委員会を振り返って （埼玉大学大学院人文社会科学研究所 教授 齋藤友之）	P107

・ ・ ・ ・ ・ 第 1 部 ・ ・ ・ ・ ・

事務事業の決算評価報告書  
(内部評価)

## 遊佐町行政事務事業評価制度の概要

### 1. 行政評価とは

行政評価とは、行政が行う施策や事業を「住民にとっての効果は何か」、「当初期待したとおりの成果はあがっているのか」という視点から客観的に検証を行い、より効率的・効果的な町政、住民にわかりやすい町政の運営をめざすものです。また、評価した結果を翌年に活かしていく手段ともなります。

客観的評価により明らかになった課題を迅速に次の計画に反映していくことで、住民本位の町政、住民の立場に立った町政に変えていく行政運営のひとつの手段といえます。

### 2. 行政事務事業評価制度を導入している理由

財政状況において、限られた歳入で多様化する住民ニーズに機動的かつ的確に応えるため、予算や職員等の行政資源をより効果的に配分することが必要です。

このため、住民への説明責任、長期計画の進捗管理、成果を重視した行政運営、限られた財源の有効活用、職員の意識改革など行政の自立性をより向上させ、一層の推進を図っていかねばなりません。

行政には事業の内容を始め、事業の効果、事業の費用、事業の成果などについて、住民にわかりやすい形で説明していく責任があります。

こうした状況の中、事業の当初の目的を再確認し、期待したとおりの成果があるか、より効率的な方法はないか、などについて検証する必要があります。そのために、いわゆる「行政事務事業評価制度」を導入しております。

### 3. 行政評価を導入する目的

#### (1) 住民への説明責任（アカウンタビリティ）の向上

施策・事務事業の目的、内容、達成度などを住民にわかりやすい形で公開することによって、住民に対する説明責任（アカウンタビリティ）の向上を図ります。

#### (2) 住民との協働のための事務事業の透明性の向上

施策・事務事業の目的や目標を明確にし、その成果・結果を明らかにすることによって、住民との協働の範囲を明らかにすることにより、協働のまちづくりの具現化を図ります。

#### (3) 事業目的達成のための改革・改善

施策・事務事業の目的、内容、達成度などを客観的に評価することにより、その結果から目標を達成するための改革・改善の方向を明らかにします。

#### (4) 職員の創造性の醸成

施策・事務事業の目的意識・目標達成意識を確認することにより、地方分権に対応する、職員の創造性を醸成します。

### 4. 評価の対象となる事業

行政評価の対象となる事業は、教育委員会部局を除く一般会計、特別会計および企業会計に属する全ての事務事業です。ただし、次に掲げる事業は、外部評価の対象外とします。

- (1) 町に裁量権がない事業（国、県の補助事業や当番制による事業など）
- (2) 扶助的性質の高い事業（生活扶助や就学扶助に関する事業など）
- (3) 施設の維持管理、計画策定、県の要請や委託など確実な実施で目的が達成する事業
- (4) 長期的な評価しか適当でない事業（単年度では評価できない事業など）
- (5) その他、基本的な事務に関する事業（職員の旅費、事務費、福利厚生に関する事業など）

## 5. 評価の方法

評価は、行政評価システムにおける「事務事業評価シート」（P20～P78 を参照）に基づいて行います。

この「事務事業評価シート」について説明しますと、各事務事業は、総合発展計画の【章】（政策）、【節】（施策）、【項】（事業群）により分類しています。そして、直接事業費についても大まかに記載しています。（尚、事業によっては単独で予算化されていないものもあり、空欄の場合もあります。）さらに、各事務事業について目的・活動内容・対象者・成果を設定し、目標数値は現状を踏まえて定めています。その際の算出式も具体化しています。（但し、性質上定めがたいものは空欄となります。）

こうした前提に立ち、目標数値と結果の差や「評価基準」を参考にして、担当課で評価を下したのが、「担当課年度評価」欄と評価値・方向性になります。平成 22 年度から、町民の外部評価委員による外部評価制度を導入しましたが、その外部評価委員による評価が、「外部評価」欄と方向性になります。さらに、外部評価の結果を踏まえて、町としての最終見解をまとめたのが、「町としての考え方」欄と方向性になります。

次に、有効性、妥当性等の「評価基準」の考え方について述べていきます。

「評価基準」欄の数値の記載方法についてですが、次ページの表 1 のとおりですので、参照してください。

続いて、効率性と活動量について説明します。まず、P7 の「事務事業評価（決算評価）4 段階評価の手法」をご覧ください。これは、縦軸と横軸の相関関係からの手法です。この中で、効率性は、「コスト縮減の余地」で捉えることにしています。その際の参考になるのが「事務事業評価シート」の直接事業費の推移です。コストそのものを論じれば、携わる職員の人件費も考慮するのが正論なのですが、スキルがそこまで到達していないため、現時点では考慮されていません。直接事業費の推移と事業の実施内容を勘案して、4 点～1 点の区分で判定しております。

活動量は、事業実施の活動指標や活動回数が判定基準となるように、各事業の年間における活動の量を捉え、3 点～1 点に区分しています。

●表 1

<p># 有効性・妥当性・貢献度</p> <p>1・・・不可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できる要素が極めて少ない)</p> <p>2・・・不可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できる要素が少ない)</p> <p>3・・・可(考え方や目標数値と結果を見て、評価できるものもある)</p> <p>4・・・良(考え方や目標数値と結果を見て、8割方評価ができる)</p> <p>5・・・優(考え方や目標数値と結果を見て、十分な評価ができる)</p> <p>※ 評価の基準</p>			
評価基準	考 え 方	判 断 根 拠	5段階評価
有 効 性	① 計画に対する到達具合は ② 成果に対しどれだけ貢献したか	事業の具体的な結果 数値ほか	1～5
妥 当 性	① 社会情勢の変化に対応しているか ② 住民ニーズに対応しているか ③ 事業手法は適切か ④ 受益者負担が適切か ⑤ 町が関与していくべきものか	事務事業の目的、対象 者、手段の設定等が適 切であったかを総合 的に勘案	1～5
貢 献 度	① その事務事業の施策推進への貢献度 【章】【節】【項】の上位群への貢献度	同一施策内の事務事 業との比較	1～5

そして、先に上げた評価基準の「妥当性」「貢献度」「有効性」については、この手法を用いるために、「妥当性」では「5」「4」を1点に、「3」を0.5点、「2」「1」は0点に置き換えています。同様に、「貢献度」「有効性」では「5」「4」を3点に、「3」を2点、「2」「1」は1点に置き換えています。

この置き換えは、「縦軸と横軸の相関関係からの手法」のルールと解釈してください。

なお、目標が設定できない事業については、記載のとおり縦軸項目は全体評価時に参入していません。

こうして、縦軸・横軸の相関関数で判定していくと、「4段階の評価の内容」そして「決算評価をもとに、次年度以降の方向性を判断」に進展し、「事務事業評価シート」の「担当課年度評価」欄の評価値・方向性に結びついていきます。

但し、最終的には、次ページの表2のような区分で判定しています。

この行政評価システムは、できるだけ客観的に評価できるように構築されていますが、始点はあくまでも事業担当者・係・課において目標を設定し自己評価していることに変わりはありません。

したがって、恣意的要素を除去する手立てとして、遊佐町行政評価推進委員会(委員長を副町長とする職員17名で構成(P10委員会名簿参照))を設置し、行政評価システムの改善を含めて、この一連の作業の核となり、チェック機関として機能するように努めています。

●表 2

◆「拡大」・・新たに事業を展開するなど、積極的に行政が関与していく(基本はA)
◆「継続」・・従来 of 事業の内容・方法のままで継続する(基本はA)
◆「改善」・・従来 of 事業の内容・方法の見直しを行う(基本はB)
◆「縮小」・・既存 of 事業を整理するなど行政関与を見直し減らしていく(基本はC・D)
◆「統合」・・関連・類似事業との整理統合を行う(評価欄の記述を参考)
◆「廃止」・・事業を廃止する。行政は関与しない(評価欄の記述を参考)
◆「終了」・・事業の目的を達成して、事業を終了する(評価欄の記述を参考)
◆「対象外」・・評価の必要性が低いため、評価対象から外す。

また、平成 22 年度より、行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、町民の委員による外部評価を実施しております。その報告書については、第 2 部の「事務事業の外部評価報告書」により、報告いたします。

なお、平成 28 年度の外部評価(平成 27 年度分の評価実施)より、より深く時間をかけて事業内容について評価することを目的に、前述の総合発展計画の【章】(政策)により全事業を 2 つに分け、2 年で全事業を外部評価(1 年で半数ずつの事業を外部評価)する方法に変更しました。令和 4 年度は総合発展計画の第 1 章から第 3 章に該当する事業(59 事業)を評価しました。

以上の評価を踏まえて、最終的に「遊佐町行財政改革推進委員会」(課長会議)において、「町としての考え方」について確認をし、次年度に反映させる努力をしています。

## 6. 評価結果の公表と活用

担当課による評価を行い、さらに外部評価を実施した事務事業の評価結果については、「事務事業の決算評価報告書・事務事業の外部評価報告書」としてまとめ、町民に公表いたします。また、9 月の町議会、振興審議会に報告され、令和 5 年度の振興計画策定及び予算編成に活用いたします。

## 7. その他

- ・事務事業評価シート記載例 (P6)
- ・事務事業評価(決算評価)4 段階評価の手法 (P7)
- ・事業判定フロー図 (P8)
- ・遊佐町行政事務事業評価制度の体制図 (P9)

※ 次ページ以降を参照してください。

# 事務事業評価シート記載例

## 事務事業評価シート

所管課・係名	企画課 企画係		事業No.	245			
事務事業名	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業	予算大事業名	国際交流事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第3節 共に助け合う地域の絆の再生						
総合発展計画【項】	第2項 地域福祉を担う人材育成						
事業の概要	目的 外国人住民の生活継続の確保						
	内容 母国への里帰りの際の交通費や、就労に役立つ資格取得費に対する助成を行う						
令和元年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。				方向性	継続	
令和2年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症の影響により里帰りが難しい状況下にあるが、引き続きNPOいなか暮らし遊佐応援団と連携し、対象者に分かりやすい事業周知及び対応に努める。				方向性		継続
令和3年度に対応した主な活動	日本語講座受講者への周知を行った。また、手続き等について問い合わせも多く、NPO法人いなか暮らし遊佐応援団と連携し対応を行った。						
予算・決算 (千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	300	0	0	300			
令和3年度決算内訳(千円)							
成果指標設定の考え方	里帰り助成及び資格取得助成の申し込み件数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和6年		
	転出 10人 転入 24人 ※住民登録77人	0件	0件	目標値	10件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	新型コロナウイルス感染症の影響で、里帰り助成件数及び資格取得助成件数は0件だった。事前の相談・問合せは何件かあったが丁寧な対応ができたと思う。						
課題(改善すべき点や方向性)	令和4年度以降、新型コロナウイルス感染症が落ち着きが見えれば、事前の相談・問合せが増えると考えられるため、引き続き周知を行いながら、相談があった際は分かりやすい対応に努める。						
外部評価委員会の意見	着実に進めていただきたい。					方向性	継続
						方向性	
町としての考え方	引き続き事業の周知を行いながら、在町外国人の定着・生活継続に資するよう進めていく。					方向性	継続
						方向性	

○計画【章】【節】【項】  
「遊佐町総合発展計画(第8次遊佐町振興計画)」(別冊)の目次「第3編 基本計画」の章・節・項(項は該当ページ内の「具体的施策」)

○令和元年度の外部評価の意見  
最後に外部評価を行った際の外部評価委員による指摘事項

○令和2年度分町としての考え方  
昨年度の本事業に対する町の方向性

○令和3年度に対応した主な活動  
前回の外部評価委員の私的や課題に対し、令和3年度に町が対応、実施した活動昨年度に実際に行った

○評価基準・評価値・方向性・担当課年度評価及び課題  
事業について、担当課で評価した内容を記載。令和3年度の評価の理由と、今後の課題について明記

○外部評価・方向性  
外部評価ヒアリングの内容から、外部評価委員が意見をまとめて記載。

○町としての考え方  
外部評価の意見を受けて、今後の事業についての町の考え方を記載。



# 事務事業評価(決算評価)4段階評価の手法

● 決算評価A～Dは各項目ごとの評価を、下記のルールに当てはめて算出しています。

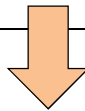
縦軸 = 「妥当性」「有効性」

妥当性(事業内容が適切か)		×	施策への貢献度	+	有効性(成果達成度) 目標値に対する実績値の割合	=	5点以上……AかB 4点以下……CかD
評価			評価		評価		
5・4	「妥当である」……1点		5・4	「大きい」……3点	5・4	80%以上……3点	
3	「一部妥当である」……0.5点		3	「普通」……2点	3	50%～80%……2点	
2・1	「妥当ではない」……0点		2・1	「小さい」……1点	2・1	50%未満……1点	

横軸 = 「効率性」「活動量」

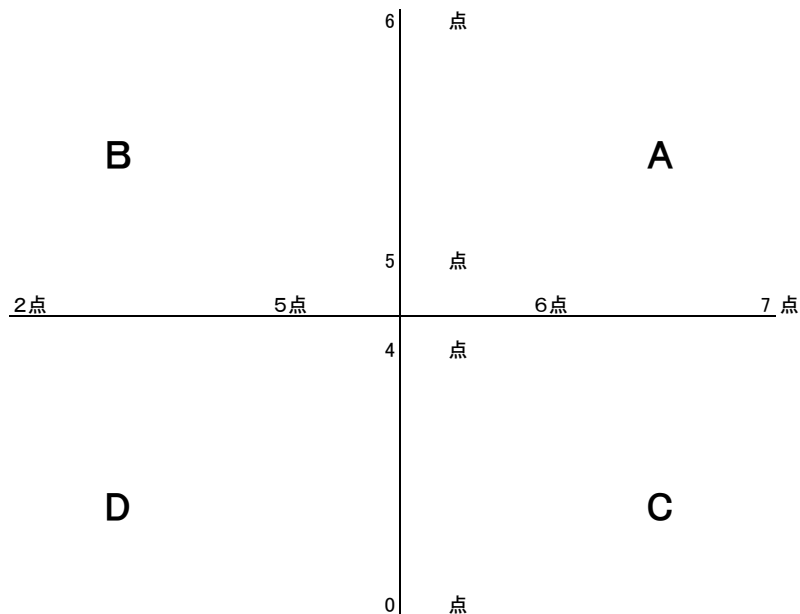
コスト縮減の余地		+	事業実施の活動量	=	6点以上……AかC 5点以下……BかD
評価			評価		
4	「全くない」……4点		3	100%以上……3点	
3	「少しはある」……3点		2	50%～100%……2点	
2	「かなりある」……2点		1	50%未満……1点	
1	「大いにある」……1点				

※ 有効性(成果達成度)の評価基準である目標が設定できない事務事業については、縦軸項目を参入していません。AかBの決算評価になります。



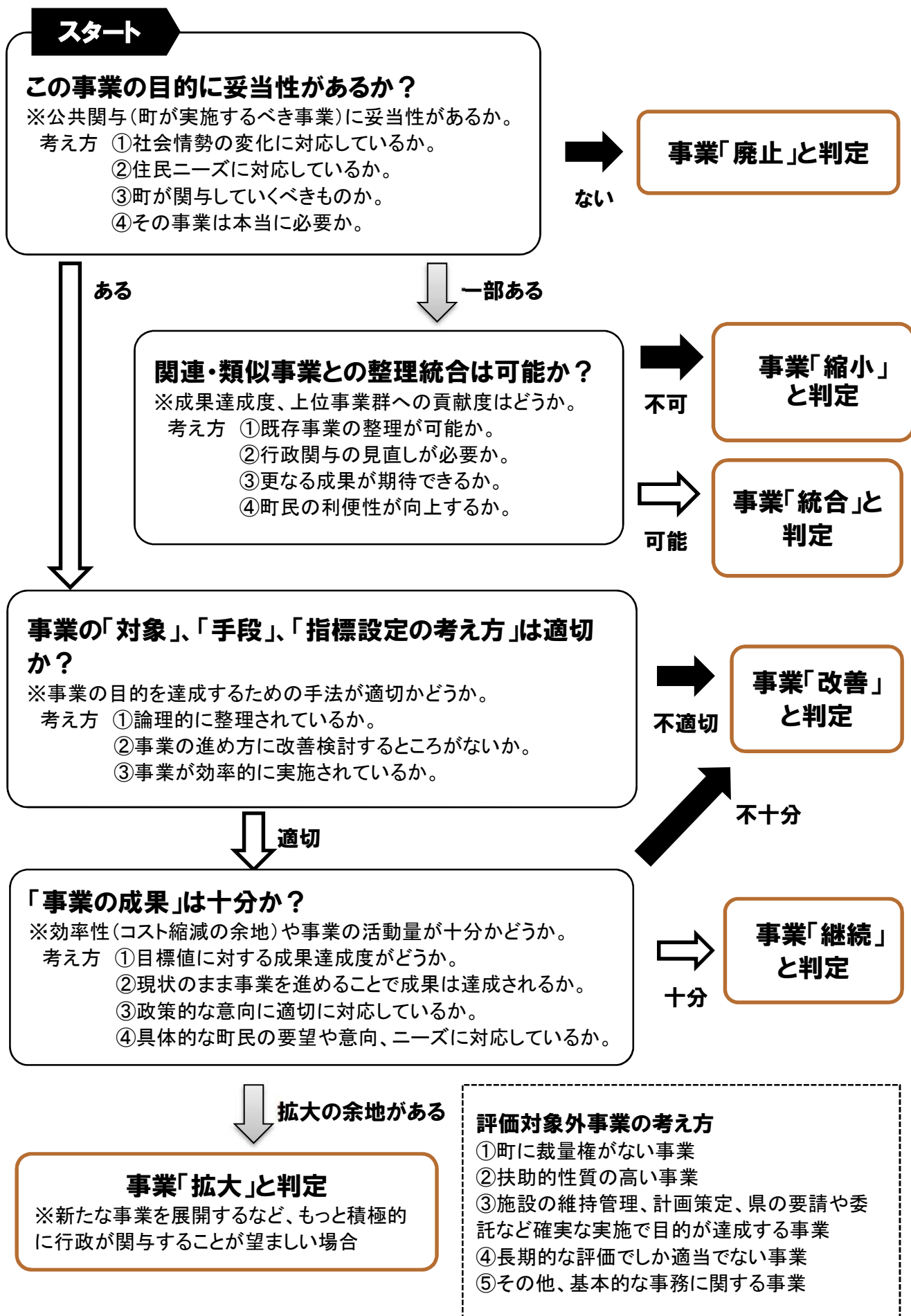
○縦軸: 公共関与の妥当性×(上位事業群への貢献度+成果達成度) ⇒ AかBまたはCかD

○横軸: コスト縮減の余地+活動量 ⇒ AかCまたはBかD

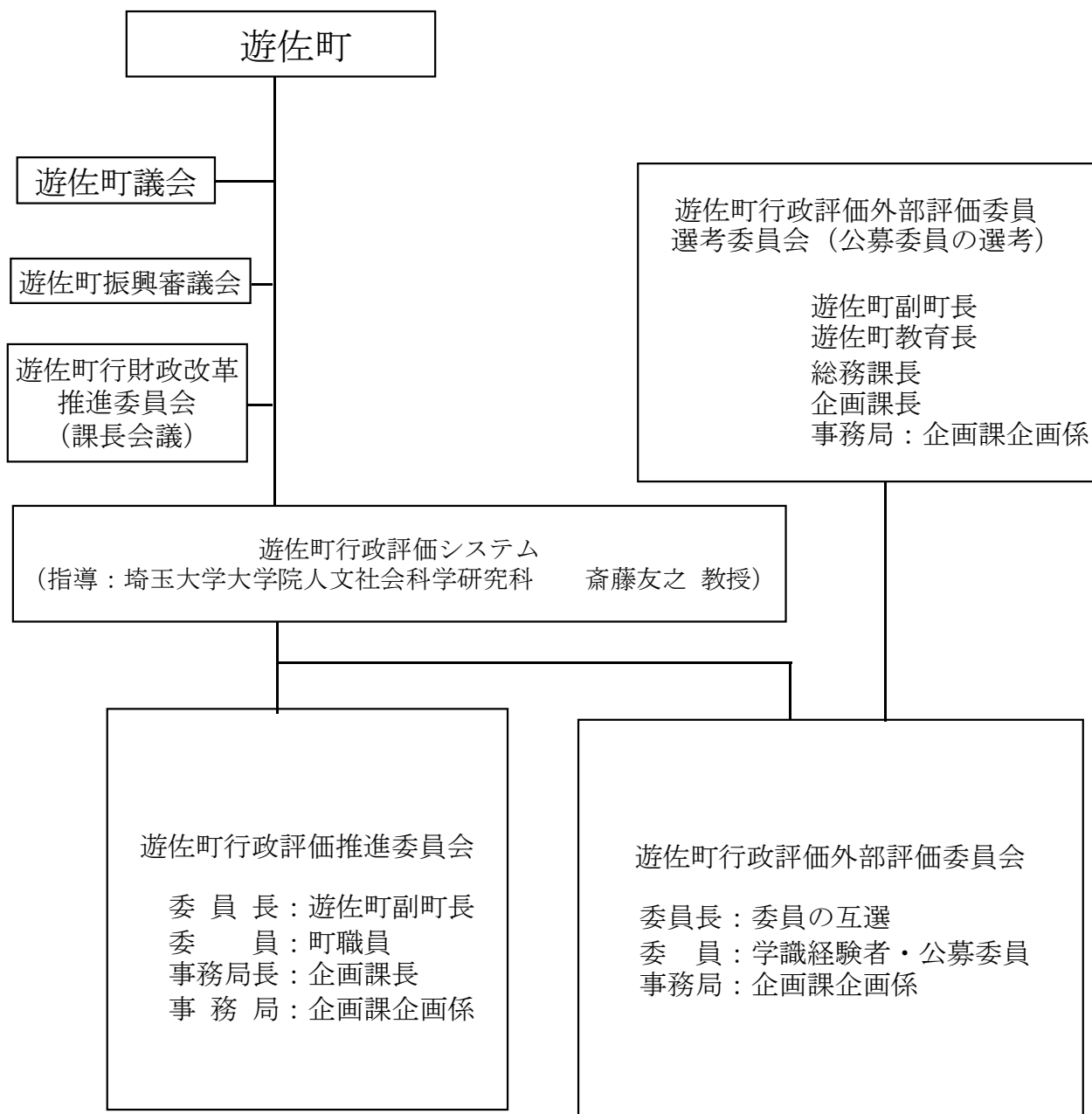


※それぞれの項目が、平均の場合、上位評価にならないようなくみ

# 事業判定フロー図



遊佐町行政事務事業評価制度 体制図



令和4年度 遊佐町行政評価推進委員会名簿

※委員は、各課より選出する。

※委員は、補佐・係長・主査・主任級を中心として選出する。（代理出席可能）

No.	所 管 課	職 名	氏 名	備 考
1	遊佐町	副町長	池田 与四也	委員長
2	総務課	次長兼ICT推進室係長	佐々木 和紀	
3	総務課	課長補佐兼財政係長	太田 英敦	委員長代理
4	総務課	危機管理係長	池田 博紀	
5	企画課	PAT整備推進室係長	池田 智己	
6	企画課	観光物産係主事	金子 圭汰	
7	農業委員会	農地管理係長	菅原 恵里	
8	産業課	農業振興係主任	佐藤 利信	
9	地域生活課	上水道係主任	菅原 大介	
10	地域生活課	下水道係主任	菅原 望	
11	地域生活課	管理係主任	那須 耕平	
12	健康福祉課	健康福祉係主査保健師	佐藤 昭子	
13	健康福祉課	福祉係主査	伊藤 正美	
14	健康福祉課	健康支援係主任	遠田 久幸	
15	町民課	課税係長	東海林 エリ	
16	町民課	町民係長	齋藤 智恵子	
17	教育課	社会教育係主任	池田 有彦	

事務局

1	企画課	課長	渡会 和裕	事務局長
2	企画課	課長補佐兼企画係長	荒木 茂	
3	企画課	主査	村井 孝徳	
4	企画課	主任	瀧口 めぐみ	

※任期は、令和5年3月31日までとする。

## 遊佐町行政評価推進委員会設置要項

### (設置)

第1条 本町における行政評価システムの作成、運用の推進を図り、もって町民に対する利便供与の改善向上を図るため、遊佐町行政評価推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### (所掌事務)

第2条 委員会は前条の目的を達成するために、次に掲げる事項について調査研究又は運営について各所管課における推進を図るものとする。

- (1) 遊佐町行政評価システム（以下「システム」と称する。）の作成に関する各課意見とりまとめに関すること。
- (2) システムの運用に関する各課の助言に関すること。
- (3) システムの運用を通じた事務事業の見直し作業に関する各課の助言に関すること。
- (4) その他システムの改善に関すること。

### (組織)

第3条 委員会は、委員長、委員長代理及び委員若干名をもって組織する。

2 委員長は副町長をもって充て、委員長代理は、委員長が予め指名するものとする。

3 委員は、町の職員のうちから、町長が命ずる。

### (委員長及び副委員長)

第4条 委員長は、委員会を統轄する。

2 委員長代理は、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

### (会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

### (提案)

第6条 職員は、システムの改善に関する意見を委員会事務局に提出することができる。

### (事務局)

第7条 委員会の所掌する事務を処理するため、委員会に事務局を置く。

2 事務局長は、企画課長をもって充てる。

3 事務局員は、企画課企画係に属する職員及び町長が特に命じた職員をもって充てる。

### (その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が定める。

### 附 則

#### (施行期日)

この要項は、平成17年2月10日から施行する。

### 附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

令和4年度内部評価結果一覧表(令和3年度事後評価) 総合発展計画第4章～第6章  
(令和3年度外部評価対象のため、令和4年度は外部評価対象外)

第4章 鳥海山の豊かな自然と調和した快適なくらしの創造《くらし・防災・環境》

第1節 良好な地域環境の保全

第1項 鳥海山の湧水と自然生態系の保全

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	1	1	森林整備ボランティア事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	これまでの継続実施により、森林保全に対する意識醸成が図られており、今後も継続して実施していきたい。
4	1	1	お花畑インストラクターによる高山植物の保護啓発活動事業	企画課 観光物産係	A	継続	継続	鳥海山・飛島ジオパークが世界を目指し活動を展開していることも踏まえ、関係機関と協議し、啓発体制の構築と発信に努める。

第2項 下水道の普及

該当事業なし

第3項 ごみの減量と環境美化の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	1	3	動物相談・指導事業	地域生活課 環境係	B	改善	継続	地域住民、動物愛護団愛、行政サイド併せ、地域全体で猫の飼養方法・野良猫・迷い猫問題の改善、地域環境の向上を図っていききたい。飼い猫・野良猫管理に関する動物愛護、動物適正飼養における啓蒙・啓発を図る。
4	1	3	環境推進員支援制度	地域生活課 環境係	A	継続	対象外	本事業は集落の衛生環境を維持するという目的で町が任命した「環境推進員」を支援するための事業であり、環境推進員、ひいては町民への扶助的性質が高く、事業評価を受けることで縮小・廃止を検討する事業ではない。
4	1	3	八ツ面川管理支援事業	地域生活課 環境係	A	継続	継続	八ツ面川の清流なる環境を維持・保全する為に、住民の皆さんとの協働による環境整備を継続していくことで、風情溢れる景観を守っていく意義について、町民への啓蒙を図る。八ツ面川管理組合より、清流環境保全に向けての要望もあるので、町としても出来る限りの力添えをし、地域・行政が一体で取り組んでいるモデルとしていきたい。
4	1	3	エコすまいる・ゆざ育成支援事業	地域生活課 環境係	B	改善	継続	世界のエネルギー情勢、2050年カーボンニュートラル社会に向けた国の政策等、省エネの意識付けは継続して取り組む必要がある。効果的な啓発を行うために、既存の事業継続にとらわれず取り組んでいきたい。
4	1	3	資源物拠点収集事業	地域生活課 環境係	A	継続	対象外	本事業は資源物回収ステーションの維持管理的な側面が強く、評価を受けることで事業を見直す余地がない。

4	1	3	不法投棄防止対策事業	地域生活課 環境係	A	継続	対象外	本事業の評価については、どうしても不法投棄件数≒不法投棄報告数とせざるを得ない（発見されなかった不法投棄は件数にのぼらない）ため、正確な評価が難しい。また、その報告数についても、監視人の慣れや状況による部分が大きく、単年度の数字の大小にはあまり意味がない。長期的な評価でしか適当でない事業であると考える。
4	1	3	生ごみ処理機器購入助成事業	地域生活課 環境係	B	改善	継続	ゴミの減少化、排出物の有効活用によるエコ環境を目指し、コンポスト購入への補助を継続、地域環境の改善、優しい地球環境目指す。電気式コンポストは町内業者だけではなく、町外業者、通信販売外からの購入ルートもある為、様々な購入方法についても行政サイドで把握し、より町民の方が購入しやすい事業体制を整える。

#### 第4項 再生可能エネルギーの効果的活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	1	4	環境・エネルギーに関する研修会開催事業	地域生活課 環境係	D	縮小	改善	洋上風力発電事業など、再生可能エネルギーを取り巻く状況は常に変化している。町民の皆さんに対し、環境保全の意識啓発だけでなく、最新のエネルギー動向などの情報を伝えられるよう取り組んでいきたい。
4	1	4	再生可能エネルギー設備導入補助事業	地域生活課 環境係	B	改善	継続	再生エネルギー設備の導入は、今後技術の進歩に合わせ、さらに多様な対応が必要になってくると思われる。国・県などの動向を見つつ、対応していきたい。

### 第2節 安心してらせる地域づくり

#### 第1項 防災・克雪対策の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	2	1	山岳遭難捜索救助用装備品整備補助事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	山岳遭難救助用装備品を計画的に整備するため、引き続き支援を継続する。また、隊員の積極的な研修や訓練への参加により、スキルアップを図る。この事業は山岳救助訓練費の一部であるため、事業名を「山岳救助訓練事業」に変更する。
4	2	1	集落内自主除雪の支援事業	地域生活課 土木係	A	継続	継続	冬期間における集落内の生活道路の交通確保を図るうえで重要な事業である。協力体制の高齢化等課題はあるが、今後も継続して事業を推進していく。

## 第2項 消防・救急体制の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	2	2	消防団活性化事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	消防関係の各種行事の実施にあたり、必要な被服や装備品を計画的に整備する。また、事業名を「消防団活性化対策事業」に変更する。
4	2	2	自主防災組織育成事業	総務課 危機管理係	A	継続	継続	防災関係の出前講座や研修会に専門家を派遣し、防災意識の向上を図るとともに、自主防災会の活動助成を継続し、防災資機材の整備、充実を図る。また、事業名を「自主防災会活動推進事業」に変更する。

## 第3項 日常生活の安全性向上

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	2	3	運転免許証自主返納促進事業	総務課 危機管理係	A	継続	統合	高齢者ドライバーの事故防止のため、引き続き継続するが、この事業は、交通安全対策推進事業の一つであり、カーブミラー設置工事等の事業と併せて、事業No. 101「交通安全教育事業」と統合、事業名を「交通安全対策推進事業」に変更する。
4	2	3	防犯啓発事業	総務課 危機管理係	A	継続	統合	今後も地域防犯活動を継続し、児童の安全を確保する。また、この事業は、防犯対策事業の一つであり、防犯灯管理委託も併せて、事業名を「防犯対策事業」に変更する。
4	2	3	交通安全教育事業	総務課 危機管理係	A	継続	統合	交通安全教室の開催及び啓発活動により、交通事故の発生件数は減少しているため、引き続き推進するが、この事業は、交通安全対策推進事業の一つであり、カーブミラー設置工事等の事業も併せて、事業No. 329「運転免許証自主返納促進事業」と統合し、事業名を「交通安全対策推進事業」に変更する。

## 第3節 快適で便利な遊佐ぐらしの推進

### 第1項 社会インフラ維持管理の適正化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	3	1	都市公園（河川公園）施設整備事業	地域生活課 管理係	A	継続	対象外	本事業は令和2年度に再整備計画の実施が完了し、公園の維持管理に移行しており、令和4年度からは実施計画にも記載されないこととなっている。施設の維持管理、確実な実施で目的が達成される事業であることから、外部評価事業の対象外とするのが適切と考えられる。



4	3	1	下水道水洗化活動	地域生活課 下水道係	A	継続	継続	これまでも県の水洗化率を目標に掲げ事業を推進してきた経緯があり、現時点が目標の達成地点かと考える。当町における新たな整備事業も終わったので引き続き水洗化率向上のため、周知等啓蒙に努める。
4	3	1	受益者負担金未納者対策事業	地域生活課 下水道係	A	継続	継続	事業の財源確保と受益者負担の公平性という観点から、本事業は継続する必要がある。新規の未納者を出さないよう関係する係と情報共有し、未納者世帯の生活状況を見極めながら早期の対応に努める。
4	3	1	上下水道使用料金収納率向上対策事業	地域生活課 上水道係	A	継続	継続	収納率の向上を図るため、他部局と連携して計画的に給水停止等を実施する。
4	3	1	濁水（赤水）対策事業	地域生活課 上水道係	A	継続	継続	水道水の安定供給を継続するため、計画的に排泥作業や配水池の清掃を進める。
4	3	1	上水道老朽管更新事業 （石綿セメント管）	地域生活課 上水道係	B	改善	対象外	老朽管更新や耐震化事業等の近接工事の実施に併せて、計画的に事業を進める予定であるが、本事業は事業の実施により目的が達成する事業と判断し、令和4年度から評価対象外事業としたい。
4	3	1	メイクアップロード推進事業	地域生活課 土木係	A	継続	継続	道路沿道の環境美化につながっている。協力体制の高齢化等課題はあるが、今後も各地区まちづくりセンターと連携し事業を継続していく。

## 第2項 地域公共交通の活性化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	3	2	町民駅委託事業	産業課 産業創造係	C	縮小	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、JRチケットの販売額が減少しているが、地元で切符が購入できるという遊佐駅の役割は大きいため、今後も指定管理事業所と連携して周知を図っていく。
4	3	2	デマンド交通システム事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	町民の重要な交通手段の一つとして今後も円滑な運行に努めるとともに、高齢化等により乗車に問題がある方に対しては、再発防止や民間タクシーの利用についてご理解をいただけるよう、関係者と連絡を密に取りながら対応していく。

## 第3項 計画的な土地利用の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての 方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
4	3	3	地籍調査事業	町民課 課税係	A	継続	縮小	地籍調査事務は行政コストの削減を期待し、令和3年4月公布「民法等の一部を改正する法律」による相続登記の申請義務化等制度が整うまで休止とし、新たな区域には着手しない。地図訂正事務は継続実施（随時対応）。

第5章 ふるさとを愛し、未来を拓く、いのち輝く町民の育成《教育・文化》

第1節 遊佐を愛し、未来にはばたく子どもの育成

第1項 地域全体で育む園・学校教育の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
5	1	1	遊佐高校就学支援事業	教育課 総務学事係	A	継続	継続	遊佐高校の魅力化の一つとして引き続き近隣市町の中学校及び県外へPRし、入学者の確保につなげていきたい。
5	1	1	遊佐高校通学支援事業	教育課 総務学事係	A	継続	継続	入学志望者確保のために通学手段の確保は重要なツールと捉えている。引き続き事業周知を図っていく。

第2項 自己有用感に根ざす青少年の健全育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
5	1	2	少年町長・少年議員公選事業	教育課 社会教育係	A	継続	継続	議員自らの意見を尊重し、政策等の実現に向けて活動を支援していく。
5	1	2	ハンガリー等派遣事業	企画課 企画係	A	継続	継続	新型コロナウイルス感染症とウクライナ情勢による派遣の中止はやむを得ないが、ハンガリーとの交流は当町の国際交流として重要であるため、引き続き代替事業等による交流を進めていきたい。

第3節 歴史・文化遺産の継承と活用

第1項 歴史・伝統芸能の継承と活用

該当事業なし

第2項 文化財等の調査、保存と活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
5	3	2	ジオパーク推進事業	企画課 観光物産係	A	継続	継続	世界に向けた取り組みを展開し、それらを情報発信することで、観光・交流人口の拡大にもつなげていく。

第6章 人の絆で織りなす賑わいあふれるまちづくり《町民参画・連携》

第1節 協働によるまちづくりの推進

第1項 町民の参画を促す機会の創出

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	1	1	ふるさと休日推進事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	事業所への周知に努める。
6	1	1	男女共同参画推進事業	企画課 企画係	A	継続	継続	引き続き、審議会・委員会等の改選期を把握し、積極的な女性登用を図る。

### 第2項 町民活動を支える体制整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	1	2	ふるさと納税推進事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	新たな事業者や返礼品の開拓を進めるなど、引き続き寄附額の増加、および町のPRに向けて取り組みたい。
6	1	2	町民協働公園づくり補助事業	地域生活課 管理係	D	縮小	縮小	予算に対しての執行率が低いため、事業内容は変えずに予算規模を縮小する。予算執行状況を注視しながら事業に取り組みたい。
6	1	2	地域おこし協力隊推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	退任後の町内定住に向けて業務や生活のサポート、情報共有を行う。移住者目線、若者目線をもった隊員による地域協力活動を推進するため、計画的な新規隊員募集を進める。
6	1	2	きらきら遊佐マイタウン事業	企画課 企画係	B	改善	改善	集落の改修・修繕に関しては、住宅リフォーム事業への一部統合も含め、制度の設計の見直しを行う。
6	1	2	まちづくりセンター運営事業	企画課 企画係	A	継続	継続	町民自らがまちづくりに積極的に参画できるよう、引き続き支援を行いたい。

### 第3項 町外サポーターの開拓と連携推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	1	3	ふるさと町民、準町民制度	企画課 観光物産係	B	改善	改善	事業を立ち上げてから年数も経ち、その当時とは時代背景も変わってきていることから、事業内容の妥当性や、今後の事業展開の方向性を再度検討する必要がある。

## 第2節 開かれた町政の推進

### 第1項 効果的な情報発信と行財政運営の透明化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	2	1	ホームページサービス事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	事務事業名を「ホームページ運用事業」に改める。町が公に情報を発信している手段として、職員が最も活用しているものがホームページである。ホームページは対外的な町の顔の一つですが、CMSが古い影響で情報発信に積極性がないように感じられてしまっている状況であると認識している。今後、安定したサーバー運営に努めるとともに、時代に即したホームページの更新を行うことを検討したい。
6	2	1	開かれた議会推進事業	議会事務局 議事係	B	改善	改善	議員全員協議会の場で、令和4年度の開催方法、開催場所について改めて検討する。また、各常任委員会でテーマを決めて開催する方法についても検討する。
6	2	1	広報発行事業	企画課 企画係	A	継続	継続	今後も町政に関することやニーズに沿う話題の掲載に努め、分かりやすく、町民の興味を惹くような広報づくりを心がけたい。

### 第2項 効率的で質の高い行政サービスの提供

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	2	2	人事・給与事務事業	総務課 総務係	A	継続	改善	専門職（土木技師等）の確保が喫緊の課題であることから、年度初めの採用に拘らず、必要な人材を確保できるよう採用方法や採用時期、また地元高校・大学等への発信方法を工夫するなど、適正な職員数の確保に努めたい。
6	2	2	町職員研修事業	総務課 総務係	A	継続	継続	研修計画を作成し、計画に基づき、研修を実施していきたい。
6	2	2	情報ネットワークセキュリティ向上対策事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	引き続き、安全性の向上に取り組むため活動等に取り組む。
6	2	2	基幹GIS推進事業	総務課 ICT推進室	A	継続	継続	GISシステムの公開について、レイヤ著作権等の関係から町民へ提供することは難しい。GISは、職員の業務遂行に必要不可欠である場合が多いため、可能な限り研修を開催していきたい。
6	2	2	休日窓口事業	町民課 町民係	A	継続	継続	今後も住民サービスの一環としてより多くの町民から利用していただけるよう、計画的に広報・ホームページ等により事業の周知に努め、更なる町民の利便性の向上を図る。
6	2	2	事務事業評価システム推進事業	企画課 企画係	A	継続	改善	外部評価委員については女性と若年層の政治参画を推進するため、積極的に各団体へ働きかけを行う。

第3節 効率的な財政運営の推進

第1項 自主財源の確保

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	3	1	未申告者の適正な指導事業	町民課 課税係	A	継続	継続	適正・公平な課税のため、無反応な未申告者に対して電話連絡、状況によっては訪問を行う（関係課や滞納者については納税係と連携して）などし、状況把握に努め、未申告者の減少に努める。
6	3	1	確定申告相談業務	町民課 課税係	A	継続	継続	複雑な税の仕組みを丁寧にわかりやすく町民に伝えることや、親切丁寧な申告相談を引き続き行っていく。また、日曜の申告相談について、例年混雑することから、できるだけ平日の申告を呼びかけるなど対策を検討していきたい。
6	3	1	町税等収納率向上対策事業	町民課 納税係	A	継続	継続	今後は現年度分だけでなく、滞納繰越分の徴収にも力を入れていきたい。
6	3	1	町税等収納率向上対策事業 (公売事業)	町民課 納税係	A	継続	継続	各所の諸問題を早急に解決した上で、継続して参加する。

第2項 財源の効率的な活用

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		町としての方向性	町としての考え方
章	節	項			評価値	方向性		
6	3	2	財政の健全化促進事業	総務課 財政係	A	継続	対象外	地方債現在高の縮減は、実施計画やその他の施策、金融機関との調整も関係するため単年度の評価は困難で、長期的な評価しか適当でない事業であり、評価対象外と考える。

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	産業課 産業創造係			事業No.	204,205,595		
事務事業名	立地企業支援事業	予算大事業名	指定事業奨励金				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第1節 雇用の安定と就労環境の充実						
総合発展計画【項】	第1項 新たな雇用を生み出す企業誘致の推進						
事業の概要	目 的 企業誘致による雇用の拡大						
	内 容 ①固定資産税相当額の100%を奨励金として助成(5年間) ②工業用水使用料金の20%を補助(5年間) ③中小企業設備投資支援(H27新設) ※補助額は投資額、雇用要件等により2段階設定 ④用地取得価格の30%(限度額3,000万円)を助成※ただし、業種及び用地面積等の取得要件あり						
令和元年度分の外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	酒田市と合同で企業合同面接会を開催するなど、企業説明会や会社見学会等、関係機関と連携して開催する。WEBで地元企業の魅力を発信して、町内企業の人材確保、雇用確保に努め、就労者の地元定着を促進する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	企業立地は鳥海南バイオマス発電所とパーランジェリー・ナオ(パン工房)の2件があり、奨励金交付の対象とした。コロナ禍で対面型の企業誘致が困難だった。企業の設備投資は機械設備の増設と新規導入に対し、支援を行った。用地取得の助成はなかった。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	7,311	6,392	5,395	3,131			
令和3年度決算内訳(千円)	①固定資産税相当額の奨励金交付 4件 4,110千円 ②工業用水使用料金の20%補助 0件 ③中小企業設備投資支援 5件 2,282千円 ④用地取得助成 0件※工場稼働後に申請						
成果指標設定の考え方	固定資産税相当額減免対象企業の従業員数の増加数(前年度比)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和5年		
	4人	10人	7人	目標値	15人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	バイオマス発電所とパン工房の新規立地があり、工場規模の大小を問わず、企業立地支援施策の効果が認められる。中小企業設備投資は設備投資する企業が前年度よりは増えたが、コロナ禍の前と比べると50%の利用件数に留まっている。						
課題(改善すべき点や方向性)	鳥海南工業団地の分譲率は68%で22.8haの未分譲地がある。バイオマス発電所関連企業の進出が想定されるため、企業立地支援と企業誘致を継続する。設備投資の減少はコロナ禍の景気減退が原因だが、人手不足で省力化の傾向は強まっており、設備拡充を見越して支援施策を継続する。						
外部評価委員会の意見	計画的に実施いただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	今後も企業立地支援施策を活用して企業誘致を実施する。中小企業の設備拡充を支援して人手不足の対策を図り、雇用促進に繋がるように施策を継続する。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	産業課 産業創造係			事業No.	206		
事務事業名	ビジネスネットワーク事業		予算大事業名	遊佐ビジネスネットワーク協議会交付金			
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第1節 雇用の安定と就労環境の充実						
総合発展計画【項】	第1項 新たな雇用を生み出す企業誘致の推進						
事業の概要	目的 企業の誘致						
	内容 ①ビジネスネットワーク協議会運営(企業訪問・企業交流・研修会等) ②ビジネス大使制度運営(企業訪問・企業交流) ③ビジネスネットワークの構築(企業誘致の情報収集・新規会員登録等)						
令和元年度分の外部評価の意見	計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
令和2年度分の町としての考え方	コロナウイルス感染症の影響で、ビジネスネットワーク協議会の事業がほぼ中止となったが、WEB会議による研修と情報交換を実施することが出来た。ポストコロナを見据えて、WEBを活用した就業支援、企業との情報交換を行う。						方向性
							継続
令和3年度に対応した主な活動	酒田市と合同企業面談会を開催したが、県主催の首都圏での企業説明会は開催中止となった。企業訪問、交流会、研修会はコロナ禍で実施出来なかった。通年で企業の来町に対応した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	1,200	414	547	1,500			
令和3年度決算内訳(千円)	活動費 411千円(企業交際費、企業来町時諸費、合同企業面接会諸経費) 雑費 3千円(振込手数料等)						
成果指標設定の考え方	協議会実施済事業数/協議会計画事業数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和5年		
	75.0%(6/8)	50%(4/8)	25%(2/8)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	3	1	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍で大半の事業が実施できなかった。企業説明会は参加者が少なく、酒田飽海は求人倍率が高いが就職に繋がっていない現状にある。研修・交流を通じて会員のネットワークを構築し、新卒・一般・IJUターンの地元雇用を促進する。企業訪問を行い、新規の企業立地に取り組んでいく。						
課題(改善すべき点や方向性)	新卒の地元就職促進のため、遊佐高校の就職活動支援に取り組む必要がある。企業誘致は、対面での企業訪問を基本として、工業用地の利点と生活環境の良さをPRする。県及び酒田市と合同での企業説明会・面談会に多くの会員が参加するように取り組む。						
外部評価委員会の意見	企業説明会のあり方を工夫して、より一層教育機関との連携を図っていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	遊佐高校の就職活動をはじめ、新卒者の地元就職促進のための説明会のあり方を見直す。教育機関との連携を図りながら、企業の雇用確保と地元就職希望者の就業促進に効果的な事業を検討し、多くのビジネスネットワーク会員の参加が見込めるように取り組みを改善する。						方向性
							改善

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	産業課 産業創造係			事業No.	299		
事務事業名	遊佐ブランド推進事業 (創業支援センター事業)	予算大事業名	遊佐ブランド推進事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目的 遊佐ブランドの確立						
	内容 ①アンテナショップ定期開設及び情報発信拠点としての活用(事業費:1,000千円) ②地場産品の販路拡大のための首都圏でのイベント実施(事業費:1,000千円) ③遊佐産食材を使用した加工品開発・販路拡大支援(事業費:1,000千円) ④雇用拡大・人材育成セミナー等の開催						
令和元年度分の外部評価の意見	これまで通り他の関連事業と連携し、効率的、計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	外部への訪問等に制限が続くことが予想されるが、ブランドの維持と確立が急務である。地域の魅力をまるごと伝えるECサイトを構築し、地域産品の再ブランド化、統一化を図り、新たな販路を確立する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	地域活性化拠点「加工場」が運用面を含めて本格稼働し、研修会や周知により利用者増に務めた。地域の魅力をまるごと伝えるECサイトを開設した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	13,761	8,311	13,338	14,248			
令和3年度決算内訳(千円)	運営費7,840千円 事業費1,967千円 公課費531千円						
成果指標設定の考え方	制度利用企業・団体・個人数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和5年		
	120%(36/30)	113%(34/30)	85%(34/40)	目標値	40		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	5	4	3	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	地域活性化拠点「加工場」が稼働し、新たな特産品の開発が軌道に乗ってきた。コロナ禍のなかイベントなどでPRの機会を持てた。販路拡大や売上に貢献するほどの成果には乏しく、非効率な事業がある。						
課題(改善すべき点や方向性)	収益性や継続性の持てるビジネスモデルの構築と事業化を確立する。						
外部評価委員会の意見	引き続き計画的に続けていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	継続して6次産業化の事業者と連携し、遊佐町地域活性化拠点施設の活用を促進する。特産品開発と新しい生活様式に対応した販路の拡大に取り組み、コロナ禍でも可能なイベントを実施することで、遊佐ブランド事業を計画的に推進する。					方向性	
						継続	



# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	産業課 水産林業係			事業No.	117		
事務事業名	あわびの放流事業	予算大事業名	水産振興事業(補)				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目的 減少傾向にある沿岸水産資源である、あわびの水揚げ量を維持・増大させる。						
	内容 ①あわびの稚貝放流 漁業者(受益者)による放流作業の実施 ②放流箇所 女鹿沿岸 2,000個、湯ノ田沿岸2,000個、吹浦沿岸2,300個 2年度補助事業費249千円、町単独放流事業 8,000個						
令和元年度分の外部評価の意見	指標設定(目標値)の検討と、長期的展望に立って計画的に事業を進めていた きたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	漁業収益向上のため、令和3年度は町単独事業分を3,000個増やして11,000個放流する。目標値については県全体のあわびの水揚量の前年度比割合を用いて算定することに変更する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	令和3年度は、町単独事業分を3,000個増やし、11,000個を放流した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	561	560	441	440			
令和3年度決算内訳(千円)	あわび稚貝種苗購入費 435,600円 アワビ放流事業補助金 124,740円						
成果指標設定の考え方	・漁協への水揚重量の年度毎調査 ・1年度水揚量の0.94倍(R2/R1 県全体のあわびの水揚量割合)を目標値						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	459kg	335kg	470kg	目標値	431kg		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	5	4	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	水揚量については、目標値を上回ることができた。また売上単価が上がったこともあり、対前年で170万円程度、漁獲高による収益が向上している。放流数については、令和4年度以降も今年度と同数とし、継続して実施していきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	現行どおり維持する。						
外部評価委員会の意見	着実に進めていただきたい					方向性	
						継続	
町としての考え方	事業の実施効果は2年後以降となるが、この放流数を維持しながら有効性について検証し、漁業収益の向上につなげたい。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	産業課 農業振興係			事業No.	591		
事務事業名	チャレンジファーム研修生受入等支援事業	予算大事業名	遊佐町チャレンジファーム事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目的 新規就農希望者の就農						
	内容 国県等の新規就農支援制度と併用可能な町独自支援制度①最大年額48万円を支給する生活支援、②空き家住宅を無償貸与又は最大年額48万円を支給する住宅支援						
令和元年度分の外部評価の意見	指標設定の更新と、遊佐独自の魅力の発信によって、新規就農者の定住につながるよう検討していただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	担い手農家の減少、高齢化等により、新規就農者の確保はますます重要な課題となってくる。コロナに係る状況が改善した後、活動量を増加し、本事業を活用した農業研修生への支援を継続的に実施する。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	「農業はじめる.jp」等の就農情報サイトへの掲載を通じて、事業の情報発信を実施した。また、新規チャレンジファーム利用者に対して、国県制度との併用を勧奨しながら経済的支援を実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	2,700	2,180	1,440	1,640			
令和3年度決算内訳(千円)	生活支援1,160千円(40千円*12月*1名、40千円*11月*1名、40千円*6月*1名) 住宅支援440千円(40千円*11月*1名) 受入農家支援580千円(20千円*12月*1名、20千円*11月*1名、20千円*6月*1名)						
成果指標設定の考え方	事業を活用した新規就農者数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和5年		
	累計 6人	累計9人	累計9人	目標値	11人 (令和5年度までの就農者数の累計)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	5	3	2	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍の影響により首都圏等との往来を伴う情報発信活動はできなかったため、活動量は昨年度同様減少している。鶴岡市立農業経営者育成学校(SEADS)出身者の研修先について、市町間で調整した結果、新規就農希望者1名を事業採択した。今後、近隣市町以外からの新規就農希望者に向けた活動を強化していく必要がある。						
課題(改善すべき点や方向性)	コロナ禍の情勢に対応しながら、県外を含めた新規就農相談会等への参加を検討する。また、農業研修生の確実な就農にむけて、酒田農業技術普及課等の関係機関とともに、定期訪問を実施していく。						
外部評価委員会の意見	県外を含めた新規就農相談会等への参加を検討していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	県外からの新規就農希望者へ対応するため、定住促進係と連携しながらリモート相談を実施するほか都市圏での相談会への参加を検討する。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	産業課 農業振興係			事業No.	21		
事務事業名	まるごと遊佐推進事業		予算大事業名	まるごと遊佐推進事業			
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目 的 遊佐産の農産物の販売額増加						
	内 容 東京の店舗での販売促進活動および店員などへの農産物の説明						
令和元年度分の外部評価の意見	JAと協議しながら、着実に事業を進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	コロナ禍による巣籠り需要で、生活クラブの取扱い数が増加しており、当町製品の購入者も増えている状況。WEBを通じて生活クラブとの交流を継続しながら、コロナに係る状況が改善した後の取組についても検討を進める。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	令和2年度に引き続き、JAと生活クラブとの間でWEB交流会を実施した。令和2年度は4回開催のところ、今年度は計26回の交流会を実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	600	-	-	491			
令和3年度決算内訳(千円)	JA主体で実施する生活クラブ首都圏実店舗でのフロアアピールに係る経費の1/2を支援。今年度未実施につき支出なし。						
成果指標設定の考え方	東京の店舗での販売額						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	526万	-	-	目標値	前年度販売額		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	3	4	3	1	D	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	昨年に引き続き、コロナ禍により従来の首都圏でのフロアアピールは中止となった。事業量は大幅に縮小となった一方で、WEB交流会を計26回実施する等、現地との往来以外による消費者交流の取組みを活性化させている。						
課題(改善すべき点や方向性)	首都圏との往来を伴う事業について、コロナ禍の影響により中止・延期となっていたものが徐々に条件を付して実施されるようになってきた。(JA・生活クラブの町内交流会開催予定。)情勢を注視しながら首都圏訪問を見据えた販売促進活動についてJAと模索する必要がある。						
外部評価委員会の意見	遊佐の農産物の良さを関係機関と連絡を密にして取り組んでいただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	JA、生活クラブと協議しながら次年度以降の首都圏での事業実施を検討する。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	産業課 農業振興係			事業No.	25		
事務事業名	産地化推進作物転作促進支援事業	予算大事業名	産地化推進作物転作促進支援事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第2節 所得の向上と後継者育成						
総合発展計画【項】	第1項 農林水産業の育成						
事業の概要	目的 転作田で収入を図る						
	内容 推進作物へ助成金の交付						
令和元年度分の外部評価の意見	農家の実情に配慮しつつ着実に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	コロナ禍の影響による中外食の米消費減少等により、近年の米余り状況に拍車がかかっている。今後も転作面積の拡大が予想されるため、農家所得の維持・向上のため、当事業での取り組みが必要である。転作面積の増加分だけではなく現在転作されている農地の有効利用を促すためにも引き続き実施する。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	対象作物に「かぼちゃ」を追加し、転作面積の拡大を推進した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	6,000	5,094	5,056	5,187			
令和3年度決算内訳(千円)	【対象作目】11品目 【取組農業者数】121名【対象面積】466,760㎡【金額合計】 5,093,200円 【補助単価】パプリカ、ウレイ、ねぎ、アスパラガス 12,000円/10a 他10,000円/10a ・ねぎ 1.5ha 179,520円 ・パプリカ 4.9ha 584,640円 ・ウレイ 8.7ha 1,039,920 ・アスパラガス 6.2ha 749,520円 ・トマト 0.9ha 89,800円 ・なたね 0.2ha 20,000円 ・枝豆 8.6ha 859,800円 ・エゴマ 3.7ha 374,600円 ・メロン 6.1ha 609,200円 ・かぼちゃ 1.4ha 144,600円 ・花き 4.4ha 441,600円						
成果指標設定の考え方	産地化推進作物作付面積						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和5年		
	47.2ha	46.0ha	46.7	目標値	60ha		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	昨年度に比べて転作作物に「かぼちゃ」を追加したことから若干の面積増となった。人口減少や食の多様化による米の需要減に加え、新型コロナウイルス感染症による外食需要の減少により米価の下落に拍車がかかっている。水田の維持及び農家の収入確保の観点から、町の実情に基づく産地化転作作物の選定と交付金額の設定を引き続き実施していく必要がある。						
課題(改善すべき点や方向性)	米の生産の目安の提示により主食用米は減少しているが、飼料用米、加工用米への転換が進んでおり、野菜等の園芸作物への転作が進んでいない。JAと連携し、農業者へ働きかけを行いながら産地化を推進する。						
外部評価委員会の意見	園芸作物への転作を進めていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	園芸作物の収益性を農業者に紹介していくとともに、関係機関と連携し、団地化等や国の交付金を利用するなど、転換しやすい環境整備を検討する。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 観光物産係			事業No.	216		
事務事業名	観光イベント実施事業		予算大事業名	観光誘客対策事業			
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第3節 地域資源を活かした観光振興						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と誘客活動の強化						
事業の概要	目的	本町に来町する観光客を増やし、交流人口の拡大を図る。また、イベントの開催により町の賑いと活性化を図る。					
	内容	観光客の誘客対策と、各種イベントの開催					
令和元年度分の外部評価の意見	関係機関と連携し、観光客のニーズの把握と受け入れ態勢の構築に努め、事業を計画的に進めていただきたい。						方向性
							改善
令和2年度分の町としての考え方	関係機関と協力し、観光客のニーズの把握や新しい生活様式に対応した誘客対策の展開、それに伴う受け入れ態勢の構築など、常にその時勢に対応した事業遂行に努める。						方向性
							継続
令和3年度に対応した主な活動	4月にジオパークの再認定との相乗効果を狙った「泊まってお得！キャンペーン(第3次)」を実施、10月には宿泊事業者、特産品事業者への支援と町のPRを兼ねた「泊まってもらおう！ゆぎの特産品」、1月には山形県の冬旅キャンペーンとの相乗効果を期待した「泊まってお得！キャンペーン(第4次)」を実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	10,822	25,446	19,153	12,663			
令和3年度決算内訳(千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種観光キャンペーン謝礼:12,927,679円(第3、4次泊まってお得キャンペーン、泊まってもらおう遊佐の特産品)</li> <li>・町内観光イベント負担金:7,475,000円</li> <li>・他事業費等:5,044,150円</li> </ul>						
成果指標設定の考え方	観光客入込者数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和6年		
	3,267千人	2,225千人	2,193千人	目標値	4,000千人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	宿泊キャンペーンについては、県の旅割等の相乗効果もあり、概ね予定数での終了となった。これらについては、宿泊施設等の利用促進という面が強く継続的な誘客対策としては少し弱い部分もあるが、コロナ禍で軒並みイベントが自粛となる中で事業が展開できたことは、今後のウィズコロナのイベント等の開催に向けた下地になったと考えられる。 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響により入込数が減少した。						
課題(改善すべき点や方向性)	鳥海山をはじめ魅力的な観光資源を有していることから、それらを観光客のニーズに即した形で提供し誘客を促進させる必要がある。 また、ウィズコロナでの安全・安心なイベント開催に向け関係機関との調整を密にしていける必要がある。						
外部評価委員会の意見	観光客のニーズに即した商品の提供と、安心・安全なイベント開催に向けて、関係機関との連携を図っていただきたい。						方向性
							改善
町としての考え方	その時勢に対応したイベントの開催や、観光客の望む商品が提供できるよう関係機関と協力し、誘客の促進に努める。						方向性
							改善

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 観光物産係	事業No.	387				
事務事業名	観光情報提供事業	予算大事業名	観光事業一般経費				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第3節 地域資源を活かした観光振興						
総合発展計画【項】	第1項 効果的な情報発信と誘客活動の強化						
事業の概要	目 的 観光客の誘客対策						
	内 容 町の観光地・イベント等のPR等						
令和元年度分の外部評価の意見	情報発信のための素材の確保に努め、計画的に事業を進めていただきたい。		方向性				
			改善				
令和2年度分の町としての考え方	写真、動画などの素材を充実させ、最新の情報を発信するように努める。		方向性				
			改善				
令和3年度に対応した主な活動	町の観光ポータルサイトとして、観光協会ホームページや、地域おこし協力隊員によるSNSを利用したイベント等の情報発信を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	7,336	5,157	4,991	7,497			
令和3年度決算内訳(千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内一元化委託料:3,000,000円</li> <li>・広告料:947,100円</li> <li>・手数料:303,167円(広告折込)</li> </ul>						
成果指標設定の考え方	今年度アクセス件数/前年度アクセス件数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和6年		
	109% (190,977/174999)	8% (16,582/190,977)	65% (10,874/16,582)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	4	3	2	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	地域おこし協力隊員により、観光素材の収集を行ってもらい、その素材を活かしたポスターを作成し発信した。観光協会と情報を交換し合うことで、最新の情報が提供できるように努めた。また、観光協会のホームページが更新され、閲覧者が使いやすい形になった。令和2年度からできなくなっていた観光協会のホームページ閲覧数のカウントについて、ホームページの更新に伴い、令和4年度からカウントできる予定である。						
課題(改善すべき点や方向性)	引き続き写真等の素材の充実を努め、常に最新の情報を発信していく必要がある。また、町のホームページについて不必要なものの削除など、観光協会への観光案内一元化に向けた整理が必要。						
外部評価委員会の意見	地域おこし協力隊、観光協会と更なる密接な連携を行い、観光客の増につながる、HPの作成に努めていただきたい。				方向性		
					改善		
町としての考え方	地域おこし協力隊と連携した利用者目線での情報発信、観光協会と連携した魅力のあるHPの作成に努める。				方向性		
					改善		

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 観光物産係			事業No.	217		
事務事業名	グリーンツーリズム推進事業	予算大事業名	グリーン&ブルーツーリズム実践事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》						
総合発展計画【節】	第3節 地域資源を活かした観光振興						
総合発展計画【項】	第2項 観光客受入れ体制の整備・拡充						
事業の概要	目的 地域の売上および交流人口の増						
	内容 魅力あるメニューと受け入れ体制の確立						
令和元年度分の外部評価の意見	受入体制の確保に努め、計画的に事業を進めていただきたい。なお、担当課年度評価にしろ自然館の視点を含め、数値資料の外部評価委員会への提示をお願いしたい。					方向性 改善	
令和2年度分の町としての考え方	引き続き、魅力あるメニュー、受け入れ体制の確立に努めます。					方向性 継続	
令和3年度に対応した主な活動	教育旅行受入拡大に必要な民泊受入先の確保 鳥海山“おもしろ自然塾”を中心に、体験メニューの充実と、仙台圏の学校・旅行者への営業活動の実施						
予算・決算 (千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	2,268	2,224	2,230	2,265			
令和3年度決算内訳(千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン&amp;ブルーツーリズム体験事業委託料:2,144,357円</li> <li>・県グリーンツーリズム推進協議会負担金:80,000円</li> </ul>						
成果指標設定の考え方	参加者数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和6年		
	2,867人	1,575人	534人	目標値	2,300人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	4	4	3	2	D	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	常に課題となっている民泊先の確保について、新型コロナウイルス感染症の影響のため更にも増して苦慮している。また、同じく影響を受けたのが仙台圏からの教育旅行であり、例年利用している学校も軒並みキャンセルとなり、大幅に参加者が減少した。「鳥海山“おもしろ自然塾”」については、受入側の会員が試行錯誤しながらも安全で楽しいメニューを提供してくれることから、リピーターの確保などコロナ禍でも参加者の増加に繋がっている。						
課題(改善すべき点や方向性)	教育旅行のニーズが増えていることから、観光協会で行っている鳥海山麓誘客促進事業の中で新しくメニュー化された、遊佐町教育旅行・合宿誘致促進事業の助成を利用し、教育旅行の誘致を強化していく。						
外部評価委員会の意見	コロナ禍に対応できる、受け入れ体制の強化、および魅力あるメニューの作成を実施していただきたい。					方向性 改善	
						方向性 改善	
町としての考え方	受け入れ体制を強化し、時勢に合った魅力あるメニューの作成に努める。					方向性 改善	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 PAT整備推進室	事業No.	584				
事務事業名	遊佐パーキングエリアタウン整備事業	予算大事業名	遊佐パーキングエリアタウン整備事業				
総合発展計画【章】	第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築<産業振興>						
総合発展計画【節】	第3節 地域資源を活かした観光振興						
総合発展計画【項】	第3項 高速道路を活用した拠点整備						
事業の概要	目的 日沿道遊佐鳥海IC近傍に遊佐パーキングエリアタウン(新道の駅)を移転整備する						
	内容 ①遊佐パーキングエリアタウン整備計画推進委員会等を組織し新たな道の駅の在り方を協議する。 ②日沿道が開通予定である令和8年度を開業目標とし、施設整備を行う。						
令和元年度分の外部評価の意見	効果的な構想づくりを進めていただきたい。		方向性				
			継続				
令和2年度分の町としての考え方	令和8年の開業を見据え、着実に計画を進める。		方向性				
			継続				
令和3年度に対応した主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊佐パーキングエリアタウン計画推進委員会の設立、委員会及びWGの開催。</li> <li>・アクセス道路整備計画の調整協議、令和4年度からの工事着手。(国土交通省及び山形県)</li> <li>・用地測量の実施。</li> </ul>						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	64,136	40,561	22,220	6,325			
令和3年度決算内訳(千円)	委託料 38,401 (用地測量、アクセス道路詳細設計、官民連携基盤整備調査費等) 工事請負費 1,694 (仮設水路設置工事、表土集積工事) その他 466 (推進委員会委員協力謝礼等) ※上記ほか、委託料 13,997千円を令和4年度へ繰越						
成果指標設定の考え方	計画策定推進委員会の開催						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	勉強会2回	フォーラム開催 勉強会1回	委員会 5回 WG 4回	目標値	4回		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	3	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	委員会、ワーキンググループ等目標値を上回る議論の場を設定できた。アクセス道路の整備も開始され、移転整備に向けて具体的な動きが出てきたことから、評価値A、方向性を継続とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	本事業は道の駅の建設を行うことで産業振興と雇用を生み出し、地域活性化を図ることが最終目標である。成果指標の設定が困難で、かつ、単年度では評価しきれない事業であることから、長期的な評価を行うのが望ましい。						
外部評価委員会の意見	令和8年開業を見据え、着実に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	パーキングエリアタウン(新道の駅)が開業することで目的達成となる事業であり、成果指標の設定が困難なことから評価対象外事業とする。					方向性	
						対象外	



# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	597		
事務事業名	IJUターン就職支援事業	予算大事業名		定住促進対策事業			
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援						
事業の概要	目 的 IJUターン者の雇用促進						
	内 容 ①IJUターン定着促進事業(就職面接会参加時の交通費の1/2助成) ②IJUターン定着激励金(転入者で正規雇用の方へ一人10万円、家族上限額30万円)						
令和元年度分の外部評価の意見	Uターン希望者の実情に合った支援ニーズの把握に努めるとともに、公共交通機関に限らず柔軟な対応方法がないか検討していただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	今後もIJUターン就職と定住促進に繋がるように周知していく。IJUターン定着促進事業(就職面接会参加時の交通費の1/2助成)はIJUターンを検討している方により利用しやすい制度になるように内容を拡充していく。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	町広報による周知の他、町に転入届を提出する際に町民係で配布するパンフ等資料の中に、制度のチラシを同封し周知に努めた。また、移住相談フェアなどでも説明しながら周知を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	900	100	1,000	200			
令和3年度決算内訳(千円)	IJUターン定着激励金:100						
成果指標設定の考え方	IJUターン就職者数(IJUターン定着激励金交付者数)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	2人(2件)	6人(6件)	1人(1件)	目標値	6人/年		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	4	5	4	2	C	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍による移動制限もあり、IJUターン定着促進事業(就職面接会参加時の交通費補助)については該当者がいなかった。IJUターン定着激励金(正規雇用時の激励金)については関心は高く問い合わせもあったものの、該当にならないケースが多かった。件数は少なかったが、両事業ともIJUターン就職を考える契機になる事業と考えられる。						
課題(改善すべき点や方向性)	引き続き移住相談等でPRを図りながら、より支援につながるよう対象ケースの拡充を含めた検討を行っていく。						
外部評価委員会の意見	対象ケースの拡充に努めていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	自家用車・レンタカー等自動車による来町時の交通費も補助対象とするなど、制度の見直しを行い利用を促す。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	586		
事務事業名	若者ふるさと回帰推進事業	予算大事業名	若者ふるさと回帰推進事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援						
事業の概要	目的 地元に戻ってきたい若者への情報発信						
	内容 遊佐町出身の関東圏在住者を対象に、定期的な首都圏での交流イベント開催、LINE等による情報発信を行い新たなUターン促進につなげる。						
令和元年度分の外部評価の意見	移住だけの事業と捉えず観光物産係等とも連携して、今後も計画的に進めていただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	他の係とも連携しながらUターン希望者への効果的な情報発信の仕方や、ふるさと回帰に繋がる新しい生活様式でのイベント企画を行い、若者層のUターン促進を働きかけていく。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	コロナの感染拡大により首都圏でのイベント開催は難しく、東京在住の遊佐町出身者と東京からのUターン者をゲストに迎えたUターン者向けの移住セミナーをオンライン開催した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	400	17	0	377			
令和3年度決算内訳(千円)	事業協力謝礼:17						
成果指標設定の考え方	イベント等参加者の年度毎のUターン者数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	1	0	1人	目標値	毎年1人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	4	3	2	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	オンラインでのUターン者向け移住セミナーを開催。コロナ禍前のイベント開催は在京遊人会の協力も得ていたが、団体としての活動が難しいため、個人で協力いただいた。これまでのイベント参加者や令和3年度開催の成人式等で情報発信を行ったが、「遊佐町出身者」という狭い範囲への周知が難しく、参加者11名中遊佐町出身者は1名のみとなった。						
課題(改善すべき点や方向性)	オンラインイベントも定着してきたので、首都圏開催だけでなく様々な手段を利用して今後も企画していく。また、若者や県外にいる町出身者への周知や繋がる方法、実施体制について、若者交流実行委員会や地域おこし協力隊、NPO法人いなか暮らし遊佐応援団等と検討する。						
外部評価委員会の意見	町内出身者への事業の周知方法を工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	イベント内容の工夫、実施体制の整備、外部の移住促進関連団体や庁内各係との連携を行いながら、効果的な情報発信を行う。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	569		
事務事業名	移住・交流推進事業	予算大事業名		移住・交流推進事業			
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援						
事業の概要	目 的 移住希望者に適切な情報を提供する						
	内 容 移住定住の促進を図るため、移住相談総合案内窓口の一元化、移住・交流に関する情報収集や体験ツアー等を実施する ・移住者相談、移住交流体験ツアーの実施 ・HP管理等、移住定住パンフレット作成等						
令和元年度分の外部評価の意見	NPO、集落支援員、地域おこし協力隊と遊佐町との連携を維持しながら、移住者拡大につながるよう計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	NPO法人いなか暮らし遊佐応援団の活動により、移住前も移住後もきめ細かいサポートが出来ているため、今後も関係者同士連携をしながら、移住定住促進に努めていく。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	コロナ禍であったものの、移住希望者へ向けた「いなか暮らし体験ツアー」1組、「お試し移住プラン」2組の受入れを行った。また、昨年度は実施が難しかった移住者交流会は内容を検討して計7回開催し、69名の参加があった。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	4,915	4,313	4,587	4,750			
令和3年度決算内訳(千円)	移住相談総合案内一元化事業委託料:4,313						
成果指標設定の考え方	移住相談(相談して移住した)世帯数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	75%15世帯	55%11世帯	53%8世帯	目標値	15世帯/年		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	新型コロナの感染状況を注視しながら、いなか暮らし体験ツアーとお試し移住体験プランを実施することができ、移住希望者の検討の場として活用された。また、移住者交流会も開催し移住者等へのアフターケアとして参加者から好評を得た。目標値には達しなかったものの、コロナ禍での移動制限の中、移住相談・移住体験から目標の半数の移住者数であったことは評価できる。						
課題(改善すべき点や方向性)	移住希望者等のニーズに合わせながら首都圏でのフェア、現地ツアー、オンラインでの相談等の機会を活用し、NPO法人いなか暮らし遊佐応援団及び集落支援員と連携しながら、移住希望者・移住者への対応を引き続き行う。						
外部評価委員会の意見	YouTube、SNS等の魅せ方について工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	SNSの更なる活用、動画内容の工夫、リンク元を増やす等の情報発信の工夫により、遊佐町を知る機会を増やす。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	325		
事務事業名	移住交流推進支援事業	予算大事業名		移住・交流推進事業			
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援						
事業の概要	目 的 移住希望者の増加						
	内 容 移住交流推進のための調査研究、情報収集、情報発信、体験活動の事業を行う地域団体等に予算の範囲内で補助金を交付(令和2年度:800千円)。JA、産業課と連携して食の安全、水と空気のおいしさなど遊佐町の魅力の発信と、遊佐町を知ってもらうための農業体験と生活体験を実施し、町民との交流を行う。						
令和元年度分の外部評価の意見	生活クラブ、JA及び遊佐町と連携を密にし、今後も計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	従来のツアーだけでなく、リモートでの交流等コロナに対応した方法も取り入れながら、引き続き関係団体と連携しながら事業を実施する。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	例年行われる生活クラブ、JA、町連携による庄内交流会、援農ツアーの実施にむけ、コロナ禍に対応する方法を検討した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	800	0	0	800			
令和3年度決算内訳(千円)	移住・交流推進支援事業負担金:0						
成果指標設定の考え方	援農参加者の延人数(年間)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	84%(144/170)	-	-	目標値	170		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	4	4	3	1	D	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍により、例年生活クラブ会員が来町する庄内交流会がリモートでの開催となり、農業体験を行う援農交流ツアーが全て中止となったため、JAへの補助金交付はなかった。他団体でも交流事業は行われず申請はなかった。						
課題(改善すべき点や方向性)	依然コロナ禍ではあるが、県境を越えた移動制限が緩和されたこともあり、今年度は感染防止対策を行い内容も工夫しながら、庄内交流会、援農交流ツアー開催予定。生活クラブ・JAと連携しながら進める。他団体の取り組みについても、事業内容を周知しながら積極的に支援を行う。						
外部評価委員会の意見	関係機関と連携を更に深め、積極的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	事業の周知を行い新規団体の事業活用を促しながら、関係団体と連携を密にして進める。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	618		
事務事業名	空き家再生地域おこし事業	予算大事業名	空き家再生地域おこし事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実						
事業の概要	目 的 空き家の再生と移住起業者の定住化						
	内 容 移住希望者及び移住者が、空き家バンク登録物件を活用して起業する場合のリフォーム費用・設備費用の補助を行う。 【対象物件】①空き家バンク物件 ②改修等に着手していない物件 【対象者】①物件の売買・賃貸契約締結後1年以内の者 ②移住後5年未満で10以上居住予定の者(改修後10年以上物件活用が条件) 【補助率】リフォーム費用・設備費用の2/3 上限170万円						
令和元年度分の外部評価の意見	今後も積極的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	これまでリフォームした借上げ物件については、借上げ期間が終了するまで、引き続き維持管理を行う。新規での物件を借り上げてのリフォーム・賃貸は行わず、移住希望者又は移住者が起業するために空き家物件をリフォームする費用を町が補助する方式に変更する。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	これまでの借上げ方式に変わり、移住希望者及び移住者が、空き家バンク登録物件を活用して起業する場合のリフォーム費用・設備費用の補助事業を新たに実施した(補助率2/3 上限170万円 10年以上本町に居住しリフォーム物件を活用することが条件)。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	1,700	0	0	4,000			
令和3年度決算内訳(千円)	遊佐町空き家再生地域活性化推進事業補助金:0						
成果指標設定の考え方	補助活用店舗/移住起業者						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	1棟/1組	0棟/0組	0棟/0組	目標値	毎年/1棟/1組		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	5	5	3	2	D	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	借上げ方式から補助方式に変更することで、移住希望者の幅広い起業希望に合わせた物件を選択することが可能となると同時に、借上げ方式のように町の維持管理費用の負担がなくなることになった。しかしながら、年度途中からの実施のため周知不足であったこと、コロナ禍ということもあり移住相談・移住者自体が少なかったことから、問い合わせ2件はあったものの、補助金交付・店舗活用まで至らなかった。						
課題(改善すべき点や方向性)	町広報やHP、移住相談、空き家バンク利用者登録相談時など、機会を捉えて事業の更なる周知を図る必要がある。						
外部評価委員会の意見	事業の更なる周知を図り、積極的に取り組んでいただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	広報・町HPだけでなく、移住相談や産業部局での起業相談等の機会を利用し事業周知を図りながら取り組む。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	617		
事務事業名	定住住宅空き家活用事業		予算大事業名	空き家利活用促進事業			
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実						
事業の概要	目 的 空き家を整備し、移住希望者への貸出を行う						
	内 容 遊佐町IJUターン促進協議会が行う事業への補助金交付。空き家を町が10年間借上げ、必要なリフォームを施し、移住希望者へ賃貸住宅として貸与する。入居者選定のみ実施。						
令和元年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	これまでリフォームした借上げ物件については、借上げ期間が終了するまで、引き続き維持管理を行う。新規賃貸物件の確保については、借上げ方式ではなく、所有者が賃貸を目的にリフォームする費用を町が補助する方式に変更する。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	移住空き家利活用支援事業(空き家バンク物件のリフォーム費用補助)を拡充し、バンク登録物件を賃貸住宅として10年以上活用する場合の改修費用補助を新設(10/10補助 上限34万円)。既存の町リフォーム物件は、入居者選定のみ実施とした。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	0	0	0	0			
令和3年度決算内訳(千円)	入居者選定のみのため費用なし。						
成果指標設定の考え方	定住促進計画						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	0.0% (0/3)	0.0% (0/3)	0.0% (0/3)	目標値	3棟		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	5	5	4	1	D	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	町が借り上げ整備したリフォーム空き家12棟のうち1棟が所有者の申出により賃貸借契約を解除し、年度末時点で11棟で運営。令和3年度中の移住希望者からの新規リフォーム空き家利用申込はなかったが、うち1棟について、令和4年度から遊佐高校地域みらい留学生男子寮として使用することとなった。						
課題(改善すべき点や方向性)	リフォーム空き家については、整備費用、維持管理費用が増加していることから新規追加は行わず、令和3年度よりリフォーム費用補助を拡充し、10年以上の賃貸住宅経営を条件に対象とすることとして賃貸住宅の確保を図る。						
外部評価委員会の意見	新しい制度内容の周知・PRを徹底していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	広報・町HPだけでなく、空き家相談や集落支援員の集落巡回等の機会を捉え事業周知を行い、町内の賃貸住宅確保に取り組む。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	498		
事務事業名	集落支援員活動事業	予算大事業名		集落支援員活用事業			
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実						
事業の概要	目 的 移住希望者の定住促進						
	内 容 ①集落巡回、空き家の点検及び課題整理②移住希望者の空き家への現地案内③移住希望者と集落との話し合いの調整④空き家調査⑤空き家データベースの作成⑥移住定住者へのアフターフォロー						
令和元年度分の外部評価の意見	NPO、地域おこし協力隊、集落の区長、遊佐町との連携を維持しながら、移住者の拡大につながるよう計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	空き家対策、移住促進、移住者支援に大きな役割を果たしていることから、今後も地域・関係団体との連携を強めながら、引き続き活動を行う。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	集落役員改選期であったが、新体制後全集落を訪問し、移住者対応と空き家バンク制度の説明、空き家情報提供の呼びかけを行った。新たな移住者がいる場合は、区長や近所へのあいさつ回り時に同行、更に定期的な移住者訪問により生活課題の確認や相談対応を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	2,880	2,880	2,400	2,400			
令和3年度決算内訳(千円)	集落支援員活動謝礼:2,880						
成果指標設定の考え方	集落支援員業務執行計画の目標数値						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	15組37人(92.5%)	11組17人(42.5%)	8組17人(42.5%)	目標値	40人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	5	5	4	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	目標としていた移住者人数には満たなかったものの、コロナ禍で人の移動が制限され、限られた移住体験・移住相談件数であったが、昨年度と同人数の移住者数を確保し、近隣住民と繋げるなど移住後のフォローでも好評を得た。空き家情報の収集、空き家バンクについてもきめ細やかに周知活動を行い登録促進に繋げた。						
課題(改善すべき点や方向性)	地域に積極的に入り込みながら、空き家問題への対応や移住者のフォローなどを行っており、今後も継続的な活動が必要である。多様化する移住希望者・移住者の要望に対応できるよう町、集落、いなか暮らし遊佐応援団等関係者と更に連携する。						
外部評価委員会の意見	関係機関との連携を深め、事業を進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	移住希望者・移住者のニーズに対応できるよう、町・集落・関係団体と連携して取り組む。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	613		
事務事業名	移住世帯下水道使用料補助金交付事業	予算大事業名	定住促進対策事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<移住・定住>						
総合発展計画【節】	第1節 移住(帰郷・新規転入)希望者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実						
事業の概要	目 的 若者移住世帯の新生活を支援						
	内 容 ・40歳未満の者1人以上が属する若者移住世帯移に対し、移住してから3年間、下水道使用料が庄内地域の最低料金自治体並みの水道料金になるよう、使用料補助金の交付を行う。 ・補助金額=(月使用料〇m <sup>3</sup> -基本量10m <sup>3</sup> )×@140						
令和元年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	今後も移住相談や移住フェアの際にPRや周知を行い、計画的に実施していく。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	町民係や子育て支援係と連携して、転入手続きの際に、窓口の職員から該当者に制度を案内していただき、制度の周知と手続き漏れがないように努めた。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	350	47	102	154			
令和3年度決算内訳(千円)	移住世帯下水道使用料補助金交付事業補助金:47						
成果指標設定の考え方	若者移住世帯の補助活用世帯数(IJUターン促進協議会年度計画の移住世帯数)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和6年		
	26	31	31	目標値	24世帯(年間)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	新規登録、助成期間終了(期間3年)の世帯がなく、活用世帯数の増減はなかった。若者移住世帯は、前職を離職して移住してくる場合が多く、その生活支援として有効であり、活用者からも好評を得ている。						
課題(改善すべき点や方向性)	転入したばかりの時は子どもが幼く水道料金があまりかからないケースが多い。近年、補助金支出額が少ない傾向にあるが、子どもの成長とともに増額する家計負担を支援して生活基盤を作ってもらおうと同時に、特徴のある施策であるため、今後もPRしながら継続したい。						
外部評価委員会の意見	今後も計画的に事業を進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	移住相談等の機会に特徴ある取り組みとしてPRを行いながら、庁内他係と連携して計画的に取り組む。					方向性	
						継続	



# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係	事業No.	398				
事務事業名	結婚支援推進事業	予算大事業名	結婚支援事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第1項 同級会などへの積極的な支援と若者対象事業の充実						
事業の概要	目的	結婚を希望する独身男女に出会いの機会を提供					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○結婚支援推進員、結婚支援推進員成婚謝礼事業</li> <li>・推進員の仲介による成婚時に報奨金10万円支給。</li> <li>○結婚祝金事業</li> <li>・町内への定住の意思のある40歳未満の夫婦に対し3万円助成。</li> <li>○若者交流事業</li> <li>・職員実行委員会による婚活イベントの開催、他団体等の婚活イベント支援(半額補助、上限20万円)</li> <li>・40歳未満の同窓会開催時に補助金を交付(参加人数等の条件により2～6万円)</li> </ul>					
令和元年度分の外部評価の意見	近隣市町村の成功事例を鑑みて、指標設定の考え方を再度検討していただきたい。	方向性					
		改善					
令和2年度分の町としての考え方	実行委員会によるイベント開催、他団体のイベント・同窓会開催支援は新型コロナに配慮しながら引き続き行うが、結婚支援推進員事業及び結婚祝金事業については、現在の若者のニーズや事業の必要性を踏まえ、今後の在り方を議論し方向性を決定する。	方向性					
		改善					
令和3年度に対応した主な活動	ワークショップ型女子会イベントを計画したがコロナの感染拡大により直前で中止となり、庄内地域在住の20～30代の男女にイベント希望や交流事業に関するアンケートを実施。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	1,423	673	623	966			
令和3年度決算内訳(千円)	報償費(事業協力謝礼、結婚祝い金等)580 負担金補助及び交付金(若者交流事業実行委員会負担金、ハッピーサポートセンター負担金、会員登録補助金)93						
成果指標設定の考え方	成婚定住者数(祝金支給件数)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	15組(100%)	18組(120%)	16組(106%)	目標値	15組(R元年実績より)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	3	4	3	2	D	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	他団体による交流イベントの申請は0件、結婚支援推進員による成婚報告も1件であった。コロナ禍以前から男女の交流事業は参加者不足等難しかったが、コロナ禍においてイベントの実施ができず、若者の交流や出会いの場づくりが更に難しい状況になった。他団体も同様で支援事業の申請はなかった。結婚支援金は目標値を超えたが、改めてニーズを把握しながら結婚の動機付けとなる事業内容を検討する必要がある。						
課題(改善すべき点や方向性)	遊佐町結婚支援推進員については、組織的な活動ができないことから、その在り方の検討が必要。コロナ禍に加え、結婚に関する若者の認識が多様化していることから、若者交流事業実行委員会に職員以外の委員を公募するなどし、ニーズの把握を行う。また、令和3年度で結婚祝金事業を終了し、これに代わるような事業等を実行委員会で検討する。						
外部評価委員会の意見	マッチングアプリの導入等、交流手法を工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	結婚支援推進員の方向性の検討、若者交流事業の体制づくりを進めながら、現在の結婚観やニーズに合わせた交流手法に取り組む。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 企画係			事業No.	416		
事務事業名	遊佐高校生留学制度事業	予算大事業名		事務局費一般経費			
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目的 遊佐高校に留学を希望する生徒の確保						
	内容 ①地域みらい留学フェスタへの参加。遊佐町見学体験プログラムの実施。 ②遊佐町自然体験型留学生用住宅の整備、運営。						
令和元年度分の外部評価の意見	/					方向性	
令和2年度分の町としての考え方						遊佐高入学生を確保するうえで、非常に重要で効果的な事業であるので、県内外へのPRを行いながら、他事業と組み合わせて継続的に事業を実施していく。	
令和3年度に対応した主な活動	県外志願者へのPRとして、オンラインで開催された地域みらい留学合同学校説明会に参加し、中学生の個別見学を受け入れ学校見学と町内見学を実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	16,600	13,728	11,830	5,522			
令和3年度決算内訳(千円)	①地域みらい留学参画料、コーディネーター委託料、高校見学旅費助成(県外中学生)、留学生用住宅整備(新設分)等 6,188千円 ②留学生用住宅 家賃、光熱水費、生活相談員謝礼 等 7,540千円						
成果指標設定の考え方	遊佐高校に入学した県外留学生徒数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	5	2	7	目標値	4人/年		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	3	2	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	県外志願者へのPRとして地域みらい合同学校説明会に参加しPRを行い、7名が県外からの入学となった。県外募集用のHPや動画を見て興味を持ったという中学生や保護者もあり、合同学校説明会だけではなく、継続した情報発信が申込者の増加につながった。						
課題(改善すべき点や方向性)	地域みらい留学に参画する学校は増加傾向にあるため、他の情報に埋もれないため、他校とは異なる遊佐高校の魅力を効果的にPRしていく必要がある。						
外部評価委員会の意見	他校にはない、遊佐高独自の魅力を効果的に発信し、寮などの対応を検討しつつ、生徒増につなげていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	学校・行政・地域が連携して、全国の高校生に選ばれる町・学校になるよう魅力向上に向けて取り組んでいく。町内外への発信強化と事業運営体制の検討・再構築、住宅整備等町内での生活の場の確保に努め、生徒増につなげていく。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	教育課 総務学事係			事業No.	337		
事務事業名	遊佐高校キャリアアップ支援事業	予算大事業名		事務局費一般経費			
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目 的 地元定住を望む遊佐高校の生徒の地元就職をめざした人材育成と定住化を図る。						
	内 容 ①3年生の普通自動車運転免許取得を支援する。(一人あたり6万円) ②介護ヘルパー資格研修受講者に支援金を給付する。(一人あたり2万5千円) 遊佐高校支援の会に補助金を交付し、支援事業を実施する。						
令和元年度分の外部評価の意見	事業の周知と、関連機関との連携によって、遊佐高校生の地元定住を促進していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	人材の確保と若者定住のために重要で効果的な事業であるので、引き続き継続して実施していく。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	入学者に対してはオリエンテーション等で利用案内のチラシを配布し、事業内容について説明して利用を促した。また、庄内地域やにかほ市の中学校へ訪問し事業PRを行うなど、効果的な周知に努めた						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	1,380	1,085	1,930	1,680			
令和3年度決算内訳(千円)	①3年生17名のうち16名から申請があり交付。 60,000円×16名=960,000円 ②5名から申請があり交付。 25,000円×5名=125,000円						
成果指標設定の考え方	卒業後も定住を決めた生徒数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和8年		
	18人	14人	11人	目標値	10人/年		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	4	3	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	事業周知の効果もあり、キャリアアップ支援の利用率も高くなっている。卒業後に地元(県内)に就職した生徒の割合も増加傾向にあり、一定の効果が認められる。						
課題(改善すべき点や方向性)	引き続き効果的な事業周知のために、遊佐高校と連携し近隣市町の中学校へのPRに努める。また、利用率の向上のため在学生へ呼びかけ申請を促していく。						
外部評価委員会の意見	今後も計画的に事業を進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	利用率の向上のために在学生に呼びかけ、事業周知を図っていくとともに遊佐高校の魅力化事業として近隣市町の中学校へPRしていく。また、新たなニーズ調査を行い、必要とされる支援事業を検討していく。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	地域生活課 管理係	事業No.	363				
事務事業名	若者住宅建設支援(賃貸住宅建設事業)	予算大事業名	定住促進住宅建設整備支援金交付事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目的 民間賃貸住宅の新築による若者の定住促進						
	内容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、工事完了検査、補助金の交付						
令和元年度分の外部評価の意見	事業名の見直しとわかりやすい目標値設定に努めていただきたい。		方向性				
			改善				
令和2年度分の町としての考え方	引き続き事業の周知を行うとともに、町内の賃貸住宅不足戸数を把握し、事業を実施する。		方向性				
			継続				
令和3年度に対応した主な活動	前年度に引き続き、事業周知に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	30,000 (取得・建設含む)	0	0	8,500			
令和3年度決算内訳(千円)	なし						
成果指標設定の考え方	新築賃貸住宅居住可能総戸数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	50%(5/10)	0%	0%	目標値	2戸		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	3	3	1	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	前年度に引き続き、申請件数は0件であった。町内での賃貸住宅の需要の高さに供給が伴っておらず、賃貸住宅の不足が続いている。賃貸住宅の不足解消に繋げるため、引き続き民間事業者等への周知を行っていく。 これまでの事業は、町のプロポーザルにより建設された賃貸が多かったため、プロポーザルがない場所についての建設を視野に目標値の見直しを行った。						
課題(改善すべき点や方向性)	補助制度について、民間事業者等へ周知を図る。						
外部評価委員会の意見	賃貸住宅の不足解消につなげるため、実態を踏まえて民間業者等へ補助制度について周知を図っていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	町内での賃貸住宅不足への対応のため、不足戸数を把握し、引き続き民間事業者へ周知を行う。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	地域生活課 管理係	事業No.	362				
事務事業名	若者住宅建設支援(建設支援)事業	予算大事業名	定住促進住宅建設整備支援金交付事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目的 住宅の新築による若者の定住促進						
	内容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、工事完了検査、補助金の交付						
令和元年度分の外部評価の意見	事業名の見直しとわかりやすい目標値設定に努めていただきたい。		方向性				
			改善				
令和2年度分の町としての考え方	町内・外に事業の周知、PRを行うとともに、利用者からも大変好評で、かつ定住化に大変効果的な事業であるため、引き続き実施し、定住化を図っていく。		方向性				
			継続				
令和3年度に対応した主な活動	前年度に引き続き、予算残額に注視しながら事業に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	30,000 (取得・賃貸含む)	27,200	32,700	20,600			
令和3年度決算内訳(千円)	交付決定:20件、27,200,000円 内、町外又は40歳未満:1,400,000円×16件=22,400,000円 町内又は40歳以上:1,200,000円×4件=4,800,000円						
成果指標設定の考え方	補助金交付申請件数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	68.66% (90% 18/20)	120% (24/20)	100% (20/20)	目標値	20件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和3年度における新築の実績は、前年度と比較する減少しているものの、町外からの転入者は前年度を上回り5件であったことから、引き続き町外・県外へ向けた広報やHPでの周知を行う。毎年申請件数の多い事業であることから、今後も予算に注視しながら継続的に取り組めるように事業を進めていく。						
課題(改善すべき点や方向性)	新型コロナウイルス状況に注意しながら、引き続き町外・県外へ向けた広報活動を行う。						
外部評価委員会の意見	今後も計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	利用者からも好評で、かつ定住化に効果的な事業であるため、町内・外に事業の周知・PRを行い定住化を図っていく。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	地域生活課 管理係	事業No.	261				
事務事業名	若者住宅建設支援(取得支援)事業	予算大事業名	定住促進住宅建設整備支援金交付事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援						
事業の概要	目的 住宅の取得による若者の定住促進						
	内容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、現地確認、補助金の交付						
令和元年度分の外部評価の意見	事業名の見直しとわかりやすい目標値設定に努めていただきたい。		方向性				
			改善				
令和2年度分の町としての考え方	町内・県外へ広くPRするとともに、他課との支援事業とも連携し、より効果的な事業になるよう取り組んでいく。		方向性				
			継続				
令和3年度に対応した主な活動	前年度に引き続き、予算残額に注視しながら事業に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	30,000 (建設・賃貸含む)	2,830	2,650	4,600			
令和3年度決算内訳(千円)	交付決定:7件、2,830,000円 内、町外又は40歳未満:4件、1,260,000円 町内又は40歳以上:3件、1,570,000円						
成果指標設定の考え方	補助金交付申請件数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	80%(8/10)	50%(5/10)	70%(7/10)	目標値	10件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和3年度の利用は7件であり、前年度と比較すると2件の増加であった。前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響も未だあるが、町外からの転入は4件とコロナ禍以前と同程度まで回復した。申請締め切り後の問合せが多かったため、予算の範囲内で柔軟に対応できるように努めたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	町外・県外の方にも広く周知が行えるよう、広報やHPへの掲載による制度の周知を引き続き行い、定住促進係と情報を共有しながら連携して事業に取り組んでいく。						
外部評価委員会の意見	今後も計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	町内・外へ広くPRするとともに、企画課定住促進係との支援事業の連携を強化し、より効果的な事業になるよう取り組んでいく。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	企画課 定住促進係			事業No.	674		
事務事業名	舞鶴地区若者定住促進事業	予算大事業名	舞鶴地区若者定住促進事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第3項 家族の絆づくり支援						
事業の概要	目 的 若者世帯の定住						
	内 容 ①民間活力賃貸住宅建設促進事業(令和3年度4区画 令和4年度4区画) 舞鶴地内若者定住住宅地を借り受け賃貸住宅を建設・経営する事業者を公募型プロポーザル方式で募集する。建設時の地盤改良工事費用、賃貸住宅建設費用の補助を行う。 ○賃貸住宅新築支援金 1戸200万円 同年度同一事業者上限1,000万円 ○地盤改良工事支援金 ・表層改良工法:1㎡あたり1万5千円 ・その他工法:1㎡あたり2万円 両工法とも上限1戸130万円 ②舞鶴地内若者定住住宅地分譲(令和3年度9区画) 舞鶴地内若者定住住宅地のうち、9区画の分譲販売を実施。						
令和2年度分の外部評価の意見	/						方向性
令和2年度分の町としての考え方							方向性
令和3年度に対応した主な活動	両事業とも7月より実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	8,300	8,235	0	9,999			
令和3年度決算内訳(千円)	賃貸住宅新築支援金:6,000 賃貸住宅地盤改良工事支援金:2,235						
成果指標設定の考え方	賃貸住宅・分譲後建築の住宅に入居した若者世帯数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	4世帯	実施なし	7世帯(+3世帯)	目標値	23世帯		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	5	5	4	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	民間活力賃貸住宅建設促進事業については、募集4区画全て事業者が決定し、令和3年度に3棟が建設完了、令和4年度に3棟建設完了予定。すでに建設完了した3棟には3世帯が入居した。分譲は9区画中6区画(6世帯分)を販売した。全町的に不足している賃貸住宅の確保、定住に向けた宅地分譲により、若者移住者の受入れ、若者転出の防止が図られたことから、今後も継続して実施する。						
課題(改善すべき点や方向性)	令和4年度は、4区画の町有地貸付、3区画の分譲販売を行う。引き続き広報、移住相談等で情報提供を図り進める。						
外部評価委員会の意見	計画的に事業を進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	広報、HP等で事業周知を図りながら、計画的に進める。						方向性
							継続

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	地域生活課 管理係	事業No.	366				
事務事業名	木造住宅耐震診断事業	予算大事業名	木造住宅耐震診断補助事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第3項 家族の絆づくり支援						
事業の概要	目的 大規模震災(震度6~7)に向けて自らの住宅の地震強度を周知し、補強を促す						
	内容 耐震診断希望者へ木造住宅耐震診断士を派遣、調査費用に対する助成						
令和元年度分の外部評価の意見	多方面への働きかけなど周知方法を工夫し、耐震診断数増を図り、安心安全な住宅確保に繋げていただきたい。		方向性				
			改善				
令和2年度分の町としての考え方	町民の住宅の耐震意識を高めるとともに、事業の周知を図り実施していく。		方向性				
			改善				
令和3年度に対応した主な活動	町民へ向けた耐震診断・耐震改修の必要性や制度のリーフレットを作成し、全戸配布を行い周知に努めた。 また、問い合わせのあった町民に対し、制度の説明を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	300	300	200	100			
令和3年度決算内訳(千円)	木造住宅耐震診断委託料:100,000円×3件=300,000円						
成果指標設定の考え方	診断実施件数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	33% (1/3)	66% (2/3)	100% (3/3)	目標値	3件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	3	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	町民の耐震に対する意識が強くなったことに加え、耐震診断や改修についてのリーフレットの全戸配布を行ったことで町民からの問い合わせが増加し、実績件数が3件と前年度を上回った。住民の安全性向上のために必要であることを認識し、引き続き町民への周知の推進を図っていく。						
課題(改善すべき点や方向性)	リーフレット作成による効果を一時的なものにしないことに加え、令和4年度から実施される住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに沿い、次年度以降も同様の申請件数になるように周知に努める。						
外部評価委員会の意見	町民への周知を図り、今後も計画的に事業を進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	引き続き町民の住宅への耐震意識を高めるとともに、事業の周知を図り実施していく。					方向性	
						継続	



# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	地域生活課 管理係	事業No.	263				
事務事業名	持家住宅建設支援金交付事業	予算大事業名	持家住宅リフォーム支援金交付事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第3項 家族の絆づくり支援						
事業の概要	目的 個人住宅の改良による景気浮揚						
	内容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、工事完了検査 ③補助金の支払い						
令和元年度分の外部評価の意見	これまでどおり需要に見合った予算の確保を図りながら、計画的に進めていただきたい。		方向性				
			継続				
令和2年度分の町としての考え方	町の建築関連産業及び住宅整備を図るうえで、非常に重要な事業であるので、引き続き周知・PR活動を行い、事業の掘り起こしを行う。		方向性				
			継続				
令和3年度に対応した主な活動	予算と需要のバランスに注視しながら事業に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	30,000	49,370	45,480	43,230			
令和3年度決算内訳(千円)	交付決定: 194件、49,370,000円 内、下水道接続工事 37件、10,330,000円 特殊工事 21件、12,230,000円 特殊工事+世帯要件 6件、3,300,000円						
成果指標設定の考え方	予算執行額 / 当初予算額						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	144%	152%	164%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	5	4	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	交付決定(申請)件数、執行額とも前年度を上回り、町民・建設事業者の間に本制度が浸透していることが伺える。令和3年度は予算不足により、締め切り予定の3月を待たずに募集を中止することとなったが、町の住宅整備事業を支える事業となるため、滞りなく執行できるよう、予算に注視しながら引き続き事業に当たっていく。						
課題(改善すべき点や方向性)	毎年度需要の高い事業であるため、引き続き予算に注視しながら執行していく。また、特殊工事や世帯要件に該当する場合は、県補助にも該当し補助率も上乗せとなるため、検討している町民に対し周知を行う。						
外部評価委員会の意見	予算に注視しながら、今後も計画的に事業を進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	今後も町民と業者のニーズに答えられるように、需要に応じた予算を確保しつつ、事業にあたっていく。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	地域生活課 管理係	事業No.	262				
事務事業名	住宅リフォーム資金利子補給事業	予算大事業名	住宅リフォーム資金利子補給事業				
総合発展計画【章】	第2章 若者に選んでもらえるまちづくり<<移住・定住>>						
総合発展計画【節】	第2節 若者の定住促進						
総合発展計画【項】	第3項 家族の絆づくり支援						
事業の概要	目的 個人住宅の改良による景気浮揚						
	内容 ①パンフレット、広報等での制度周知 ②申請の受理・審査、工事完了検査 ③貸付金融機関への利子支払い						
令和元年度分の外部評価の意見	これまでどおり事業内容の周知に努め、計画的に進めていただきたい。		方向性				
			継続				
令和2年度分の町としての考え方	広報・ホームページに掲載し周知を行うほか、事業者にもPRし、利子補給制度の利用拡大に努める。		方向性				
			改善				
令和3年度に対応した主な活動	前年度に引き続き、事業周知に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	700	217	329	517			
令和3年度決算内訳(千円)	荘内銀行:19件、138,207円(上半期:9件、69,378円/下半期:10件、68,829円) きらやか銀行遊佐駅前支店:2件、3,174円(上半期:1件、2,787円/下半期:1件、387円) 遊佐支店:9件、57,558円(上半期:5件、33,421円/下半期:4件、24,137円) 庄内みどり農協:3件、18,820円(上半期:2件、9,939円/下半期:1件、8,881円)						
成果指標設定の考え方	予算執行額/当初予算額						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	52%	47%	31%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	5	4	4	1	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	持家住宅リフォーム支援金制度の利用率上昇に伴い、申請件数は減少している。しかし、リフォーム支援金の対象とならない工事や施工業者が町外業者であっても制度を利用できることから、該当の町民に対して周知を行い、引き続き継続して事業にあたっていく。						
課題(改善すべき点や方向性)	同一年度で他の支援制度との併用ができないことや借入金の返済終了まで他の支援制度を受けられないことを改めて周知する。						
外部評価委員会の意見	事業内容の周知を行い、制度の利用拡大に努めていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	持家住宅リフォーム支援金との特性の違いを明確にし、制度の使いやすさを改めて周知し、利用拡大に努める。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	745		
事務事業名	思春期赤ちゃんふれあい体験事業	予算大事業名	母子保健事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第1項 出産・子育てにおける切れ目のない環境整備						
事業の概要	目的 いのちの大切さを学ぶ						
	内容 ①命の始まりや赤ちゃんについての授業 ②赤ちゃん誕生(ビデオ) ③赤ちゃん抱っこ体験 ④レポート作成・配布						
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら計画的に実施する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、赤ちゃんの抱っこ体験は実施せず、授業部分のみの実施とした。赤ちゃんとのふれあいができない分、妊婦体験の人数を増やしたり、沐浴人形の抱っこ体験に時間を取り、体験型の授業となるように工夫した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	48	2	180	125			
令和3年度決算内訳(千円)	消耗品(黒紙、封筒等) 2						
成果指標設定の考え方	赤ちゃんのかわいさ、命の尊さを感じた児童数/参加者数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	98.9% (88/89人)	100% (90/90人)	99% (103/104人)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍で実際の赤ちゃんの抱っこ体験はできなかったため、事業協力謝礼や消耗品の予算が未消化となった。町内全ての小学校から開催希望があり、実施できた。児童の感想からは「お母さんは大変だったろうな」「赤ちゃん人形はこんなに重いと思わなかった」など命について考えてくれていた。「有効性」「妥当性」「貢献度」は高い。						
課題(改善すべき点や方向性)	新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、実際の赤ちゃんを抱っこすることが難しい状況が続いているが、引き続き流行状況をみながら判断していく。赤ちゃんの抱っこ体験が実施できない場合も沐浴人形や妊婦シュミレーターを活用し、命の始まり～赤ちゃんの誕生の学習を通して、自分自身が大切な存在だと感じられる機会となるように授業内容を工夫していく。						
外部評価委員会の意見	計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	この学習を通して、児童が自分自身も大切に育てられてきたことを感じられるように、多様化する家庭環境に配慮しながら実施していく。また、令和5年度の小学校統合に向けて授業の持ち方も検討していく。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	175		
事務事業名	幼児むし歯予防事業	予算大事業名	乳幼児虫歯予防事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第1項 出産・子育てにおける切れ目のない環境整備						
事業の概要	目 的 幼児期のう歯罹患予防						
	内 容 ①歯科健診 ②フッ素塗布(希望者) ③保健指導(面接指導)						
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	引き続き、計画的にう歯予防について保護者や子ども達にポイントを押さえて啓発する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	新型コロナウイルス感染症予防のため乳幼児健診が2回中止になった。中止になった場合でも希望すれば、次回の健診を受診できるように配慮した。保護者が悩んでいること、仕上げ磨きを嫌がる、祖父母のおやつとの与え方などについて個別相談を実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	375	276	350	463			
令和3年度決算内訳(千円)	講師謝礼 8 歯科医師雇上げ委託料 226 消耗品費 25 通信費等 17						
成果指標設定の考え方	3歳児健診でう歯のある児の人数/受診者数(3歳児) 過去3年間の平均値(H30～R2)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	10.3% (8人/78人)	8.3% (6人/72人)	6.2% (4人/65人)	目標値	9.8%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	歯科医師の指導の下、歯科衛生士が中心となり歯科指導プログラムに沿って虫歯予防に取り組み、目標を達成している。う歯罹患率は県内、庄内保健所管内でも低く、事業の有効性、妥当性、効率性ともに高い。						
課題(改善すべき点や方向性)	今後も計画的にう歯予防について、保護者に情報提供しながら事業を実施していく。仕上げ磨きの方法やおやつとの与え方などについて個別の状況に合わせて支援していく。						
外部評価委員会の意見	計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	今後も子供の発達段階に合わせたう歯予防について、計画に沿って事業を行っていく。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係			事業No.	408		
事務事業名	放課後児童クラブの支援事業(2箇所)		予算大業名	放課後児童クラブ事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目 的 放課後児童クラブ利用による共働き世帯等の子育てと仕事の両立						
	内 容 ①放課後児童クラブ(蕨岡・遊佐各1か所)への補助金交付・実績報告書の提出 ②放課後児童クラブ運営への助言、指導 ③放課後児童対策未実施学区児童への交通支援 ④放課後児童クラブの利用を希望する児童を受入れられるクラブの整備						
令和元年度分の外部評価の意見	/						方向性
令和2年度分の町としての考え方							感染症対策については、引き続きクラブと情報交換・共有を行い、感染拡大防止に努めていく。令和5年度の小学校統合を控え、現在の各小学校区の児童の放課後の居場所づくりについて、議論を進めていく必要がある。
令和3年度に対応した主な活動	放課後子ども教室を所管している教育委員会社会教育係と連携し、小学校統合後の児童の放課後の居場所づくりについての検討会を開催した。クラブや地域の関係者を交えて開催し、クラブや子ども教室の課題を再確認したうえで、統合後の方針をとりまとめた。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	25,043	23,366	22,617	22,390			
令和3年度決算内訳(千円)	放課後児童クラブ送迎委託料 745 放課後児童クラブ利用料補助金 903 放課後児童クラブ処遇向上事業補助金 3,356 放課後児童健全育成事業補助金 16,403		放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業補助金 1,313 放課後児童クラブ育成支援体制強化事業補助金 484 放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業補助金 160				
成果指標設定の考え方	放課後児童クラブの受入者人数/希望人数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	100%	100%	100%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	放課後の児童の居場所については、社会教育係所管の放課後子ども教室と、子育て支援係所管の放課後児童クラブとがあるが、検討会の場で、それぞれの課題について担当課、関係者間での共有ができた。また、小学校統合後の児童の放課後の居場所づくりについて、町としての方針を決定することができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	統合後の方針が決定したことにより、同時に現在の放課後児童クラブが抱えている課題(スペースの狭さ、利用希望児童の増加)もより鮮明となった。現在運営されているクラブに対しての財政面や運営への支援の拡充等、課題の解決を図っていく。						
外部評価委員会の意見	関係機関と連携し、事業を着実に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	放課後児童クラブ指導員、保護者、放課後子ども教室との情報共有や意見交換を重ねて、放課後の児童の遊びと生活の場の充実を図ることにより、共働き世帯の子育てと仕事の両立を一層支援していく。						方向性
							継続

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係			事業No.	63		
事務事業名	子育て支援センターの運営事業		予算大業名	地域子育て支援センター事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目的	子育てに対する親の身体的負担及び不安の解消					
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに対する身体的負担及び不安の解消を図るため各種事業を実施。①あそびの広場(遊びを通じ、親子が触れあう機会の提供。年間12回程度)</li> <li>②らくらく育児講座(地域の先生等が講師になり製作活動を行う。年間11回程度の開催)</li> <li>③0-2歳児対象の身体計測 発達相談等</li> <li>・子育てサークル(すくすくクラブ)育成 (4月から3月までの月1回 サークル活動として開催。親子での行事や製作活動への参加)、一時預かりの実施等</li> </ul>					
令和元年度分の外部評価の意見	土日開催の実現に努めていただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	感染症が終息しない中、平日の事業実施や中止を決定している状況であり、また、土日の来館者数が多くなるとそれだけ密になってしまうことを考慮し、土日の事業開催については、感染症の状況も見ながら検討していく必要がある。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、子育て支援事業に取り組んだ。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	2,355	2,143	1,996	508			
令和3年度決算内訳(千円)	会計年度任用職員報酬 1,394	普通旅費 7	通信運搬費 48				
	会計年度任用職員期末手当 296	費用弁償 56	手数料 8				
	会計年度任用職員時間外手当 79	消耗品費 134	保険料 35				
	事業協力謝礼 76	食糧費 6					
成果指標設定の考え方	事業に参加し、かつアンケートを記入した人のうち、アンケートに「満足した」と回答した人の割合						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	100% (408人/408人)	100% (237人/237人)	99.6% (274人/275人)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業もあったが、開催できた事業のアンケート結果を見ると、概ね好評だった。						
課題(改善すべき点や方向性)	土日開催についてのアンケート結果で、回答数21件のうち14件で「土日開催の事業があれば参加したい」という回答があった。一方で、混雑やそれに伴う感染症対策を心配する声もあったため、引き続き土日開催の方法について検討していく。						
外部評価委員会の意見	子育てしやすい環境の整備に向けて、引き続き推進していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、土日の事業開催について検討を続ける。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係			事業No.	176		
事務事業名	育児支援家庭訪問事業(エンゼルヘルパー派遣事業)	予算大事業名		育児支援家庭訪問事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目的 出産後、日中 母子のみになる世帯の母の身体的及び精神的な負担の軽減を図る。						
	内容 ①母子健康手帳交付時、また、赤ちゃん訪問時等に本制度について説明 ②利用希望者からの申請時に利用日時及び回数、支援内容について確認 ③申請内容審査後、申請者に決定通知、受託先にヘルパーの派遣依頼						
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に実施していただきたい。						方向性
							継続
令和2年度分の町としての考え方	利用件数は少ないものの、育児にあたる母等の負担を軽減するばかりでなく、児童虐待防止の要素もあることから、今後も継続して実施する。						方向性
							継続
令和3年度に対応した主な活動	健康支援係による母子手帳交付時、乳児家庭訪問時、また、子育て支援係窓口において制度の説明を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	1,020	504	10	25			
令和3年度決算内訳(千円)	育児支援家庭訪問委託料:504千円(利用者:2名)						
成果指標設定の考え方	満足した人数/アンケート回答者数またはヒアリング回答者数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	100% (1人/1人)	100% (1人/1人)	100% (2人/2人)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	出産後、日中に母と子のみで過ごす世帯に対し、家事及び育児支援を行うことにより、母親の心身の負担軽減が図られる。利用件数は少ないものの、児童虐待防止の要素も併せ持つ事業であるため、今後も継続して実施する。また、長期間に渡る利用希望があったことから、ヘルパー派遣事業の新規委託契約先について検討を行った。						
課題(改善すべき点や方向性)	現在はヘルパー派遣事業について、遊佐町社会福祉協議会と契約しているが、核家族化や若夫婦のみの移住世帯、長期利用等を想定し、継続して新規委託契約先の検討を行う。						
外部評価委員会の意見	育児にあたる母親等の負担軽減を図り、計画的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	出産後の母親の身体的及び精神的負担を軽減でき、母親の心身の安定を保つ支えとなる本事業については、利用者数は少ないものの、児童虐待防止の要素もあるため、引き続き実施していく。						方向性
							継続

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係			事業No.	648		
事務事業名	すくすくゆざっ子支援金支給事業	予算大業名	すくすくゆざっ子支援金支給事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目 的 0歳～3歳に到達する年度末までの子を持つ子育て世帯の負担軽減を図る。						
	内 容 ①対象者の把握:出生届や転入届により事業対象の子どもがいる世帯の情報を把握する。 ②内容説明及び申請:申請にあたり制度説明を行い、手続きについて案内する。 ③支給:年3回(8、12、4月)支給する。						
令和元年度分の外部評価の意見	充実した子育て支援の推進を、引き続き着実に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	子育て世代移住奨励金交付事業やゆざっ子エンゼルサポート事業と併せて、就学前の子どもを有する世帯の経済的負担の軽減及び切れ目のない子育て支援の充実を図るため、引き続き着実に事業を実施する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	昨年度までと同様、出生や転入による対象者への本事業の制度説明と併せて、子育て世帯移住奨励金などの、町が実施している子育て支援について丁寧な説明に努めた。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	23,773	23,075	25,798	25,192			
令和3年度決算内訳(千円)	・すくすくゆざっ子支援金:23,030千円 (R3.8月:183人 7,060千円、R3.12月:201人 7,640千円、R4.4月:212人 8,330千円) ・消耗品費:20千円 ・印刷製本費:25千円						
成果指標設定の考え方	事業対象者への確実な支給						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	100%	100%	100%	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	3	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	出生や転入により対象となる世帯に対し、申請時に本事業や子育て世帯移住奨励金などの、町が実施している子育て支援の内容も含めて丁寧な説明を心がけた。また、住民異動情報による確認により、対象者の把握漏れ防止に努めた。引き続き対象者への確実な支給の実施に努める。						
課題(改善すべき点や方向性)	支給事務処理について、ICT推進室と共同で行っているが、日程の都合等で作業が遅れたことにより、支給対象者から振込予定日について問い合わせがあったことから改善していきたい。						
外部評価委員会の意見	支給事務処理について改善をしていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	子育て世帯の関心が高い事業であることを踏まえ、支給処理事務についてICT推進室と連携しながら改善する。					方向性	
						改善	



# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 子育て支援係			事業No.	527		
事務事業名	子育て世帯移住促進対策事業		予算大事業名	子育て世帯移住促進事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第1節 子育てしやすい環境の整備						
総合発展計画【項】	第2項 充実した子育て支援体制の推進						
事業の概要	目的	移住された義務教育課程の子どもを有する世帯に対し、子育てにかかる経済的負担の軽減と安心して子育てができる環境整備の支援を通じた定住促進					
	内容	①町民課受付からの転入の情報を受け、遊佐町子育て世帯移住奨励金交付対象者であるかの確認 ②対象者である場合に交付要件及び返還義務の説明を行い、申請を受付 ③対象者に四半期ごとに交付					
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き継続的に実施していただきたい。						方向性
							継続
令和2年度分の町としての考え方	支給対象児童数は年々減少しているが、定住を目的として移住した子育て世代に対する経済的負担の軽減及び安心して子育てができる環境の創出のため、関係する係と連携し、すくすくゆざっ子支援金支給事業や、ゆざっ子エンゼルサポート事業と併せて、一層の子育て支援の充実のために着実に事業を実施する。						方向性
							継続
令和3年度に対応した主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までと同様に庁内の関係する係間での連携を図り、事業を実施した。</li> <li>・要綱の改正を行い、記入様式及び添付書類の簡略化と、交付停止要件（転入後の町税等滞納）について明記した。</li> </ul>						
予算・決算（千円）	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	5,200	3,710	7,190	10,700			
令和3年度決算内訳（千円）	子育て世帯移住奨励金：3,710千円 【内訳】 ①R3.7月：970千円（児童数35人）②R3.10月：950千円（児童数32人） ③R4.1月：970千円（児童数35人）④R4.4月：820千円（児童数32人）						
成果指標設定の考え方	子育て世帯移住奨励支給対象児童数（新規認定）前年度認定数+1						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	14人	6人	13人	目標値	7人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	4	4	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価（方向性の理由）	庁内の関係する係間で情報を共有し、定住促進施策の一つである本事業について連携して取り組んだ。また、対象者の把握漏れ防止のため住民異動情報による確認を引き続き実施した。平成25年度から実施してきた本事業については、周知に努めてきたことにより事業の認知度は高く、子育てに係る経済的負担の軽減が図られる事業であるため継続する。						
課題（改善すべき点や方向性）	舞鶴地区若者定住促進事業により、子育て世帯の転入の増加が想定されるが、引き続き丁寧な説明を行う。						
外部評価委員会の意見	関係部署と調整を図り、子育てしやすい環境を継続的に進めていただきたい。						方向性
							継続
町としての考え方	定住を目的として移住した子育て世帯に対する経済的負担の軽減及び安心して子育てができる環境の創出のため、今後も関係する係と連携し、一層の子育て支援の充実のために着実に事業を実施していく。						方向性
							継続

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	181		
事務事業名	介護予防事業	予算大事業名	いきいき百歳体操推進事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第1項 高齢者のいきがいづくりと社会参加の推進						
事業の概要	目 的 健康寿命の延伸						
	内 容 ①「通いの場」創設支援(通いの場の必要性を説明し、住民主体の運営を支援) ②いきいき百歳体操の普及啓発						
令和元年度分の外部評価の意見	実施集落数も増加しており、引き続き住民主体による運営及び継続支援をいただき、計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	今後もコロナウイルス感染予防に留意しながら、通いの場新規創設に向けて周知やプレゼンテーションを行っていくとともに、継続支援を行う。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	通いの場継続支援として作業療法士による地域リハビリテーション活動を34回実施した。年度途中に再度案内を送り、より多くの集落が参加できるようにした。ゆぎ元気サポーターによるレクリエーションを2集落に実施する計画をしたが、コロナ感染症のため中止となった。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	296	63	267	63			
令和3年度決算内訳(千円)	通信運搬費 13 DVD作成手数料 50						
成果指標設定の考え方	週1回以上百歳体操を実施している「通いの場」の新規創設数/年(令和7年度までの全創設数40か所)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和7年		
	新設6か所(全48か所)	新設5か所(全44か所)	新設2か所(全45か所)	目標値	新設4か所/年(全40か所以上)		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ感染症のため活動を一時休止している集落もあったが、地域リハビリテーション活動支援事業の案内を年間2回送り、活動再開のきっかけとなるよう働きかけた。徐々に活動を再開する集落が増えており、通いの場は介護予防の有効性・妥当性・貢献度は高いと評価できる。						
課題(改善すべき点や方向性)	コロナ禍で、高齢者が家に閉じこもりがちになることが懸念されている。新しい生活様式の中で、感染予防に留意しながら介護予防事業を継続していくことが重要と考える。リハビリ職だけでなく、栄養士による講話なども取り入れながら継続支援を行っていききたい。						
外部評価委員会の意見	プログラムの内容をさらに工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	通いの場を通して高齢者が生きがいや役割を持つことが大切と考える。リハビリ職や管理栄養士、保健師による講話や、レクリエーションを取り入れるなど内容を工夫し、参加者のモチベーションを維持できるよう継続支援を行っていく。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 福祉係			事業No.	570		
事務事業名	高齢者福祉タクシー事業		予算大事業名	福祉タクシー利用助成事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第2項 安心してくらす環境整備						
事業の概要	目 的 高齢者に対する外出支援						
	内 容 タクシー乗車時の基本料金割引						
令和元年度分の外部評価の意見	高齢者や免許返納者に必要な事業なので、より活用いただける事業内容とするため、アンケート結果を踏まえた形での検討を進めていただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	手続きの簡略化や年間交付枚数等、引き続き制度の内容を検討する。					方向性	
						改善	
令和3年度に対応した主な活動	当初の交付枚数(36枚)をすべて使い切った方に対し、1人1回、さらに12枚の追加交付を行った。また、追加交付の申請は電話受付も可能とし、手続きの簡略化を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	13,527	9,352	8,334	9,562			
令和3年度決算内訳(千円)	10,602枚×680円=7,209,360円 422枚×590円=248,980円 3,788枚×500円=1,894,000円 合計 9,352,340円						
成果指標設定の考え方	①:申請率(申請人数/対象人数) ②:利用率(年間利用枚数/交付総枚数)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	①=43.0%(736人/1710人) ②=53.4%(14,156枚/26,496枚)	①=42.2%(700人/1,658人) ②=52.7%(13,279枚/25,200枚)	①=42.4%(671人/1,581人) ②=55.7%(14,854枚/26,684枚)	目標値	①=45% ②=55%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	追加交付を行ったことにより、申請時の事業利用者からの反応は好評であった。申請率・利用率ともに前年度を上回る結果となっており、継続して実施していきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	引き続き利用実績やニーズを把握しながら継続したい。						
外部評価委員会の意見	日曜日の利用について検討していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	町内の営業所が休業日の場合についても、事前予約があった場合は酒田市の本社から配車のうえ、ご対応いただいております。タクシー券も利用可能である。日曜日の利用については、交付時に配布しているチラシに記載する等、今後利用者への周知を図っていく。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 福祉係			事業No.	441		
事務事業名	高齢者鍼灸マッサージ助成事業	予算大事業名	高齢者鍼灸・マッサージ助成事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第2項 安心してくらす環境整備						
事業の概要	目 的 高齢者の健康増進						
	内 容 鍼灸治療を行った際、治療費の一部を助成						
令和元年度分の外部評価の意見	今後も計画的に事業をすすめていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	今後も定期的に広報等で事業周知を行うなど、利用率の向上を図る。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	令和2年度同様、広報及び事業所窓口に当事業の申請書を常備していただくなど、制度の周知を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	800	505	593	640			
令和3年度決算内訳(千円)	505枚×1,000円=505,000円						
成果指標設定の考え方	①:申請率(申請者数/対象人数) ②:利用率(年間利用枚数/交付総枚数)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	①=4.2%(164人/3,923人) ②=65.0%(640枚/984枚)	①=4.1%(166人/4,025人) ②=59.5%(593枚/996枚)	①=3.7%(151人/4,058人) ②=55.7%(505枚/906枚)	目標値	①=5% ②=60%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	申請率、利用率ともに令和2年度を下回る結果となったが、新型コロナウイルス感染拡大による外出機会の減少が原因として考えられる。高齢者の健康増進・維持につなげるためにも引き続き継続して実施していきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	引き続き周知方法に工夫しながら継続したい。						
外部評価委員会の意見	広報の仕方を工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	広報掲載およびチラシの作成等、周知方法を検討しながら、引き続き高齢者の健康維持のために支援を行う。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 福祉係	事業No.	396				
事務事業名	住宅改造整備補助事業	予算大事業名	住宅改造整備補助事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第2項 安心してくらす環境整備						
事業の概要	目的 在宅生活の支援						
	内容 段差解消や手すり設置など軽微な住宅改修を行った際に工事費の1/2を助成(助成上限額10万円)						
令和元年度分の外部評価の意見	介護認定を受けていない高齢者のみの世帯や障がい者がいる世帯について、緊急に住宅改修が必要になった時のための事業なので、きめ細やかに広報等でPRしていただきたい。		方向性				
			改善				
令和2年度分の町としての考え方	類似の事業との区別がわかりにくい、リフォーム事業に統合するなどし申請者にわかりやすい形にした方が良く考える。		方向性				
			縮小				
令和3年度に対応した主な活動	周知に至らなかった。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	200	0	67	36			
令和3年度決算内訳(千円)	支出無し						
成果指標設定の考え方	本事業適用率(助成実施者数/助成申請者数)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	1件(100%)	1件(100%)	0件(0%)	目標値	100%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	1	1	1	1	1	D	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	介護保険で行っている居宅住宅改修事業と、地域生活課で行っているリフォーム事業の補完的な位置付けの事業であるが、条件が限られているので周知が難しい。活用実績がなかったため、R4年度については事業休止としている。						
課題(改善すべき点や方向性)	類似の事業との区別がわかりにくい、リフォーム事業に統合し廃止するか、既存要綱の見直しを行い、申請者にわかりやすく、より使いやすい事業に見直しを図る。						
外部評価委員会の意見	住宅改造整備が必要な世帯が支援を受けられるようリフォーム事業との統合を図られたい。					方向性	
						統合	
町としての考え方	住宅改造整備が必要な世帯が支援を受けられるようリフォーム事業との統合を図る。					方向性	
						統合	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 介護保険係			事業No.	150		
事務事業名	介護予防事業(ゆったり健康サロン)	予算大事業名		ゆったり健康サロン事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 高齢者の介護予防						
	内 容 町内の温泉施設を活用し、介護予防に役立つレクリエーションの実施						
令和元年度分の外部評価の意見	これまでどおり事業内容の工夫と、関係機関と連携を密にし、利用率の向上に努めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症が収束しない中ではあるが、今後も感染症対策を施し、参加率増加に繋がるよう関係機関と協議しながら介護予防に努める。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	あぼん西浜において、健康チェック、介護予防体操、栄養バランスのとれた昼食の提供・紹介をおこない、介護状態に陥ることなく老後を過ごせるように支援をおこなった。11回実施・65名の方より参加があった。会場、集落間の送迎もおこなっている。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	800	271	362	600			
令和3年度決算内訳(千円)	委託料 271,445円(遊佐町総合交流施設株式会社) 遊佐町総合交流施設株式会社と80万円以内で委託契約を締結している。コロナ感染拡大防止のため、22回実施予定だったが、内11回中止となったため、決算額が昨年度や令和元年度より減少している。						
成果指標設定の考え方	推定元気高齢者数/全体高齢者数 (推定元気高齢者数の出し方:3月31日現在の町内65歳以上の人口-年度末時点の町内要介護認定者数)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	80.6% (4,450人/5,519人)	80.8% (4,500人/5,569人)	80.98% (4,477人/5,528人)	目標値	80%以上		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	効率性について、決算額が少ないが、コロナウイルス感染症蔓延により計画通り事業を実施できなかったことが理由となるため、コスト削減検討とはならないと考え4とした。活動量については22事業計画の内、11実施したので2とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	コロナウイルス感染症のため、令和3年度は事業が中止となった回があり、計画通り実施することが難しかったが、アンケートを集計すると、また参加したいとの声が多い。感染対策をさらに検討し令和4年度は事業を計画通り実施し、介護予防に努めたい。						
外部評価委員会の意見	地区の実情に応じた周知方法を工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	参加者増加につながるよう、地域に出向いて事業の説明をするなど周知方法を工夫したい。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 介護保険係			事業No.	342		
事務事業名	いきいき教室事業	予算大業名	介護予防・生活支援サービス事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 要介護状態になることの予防						
	内 容 運動器の機能向上及び認知機能の低下予防、口腔機能の向上等の包括的プログラムを実施。						
令和元年度分の外部評価の意見	参加者の増加に結びつくよう周知を図っていただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	事業対象者と認定された方々にはチラシを同封し周知に努めているが、今後もPRを徹底し事業内容を工夫しながら参加対象者の健康増進に努める。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	デイサービスあいあいは遊佐会場実施、(株)福祉のひろばは酒田会場実施として業務を委託。春(5月～7月)、秋(8月～11月)、冬(12月～3月)と時期を分け、運動、栄養、口腔、認知症等に関するリスクを抱える高齢者に対し、ストレッチや口腔体操、脳トレなどを実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	2,268	995	469	989			
令和3年度決算内訳(千円)	・委託料 995,400円 社会福祉法人遊佐厚生会(デイサービスあいあい) 3,150円×310名(延べ)実施=976,500円 株式会社 福祉のひろば 3,150円×6名(延べ)実施=18,900円						
成果指標設定の考え方	事業参加者人数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	66.6% (22人/33人)	42.8% (6人/14人)	24	目標値	<b>25</b>		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	5	4	1	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和2年度までの成果指標設定 介護保険未設定者(事業対象者)/教室参加者 だと、目的としている「要介護状態になることの予防」が明らかにならない。参加することで要介護状態になることの予防が見込まれることから、事業参加者人数を成果指標とした。目標値は、第8期介護保険事業計画高齢者福祉計画の計画値とした。 活動量について、(株)福祉のひろば委託分(酒田会場)について、春コースの5月～6月一人×6回のみ活動量だったため1とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	事業に参加することで、介護予防とつながる事業であるため、コロナ感染対策を万全にし事業を実施していきたい。酒田会場分については、申込者が少なかつたため、なぜ申し込みが少なかつたのか、委託事業者と課題を話し合い酒田会場の事業実施は町民の介護予防とつながるかを検討する必要がある。						
外部評価委員会の意見	会場ごとの特性が分かるようにPR方法を工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	酒田会場と遊佐会場の実施内容がわかるようなチラシ等を作成し対象者に周知したい。地域に出向いて事業を説明するなどPR方法を工夫したい。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 福祉係			事業No.	395		
事務事業名	寝具乾燥消毒サービス事業		予算大事業名	寝具乾燥消毒サービス事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 寝具洗濯等を行い、衛生的な住環境を整える						
	内容 寝具の洗濯等が困難な高齢者世帯に対し、寝具の洗濯から乾燥までのサービスを提供						
令和元年度分の外部評価の意見	広報、介護支援専門員、民生委員等から事業周知の協力をいただきながら、利用率の向上に努めていただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	高齢者の衛生的な環境づくりのため、業者と連携して利用率の向上を図る。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	布団の回収や回収した布団の置き場など、申請数の増加に伴い前年度から変更する部分もあったが、委託先から調整に協力をいただきながら実施することができた。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	840	762	582	504			
令和3年度決算内訳(千円)	寝具乾燥消毒サービス事業:762,000円 内訳 (委託料 6,600円×127名)-(利用者負担 600円×127名)						
成果指標設定の考え方	利用率(利用世帯数/対象世帯数)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	5.0% (71世帯/1,407世帯)	5.1% (76世帯/1,483世帯)	6.6% (101世帯/1,525世帯)	目標値	5%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	世帯数が増加したことに加え、広報掲載の回数を増やしたこともあり、過年度よりも大幅に申請数が増加した。リピーターも多く、一定の効果が見込まれることから、引き続き介護支援専門員等からも周知に協力いただきながら、継続して実施していきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	制度の周知を図るとともに、委託先との連携を密にし柔軟に対応していく。						
外部評価委員会の意見	町民の健康と衛生を守る事業であり着実に実行していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	利用率の向上につながるよう委託業者と連携しながら事業を実施し、高齢者世帯の衛生的な環境づくりに努める。					方向性	
						継続	



# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	612		
事務事業名	ゆげ健康マイレージ事業	予算大事業名	保健衛生一般経費				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり<<子育て・健康・福祉>>						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 町民の健康に対する意識の向上と主体的な健康づくりへの支援						
	内 容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆげ健康マイレージポイントカードの配布</li> <li>・対象事業参加者へのポイント付与</li> <li>・20ポイント達成者には「やまがた健康づくり応援カード」交付と1,000円相当の商品券贈呈</li> <li>20ポイント、30ポイント達成者には健康グッズの抽選へ応募できる</li> </ul>						
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ、健康づくりの機会が失われないよう事業の周知や普及啓発を図る。また、対象事業やポイントの見直しを行いより多くの方が事業に参加してもらえるように努める。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	対象事業とポイントの見直しを行うとともに、運動サークルについては申請時と実績報告を簡略化し、より事業に参加しやすいように変更した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	1,248	1,033	1,013	1,211			
令和3年度決算内訳(千円)	事業協力謝礼 571 印刷製本費 447 消耗品費等 15						
成果指標設定の考え方	ゆげ健康マイレージ登録者数/20歳以上の人口						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	14.5% (1,665/11,448)	12.6% (1,462/11,565)	9.6% (1,109/11,609人)	目標値	15%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	4	3	2	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍でゆげ健康マイレージ登録者の割合が3ポイント減少したものの、登録者に対する20ポイント達成者の割合は37.4%で6ポイント増加した。このことから各種事業やイベントが中止や縮小があったものの、マイレージを意識して事業に参加した方が多かったと思われる。アンケートでも「ポイントが貯まるのが楽しく、いろいろな事業に参加するきっかけになる」との意見や98.7%の方がこの事業が健康づくりのきっかけになったと回答されており「妥当性」「貢献度」は高い。						
課題(改善すべき点や方向性)	住民が楽しくポイントを貯めながら、健康づくり事業に参加できるよう、健康グッズの景品と対象事業の付与ポイントの見直しを行い、魅力的な事業を目指す。機会を捉えて事業の周知と同時にゆげ健康マイレージ登録者の増加を図っていく。						
外部評価委員会の意見	健康グッズの景品の見直しと抽選方法の見直しについて工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	コロナ禍であっても感染予防に留意し、楽しみながら健康づくりができるよう、健康グッズの景品と対象事業の付与ポイントの見直し等を行っていく。さらに事業の周知を行っていく。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	146		
事務事業名	若年者健診(わかば健診)		予算大事業名	若年者健診事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり<<子育て・健康・福祉>>						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 若年期からの生活習慣病の予防						
	内容 ①若年者健診の周知・案内、未受診者への受診勧奨 ②若年者健診の実施						
令和元年度分の外部評価の意見	受診を呼びかけ引き続き計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	成人式等でPRを行い、早期に健診受診の定着を目指す。ホームページ等も有効活用して健診の周知を行う。また、受けやすい体制の整備に努めることで受診率向上を図る。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	健診未受診者に対し早めに受診勧奨し、健診受診の機会を多くもてるようにした。若年者健診日程で都合がつかない方には特定健診やドック健診日程での受診を勧めた。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	1,702	1,083	1,233	1,233			
令和3年度決算内訳(千円)	若年者健診委託料 1,022 役務費 61						
成果指標設定の考え方	若年者健診を受診した者/職場等で健診の受診機会のない者(20~39歳)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和6年		
	37.5% (142人/378人)	38.7% (142人/367人)	36.0% (131人/364人)	目標値	38%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	継続的に健診を受けている方がいる一方で、健康への関心の低さ、事業の認知不足等により、定期受診につながらない方もみられる。今後も対象者に対して若年者健診の周知を行うとともに、健診を受けやすい体制の整備を行っていく。また、特定保健指導レベルの対象者に対して個別にフォローを行い、若い年代から生活習慣予防に努めていきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	早期に健診受診の定着を目指すため、健診受診につながるようなチラシを作成し、町広報やホームページの他、地区の行事や地区広報を活用して積極的に健診の周知を行っていく。また、定期的な受診勧奨を行っていく。						
外部評価委員会の意見	受診率向上のため、健診を受けやすい体制整備と若者の意識改革を進めていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	若年者が健診に関心を持てるよう町広報やホームページだけでなく、立ち寄りやすい町内店舗、公共施設にポスターやチラシを設置し、周知を図っていく。また、健診機関と協議しながら受診しやすい体制整備に努め、受診率の向上を目指す。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係	事業No.	163
事務事業名	各種がん検診精密検査未受診者対策の推進	予算大事業名	健康増進法事業(教育・相談)
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》		
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備		
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実		
事業の概要	目的	精密検査未受診者の減少	
	内容	健診結果配布時に受診勧奨。その後、未受診者へ文書や電話、訪問により精検の受診勧奨を実施。	
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に実施していただきたい。	方向性	
		継続	
令和2年度分の町としての考え方	がんの早期発見・早期治療のため、未受診者対策は重要である。文書による受診勧奨に加えて、電話や訪問で状況確認を行い、受診率向上を図る。	方向性	
		継続	
令和3年度に対応した主な活動	年3回(8月、11月、1月)の文書による受診勧奨の実施に加え、対象者により、地区担より未精検者へ電話、訪問にて受診勧奨または受診状況の確認を行った。		
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額
	51	22	15
令和3年度決算内訳(千円)	がん精検受診勧奨通知郵送料22千円 パンフレットは購入せず、県より無料の啓発リーフレット提供があった。		
成果指標設定の考え方	精検受診者数/要精検者数(胃がん、大腸がん)		
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年
	69.6% (172/247人)	87.7% (199/227人)	78.9% (165/209人)
目標年度			
目標値			
令和6年			
100%			
評価欄			
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度
	4	5	4
		効率性	活動量
		4	2
		評価値	方向性
		A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	がん検診にて精検となった場合、異常の早期発見・早期治療が重要であり、未受診者への受診勧奨は妥当性は高い。昨年同様、年3回文書での受診勧奨に加え、訪問、電話にて受診勧奨や状況確認を行ったが、昨年より精検受診率は低下した。通知では受診に結びつかない方も顔を合わせ、生活状況の把握とともに受診の必要性を話すことで受診へつながった方もいれば、通知や訪問、電話で受診勧奨を行っても結びつかない方もいた。新型コロナウイルス感染防止を理由に受診を控えるという理由もあげられた。		
課題(改善すべき点や方向性)	未受診者に対しては、受診勧奨だけでなく生活状況や治療状況の確認を行い、適切な検診方法や受診の流れを丁寧に説明する。成果指標の胃がん、大腸がんは他のがん検診の精検受診者に比べて低く、パンフレットを活用し、検査方法を説明し、不安なく検査を受けることができるよう支援する。		
外部評価委員会の意見	着実に実施していただきたい。		方向性
			継続
町としての考え方	がんの早期発見・早期治療のため、精密検査の未受診者対策は重要である。コロナ禍で医療機関への受診を控える方もいるが、文書での通知のほか、電話や訪問で状況確認と精密検査の必要性を伝え、受診率向上を図る。		方向性
			継続

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	379		
事務事業名	各種がん検診事業(胃、大腸、子宮、乳、肺)	予算大事業名	健康増進法健診事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり<<子育て・健康・福祉>>						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 がんの早期発見						
	内 容 ①検診の周知・案内、未受診者への受診勧奨 ②検診の実施						
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	令和3年度は新型コロナウイルスの影響を受けて受診控にならないように、複数回の受診勧奨を行い受診率の維持向上に努める。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	特定健診及びドック健診の受診勧奨に併せて、がん検診の受診勧奨も同時に実施した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	41,280	33,956	33,350	37,331			
令和3年度決算内訳(千円)	各種検診業務委託料・・・32,174千円 会計年度職員報酬等・・・766千円 通信運搬費・・・720千円 消耗品費・・・15千円 印刷製本費・・・281千円						
成果指標設定の考え方	各がん検診受診者数(延べ) /各がん検診対象者数(延べ)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	50.4% (10,416人 / 20,659人)	49.0% (9,978人 / 20,349人)	50.5% (9,963人 / 19,690人)	目標値	50%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	受診者数は減少しているが、対象者数に対しての受診者数の割合は、新型コロナウイルス感染症流行前と比較しても微増となっており、昨年度の検診控えの解消が進んでいる。今後も検診状況に応じて受診勧奨の時期を検討しつつ事業を継続して実施する						
課題(改善すべき点や方向性)	ドック健診・特定健診の勧奨に併せて、がん検診も同時受診するような受診勧奨を定期的に行い、受診率の維持・向上に努める。						
外部評価委員会の意見	計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	特定健診の受診勧奨に併せてがん検診受診のはたらきかけも継続的に実施する。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	377		
事務事業名	特定健診	予算大事業名	特定健康診査事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり<<子育て・健康・福祉>>						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 生活習慣病の予防						
	内 容 ①特定健診の周知・案内、未受診者への受診勧奨 ②特定健診の実施						
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	令和3年度は新型コロナウイルスの影響を受けて受診控にならないように、複数回の受診勧奨を行い受診率の維持向上に努める。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	町での受診勧奨に加え、受診勧奨委託を実施した。また、健診機関の受診勧奨協力も得た。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	16,422	15,502	14,762	15,216			
令和3年度決算内訳(千円)	特定健診委託料・・・9,596千円 受診勧奨委託料・・・2,665千円 健診データ入力業務委託料・・・265千円 システム保守管理委託料・・・878千円 需用費/役務費等・・・1,183千円 会計年度報酬等・・・915千円						
成果指標設定の考え方	遊佐町国保加入者で健診を受診した者(40～74歳)/遊佐町国保加入者(40～74歳) (国保加入者:4/1から翌年3/31までの1年間加入していた者)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和5年		
	R2.3月末 60.2% (1,528/2,537) R2.9月末60.5% (1,527/2,525)	R3.3月末 59.1% (1,509/2,552) R3.9月末59.9% (1,517/2,533)	R4.3月末 61.0% (1,536/2,519) R4.9月末	目標値	60%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け健診控えが多かったが、令和3年度は定期的な健診通知及び受診勧奨(ハガキ・電話)によって、新型コロナウイルス感染症流行前を上回る受診率となった。						
課題(改善すべき点や方向性)	令和2年度に健診を控えてから令和3年度に再度健診を受けていただいた方が引き続き受診していただけるように定期的な受診勧奨を継続して実施し、受診率の維持・向上に努める。						
外部評価委員会の意見	未受診者の特性に応じた受診勧奨を工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	委託事業を活用し、個人の健診の受診方法を分析した上で対象者によって勧奨資材を変えて受診勧奨を実施する。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	627		
事務事業名	特定保健指導		予算大事業名	特定保健指導事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的 健康の自己管理の徹底						
	内容 ①積極的支援・動機付け支援の実施(メンズ健康くらぶ、健診結果説明会、栄養相談会、家庭訪問の実施) ②対象者への案内・勧奨						
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	第三期特定健診計画に基づき、今後も計画的に保健指導を実施するとともに、対象者の個々に生活に合わせた効果的な支援を継続する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	受診者の利便性・効率性を考慮してドック受診者の保健指導を各々の健診機関(健診センター、医療機関)に委託して実施している。町直営の保健指導においても健診結果説明会開催の機会を活用してタイムリーに対象者に寄り添った細やかな指導を心がけた。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	2,358	1,634	1,287	1,509			
令和3年度決算内訳(千円)	講師謝礼 211 印刷製本費 37	委託料 1,088 事業協力謝礼 8	通信費 232 食糧費 3	消耗品費 55			
成果指標設定の考え方	動機づけ支援、積極的支援実施者数/保健指導対象者数(第3期特定健康診査等実施計画に基づく目標)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和5年		
	R2.3月末 28.6%(52/182) R2.9月確定 53.3%(97/182)	R3.3月末 22.8%(45/187) R3.9月確定 56.6%(107/189)	R4.3月末 29.3%(55/188) R4.9月確定	目標値	60%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	ここ数年低下傾向にあった特定保健指導実施率(法定報告)が令和2年度は56.6%と3.3ポイント上昇している。特定保健指導の一部委託により、酒田ドック及び病院ドック健診受診者が健診当日に初回面接を受けることができ、コロナ禍に合わせた継続指導が実施されたことによる利用者の増加や、直営(町実施)においてもドック未実施者の掘り起こしも行ったことが一定の成果につながったと考えられる。引き続き、対象者の生活状況に合わせた行動変容ができるよう支援していく。						
課題(改善すべき点や方向性)	保健指導を受けることに抵抗感があり連続して拒否する方に対してもコンタクトを取り、生活状況の把握に努め、対象者とのつながりを保ちながら寄り添った保健指導につなげていく。						
外部評価委員会の意見	計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	第三期特定健診計画に基づき、今後も計画的に保健指導を実施するとともに、対象者の生活状況を考慮し行動変容につながるような支援を継続していく。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	574		
事務事業名	高齢者体力アップ事業	予算大事業名	国保特別会計 疾病予防費				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目的	高齢者の健康増進					
	内容	①健康チェック・運動指導士等による運動指導 (はつらつ貯筋講座・サポーター養成講座) ②各講座への参加募集③傷害保険料					
令和元年度分の外部評価の意見	引き続き計画的に推進していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	介護予防の一助として適切な運動の継続は効果的である。ダイレクトメールや広報での周知に加え、町内の医療機関へ協力を得て参加者の確保を図るとともに、その後の運動継続ができるよう支援する。サポーターとなった後も事業協力を呼びかけ、活動の場を広げる。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	はつらつ貯筋講座を計32回開催し、今年度より運動サークル体験の回を設けた。サポーター養成講座は中止となった。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	852	339	581	660			
令和3年度決算内訳(千円)	報償費(事業協力謝礼)267千円、保険料19千円、OA機器賃借料45千円、消耗品等8千円						
成果指標設定の考え方	体力測定(長座体前屈、握力、開眼片足立ち)結果の合計点が維持・向上した人/はつらつ貯筋講座修了者数 ・・・参加者数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	81.8%(9/11) ・・・16人 サポーター養成講座・・・8人	100%(7/7人) ・・・10人 サポーター養成講座・・・10人	87.5%(7/8人) ・・・9人	目標値	85%		
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	4	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	成果指標は目標を達成でき、有効性は高い。体力測定のほかインボディを活用し、自身の体を知るきっかけづくりができた。講座の後半に運動サークル体験の回を設け、講座終了後も運動を継続できるよう支援した。自主サークル等への加入をした方は6人、他2人は各自で運動を続けており、継続率は100%であり、妥当性は高い。主観的健康観が維持・向上した人の割合は87%であり、精神的な面の効果もあった。						
課題(改善すべき点や方向性)	参加人数の減少が課題である。昨年よりダイレクトメールのほか町内の医療機関へ協力を得て、周知を行った。セカンドライフ健診や各地区まちづくりセンターへのちらし配布など機会をとらえて周知を行っていただきたい。						
外部評価委員会の意見	参加率向上のため、周知方法を工夫していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	介護予防のため、運動の継続は効果的である。講座終了後も運動を継続できるような支援を行っていく。参加者については、ダイレクトメールだけではなく、町の医療機関の協力を得たり、各事業時に講座を周知したり、機会を捉えて講座を知ってもらおう機会を作り、参加率の向上を目指す。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	158		
事務事業名	食生活改善推進員養成事業		予算大事業名	食生活改善事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり<<子育て・健康・福祉>>						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 食生活改善普及のための人材育成						
	内 容 ①食生活改善推進員養成講習会・地区伝達講習会の実施 ②対象者への周知・案内等 ③食生活改善推進協議会へ指導委託 ④その他(食生活改善推進協議会研修費:講師謝礼、調理器具の補充等)						
令和元年度分の外部評価の意見	参加率の向上を図っていただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、令和3年度も伝達講習会は各地区1回とし、10月以降に実施する。感染予防対策を徹底しながら、可能な範囲で伝達講習会を行っていく。今後も回覧などを活用し、地域に周知、情報提供を行う。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	新型コロナウイルス感染症予防のため、講習会は1回とし。調理実習は行わず講話、みそ汁塩分測定等を実施した。各地区で献立表を回覧、配布した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	414	392	191	354			
令和3年度決算内訳(千円)	食生活改善推進員養成事業事業委託 140 備品 140 報償費・需用費 112						
成果指標設定の考え方	参加延人数/食改地区推進員数×開催回数(2回) (参加率)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	41.6% (164人/394人)	25.8% (50人/194人)	40.4% (78人/193人)	目標値	40%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	集落へ献立表の回覧、講座でのみそ汁塩分測定を工夫するなど、できる限り内容の充実を図った。参加者のアンケートで「講座の内容を今後に活かそう」と答えた人の割合が72%だった。また講習会の内容を「家でも作ってみる」「友人に伝える」「集落到レシピを回覧、配布する」と答えた人が86.6%と高く、食生活を通して住民の健康づくりの一助になっていると考えられ、有効性・妥当性・貢献度は高いと評価できる。						
課題(改善すべき点や方向性)	新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、令和4年度は伝達講習会は各地区2回実施する。感染予防対策を徹底しながら、可能な範囲で伝達講習会を行っていく。今後も回覧などを活用し、地域に周知、情報提供を行っていく。						
外部評価委員会の意見	伝達講習の参加率の向上を図っていただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	参加率の向上に向け、案内通知と電話勧奨の他、1回目参加者が2回目もまた参加したくなるよう内容の工夫を図っていく。また、集落等での献立表回覧等を通じ、栄養バランスや減塩等食生活改善の一助となる情報提供、周知を継続していく。					方向性	
						改善	



# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	180		
事務事業名	訪問口腔衛生指導	予算大事業名	口腔衛生指導事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実						
事業の概要	目 的 要介護等高齢者の健康の保持増進						
	内 容 ①口腔内観察 ②口腔内の保清(ブラッシング等) ③保健指導						
令和元年度分の外部評価の意見	健康保持の為、引き続き計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	今後もケアマネージャー等関係者とも連携しながら、効果的な口腔指導を継続する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	介護保険事業所への周知のほか、介護保険認定調査の際に本人や家族へ周知を図った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	799	791	758	711			
令和3年度決算内訳(千円)	歯科衛生士報酬:766 消耗品:25						
成果指標設定の考え方	口腔内の状況が維持・改善した人数/2回以上訪問した人数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	96.3% (26人/27人)	94.7% (36人/38人)	100% (20人/20人)	目標値	95%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	新型コロナウイルス感染症の感染状況により訪問を控えなければならない時期があったため、令和3年度の訪問総数は延べ78件と昨年度の6割弱にとどまった。継続訪問を実施したケースでは、口腔内の状況が改善したケースが9割となっており、本事業の有効性、妥当性、貢献度は高い。						
課題(改善すべき点や方向性)	在宅療養者への訪問指導を継続するとともに、コロナ禍で家庭訪問が思うように実施できない状況にあっても、要介護者が口腔内の状態を良好に保つことができるようにケアの必要性和その方法について周知するなど、工夫しながら実施していく。						
外部評価委員会の意見	着実に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	在宅療養者向けの口腔衛生に関するリーフレットをケアマネージャーを通して配布するとともに、必要な方へは感染予防に配慮しながら口腔衛生訪問を実施する。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 国民健康保険係			事業No.	430		
事務事業名	医療制度の周知事業	予算大事業名	一般管理費・疾病予防費				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目 的 医療制度の周知により、医療制度の適正な利用を促す						
	内 容 ①広報誌による周知 ②町HPへの掲載 ③医療証の更新時パンフレット発行 ④新規医療証取得者へのチラシ交付						
令和元年度分の外部評価の意見	広報等での周知を引き続き実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	医療制度を理解することは、被保険者が安心して医療の給付を受けることや、医療費の適正化に繋がる。被保険者にとってわかりやすく、かつ納得できる広報記事・チラシ作成等に努める。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	医療制度についての記事を広報掲載し、保険証・医療費のお知らせ送付時にパンフレット等を同封した。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	消耗品 600 委託料 200	消耗品 17 委託料 21	455	365			
令和3年度決算内訳(千円)	・消耗品 17 ・委託料 21 ※令和2年度までの決算額は総額を計上。令和3年度からは実経費のみ計上。						
成果指標設定の考え方	広報への掲載回数、及びパンフレットの発行回数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	広報掲載-6回 パンフレット発行回数-1回	広報掲載-5回 パンフレット発行回数-1回	広報掲載-4回 パンフレット発行回数-2回	目標値	広報掲載-3回 パンフレット発行回数-2回		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	5	5	5	4	3	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	高額療養費制度・国保加入喪失手続きに関することなど、こまめな情報提供に努めた。高額療養費制度については関心をもっていただけたようで問い合わせも増えた。また、マイナンバーカードの保険証利用についてのパンフレットを初めて交付した。昨年度に引き続き国保制度の周知を図ることができた。						
課題(改善すべき点や方向性)	令和2年度はコロナ禍による受診控えの影響もあり医療費が下がり、例年と違う状況の国保会計収支決算になったことから会計の状況に関する記事の掲載はおこなわなかった。令和3年度は例年並みに戻ったことから、会計の状況に関する記事掲載を再開したい。						
外部評価委員会の意見	住民サービス向上に向けて、継続して事業を実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	医療制度を理解することは、被保険者が安心して医療の給付を受けることや、医療費の適正化に繋がる。被保険者にとってわかりやすく、かつ納得できる広報記事・チラシ作成等に努める。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 国民健康保険係			事業No.	431		
事務事業名	ライフアドバイザー設置事業	予算大業名	国民健康保険関連事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目的 医療制度の周知により、医療制度の適正な利用を促す						
	内容	①ライフアドバイザーの募集・委嘱 ②納税相談 ③徴収業務					
令和元年度分の外部評価の意見	納税者の立場を尊重しつつ、引き続き着実に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	納税担当職員と連携しつつ、ライフアドバイザーによる訪問徴収を行う当事業を継続し、被保険者間の負担の公平を図る。また、収納率の向上に努め、円滑な国民健康保険運営を図る。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	納税係員が納税者と相談した計画納税に基づき、納税者宅・勤務先等を訪問し、現金徴収・納税手続きをおこなった。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	1,498	1,113	1,175	1,257			
令和3年度決算内訳(千円)	・事業協力謝礼 1,113						
成果指標設定の考え方	収納率(徴収金額/滞納繰越金調定額) 国保税収納金額						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	3.5% (1,940/55,321) (千円) 1,940千円	3.6% (1,897/52,354) (千円) 1,897千円	2.0% (1,077/53,199) (千円) 1,077千円	目標値	3%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	3	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	目標値を大きく下回った。アドバイザーが徴収した総額3,902,162円のうち国保税の割合は27.6%にとどまった。アドバイザーの訪問により、滞納世帯の方々に納税意識を継続して持ってもらうことに繋がっている。国保税以外の固定資産税・町県民税・水道料等も徴収しているおり、徴収総額は例年並みであるため、引き続き納税担当者情報・課題の共有を図り、収納率の向上に努めたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	国保税に関しては、どうしても納付困難な滞納者が残ってしまい徴収額が伸びない状況になっていると思われる。また、そのような滞納者にかぎって滞納額も高額である。少しずつでも納税していただけるように根気よく交渉し、収納率向上に努める。						
外部評価委員会の意見	収納率向上のため、滞納者の実態把握を着実に実施していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	納税担当職員と連携し、滞納者の生活状況等の実態把握に努め、ライフアドバイザーによる訪問徴収件数を昨年度より増やし、収納率の向上に努める。当事業による徴収努力により、被保険者間の負担の公平を図り、円滑な国民健康保険運営を図る。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 介護保険係			事業No.	705		
事務事業名	家族介護継続支援事業		予算大事業名	家族介護継続支援事業			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目 的 在宅高齢者の介護を行う世帯の負担軽減						
	内 容 介護用品(紙おむつ)の現物支給(自宅に配達)						
令和元年度分の外部評価の意見	今後も事業を着実に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	家族の精神的・経済的負担を軽減するために必要な事業と位置付けるため今後も継続する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に住所を有し寝たきり等の常時失禁のある在宅高齢者へおむつの現物支給をおこなった。</li> <li>R3年度は延べ771名分の現物支給をおこなった。</li> <li>・R3年度より利用上限額・支給条件が変わった。</li> </ul>						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	5,000	2,667	5,739	5,464			
令和3年度決算内訳(千円)	<p>【6,000円】170名 973,973円 おむつ1,073支給</p> <p>【4,000円】298名 1,118,170円 おむつ782支給</p> <p>【2,000円】303名 575,299円 おむつ556支給</p>						
成果指標設定の考え方	おむつ支給延べ人数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	1438	1475	771	目標値	1,000人		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	5	2	2	B	改善
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	所得制限を設けており、寝たきり状態であるすべての方が対象とならないため、おむつの支給延べ人数を成果指標とした。目標値は、第8期介護保険事業計画高齢者福祉計画の計画値とした。R3年度より支給要件が変更となったため、この要件で継続するのであれば予算を減らすことも検討する必要があるため効率性は2とし、活動量については、登録している85%の方へおむつの配布をおこなっているため2とした。						
課題(改善すべき点や方向性)	この事業は地域支援事業(補助事業)で実施しており、国より、支援事業として実施するのは廃止・縮小でとの通達があり、R3～R5は激変緩和措置として実施している。低所得世帯等への影響も考慮しながら継続して支援するための方策を検討する必要がある。						
外部評価委員会の意見	継続的に支援するための方策を検討していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	家族の精神的・経済的負担を軽減するための事業であるため、継続して実施するために、補助事業を活用せず実施している自治体の情報を収集し検討していきたい。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 福祉係		事業No.	394			
事務事業名	重度心身障がい者紙おむつ支給事業	予算大事業名	身体障がい者在宅福祉事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらせる環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目的 重度心身障がい者を在宅で介護している介護者の負担軽減						
	内容 紙おむつの現物支給(自宅に配達)						
令和元年度分の外部評価の意見	/					方向性	
令和2年度分の町としての考え方						継続的にかかる負担の軽減を図るため、引き続き事業を進める。	方向性
令和3年度に対応した主な活動	介護者の経済的負担を軽減するために、おむつの定期購入にかかる費用の支援を行った。					継続	
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	360	219	271	262			
令和3年度決算内訳(千円)	7ヶ月×4名=147,462円 5ヶ月×3名= 71,961円 合計 219,423円						
成果指標設定の考え方	支給要件に所得制限を設けているため目標値設定は不相当と判断、支給実績値(=支給月数)を挙げる。						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	43月	48月	43月	目標値	支給実績値		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	5	5	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	成果指標の設定について、支援が必要な方には手帳交付時等に制度について案内しており、対象者のほとんどの方が利用している状況のため、支給率を指標とすることは難しい。また、令和3年度は、これまで利用されていた方が1名減となったことにより、支給実績も1名分減少となっている。おむつの購入にかかる費用を助成し、在宅生活での負担を軽減するためにも、引き続き実施していきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	目的である介護者の負担を軽減するため、引き続き支援を行っていく。						
外部評価委員会の意見	介護者の経済的負担が軽減されるよう計画的に実施していただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	在宅介護における経済的負担を軽減するため、重度心身障がい者への支援を継続して行う。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 健康支援係			事業No.	515		
事務事業名	地域医療充実支援事業	予算大事業名	地域医療充実支援事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第2節 健康でいきいきとくらす環境整備						
総合発展計画【項】	第4項 医療・介護保険事業の推進						
事業の概要	目 的 町内医療機関の看護師不足の解消						
	内 容 ①看護師、准看護師、介護福祉士を正規職員として採用した医療機関へ交付金を交付 ②町内医療機関等で勤務する意思のある看護学生へ奨学金の貸付						
令和元年度分の外部評価の意見	実態を調査し医療機関と連携し、進めていただきたい。					方向性	
						改善	
令和2年度分の町としての考え方	今後も学校等へのPR及び医療機関への制度周知を継続し、また、県や関係機関と連携し情報提供の機会を検討する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	①医療機関からの要望があり交付金の対象となる正規職員に介護職員を追加、交付期間を3年から5年とした。(令和3年3月31日要綱改正) ②町広報やHPでの周知。看護師等養成機関、庄内地域の高等学校、県看護協会等へ制度周知を行なった。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	11,340	8,230	8,640	6,711			
成果指標設定の考え方	①地域医療安定化対策支援交付金 1医療機関 6,500千円 ②看護師等奨学金貸付金 5件 1,730千円 ※20,000円×2人×12月=480,000円 50,000円×1人×12月=600,000円、50,000円×1人×10月=500,000円、50,000円×1人×3月=150,000円 計1,250,000円 (休学による貸付停止、年度途中の申請あり)						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和3年		
	①2件 ②新規1人・累計10人	①2件 ②新規3人・累計13人	①1件 ②新規2人・累計15人	目標値	実績値		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	①町内医療機関への交付金は1件で、新たに3人が対象となり12人が該当。 ②看護師等奨学金貸付金は新規2人、計5人に貸付を行なっている。1人は看護師国家試験に合格し町内福祉施設に勤務、償還猶予となっている。猶予期間中の退職者が1人おり一部償還開始、令和3年度末までに償還猶予となっていた1人は全額免除となっている。制度周知については、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、庄内地域の高等学校訪問を中止し資料送付のみとなった。						
課題(改善すべき点や方向性)	①町内医療機関の雇用状況調査を実施し、実状を把握する。 ②関係機関への制度周知を行なうとともに、昨年中止となった高等学校訪問を実施する。						
外部評価委員会の意見	定期的な実態調査と、制度の周知を徹底していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	町内医療機関の看護師等雇用実態を把握するため、雇用状況調査を行う。看護師等養成施設や関係機関及び高等学校への制度周知を行う。					方向性	
						改善	

# 事務事業評価シート

所管課・係名	企画課 企画係			事業No.	245		
事務事業名	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業	予算大事業名	国際交流事業				
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第3節 共に助け合う地域の絆の再生						
総合発展計画【項】	第2項 地域福祉を担う人材育成						
事業の概要	目 的 外国人住民の生活継続の確保						
	内 容 母国への里帰りの際の交通費や、就労に役立つ資格取得費に対する助成を行う						
令和元年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	新型コロナウイルス感染症の影響により里帰りが難しい状況下にあるが、引き続きNPOいなか暮らし遊佐応援団と連携し、対象者に分かりやすい事業周知及び対応に努める。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	日本語講座受講者への周知を行った。また、手続き等について問い合わせも多く、NPO法人いなか暮らし遊佐応援団と連携し対応を行った。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	300	0	0	300			
令和3年度決算内訳(千円)	助成申請件数0件のため支出なし						
成果指標設定の考え方	里帰り助成及び資格取得助成の申し込み件数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和6年		
	転出 10人 転入 24人 ※住民登録77人	0件	0件	目標値	10件		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	4	4	4	4	2	A	継続
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	新型コロナウイルス感染症の影響で、里帰り助成件数及び資格取得助成件数は0件だった。事前の相談・問合せは何件もあったが丁寧な対応ができたと思う。						
課題(改善すべき点や方向性)	令和4年度以降、新型コロナウイルス感染症が落ち着きが見えれば、事前の相談・問合せが増えると考えられるため、引き続き周知を行いながら、相談があった際は分かりやすい対応に努める。						
外部評価委員会の意見	着実に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
町としての考え方	引き続き事業の周知を行いながら、在町外国人の定着・生活継続に資するよう進めていく。					方向性	
						継続	

# 事務事業評価シート

令和3年度

所管課・係名	健康福祉課 福祉係			事業No.	516		
事務事業名	地域支え合い体制づくり事業補助金	予算大事業名		地域支え合い体制づくり事業補助金			
総合発展計画【章】	第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》						
総合発展計画【節】	第3節 共に助け合う地域の絆の再生						
総合発展計画【項】	第3項 地域福祉を支える仕組みの充実						
事業の概要	目 的 高齢者活動の体制づくりの推進						
	内 容 老人クラブのある集落に対して、高齢者活動拠点となる施設の整備費用を補助する。						
令和元年度分の外部評価の意見	今後も計画的に進めていただきたい。					方向性	
						継続	
令和2年度分の町としての考え方	拠点整備は、ほとんどの集落が活用しているが、介護予防備品整備の方は、未だ使っていない集落もある。機会を見て周知する。					方向性	
						継続	
令和3年度に対応した主な活動	百歳体操の拡大に伴い、保健師等を通じて制度が周知されているが、コロナ禍により事業機会が減ってしまった。						
予算・決算(千円)	令和3年予算額	令和3年決算額	令和2年度決算額	令和元年決算額			
	2,500	50	2,100	5,176			
令和3年度決算内訳(千円)	介護予防備品購入補助 1集落 50,000円(事業費53,508円)						
成果指標設定の考え方	老人クラブのある集落数/集落数						
成果指標の年度経過	令和元年	令和2年	令和3年	目標年度	令和4年		
	91/110=82.7%	87/110=79.1%	86/110=78.1%	目標値	70%		
評価欄							
担当課評価基準	有効性	妥当性	貢献度	効率性	活動量	評価値	方向性
	2	2	2	2	1	D	縮小
令和3年度担当課年度評価(方向性の理由)	コロナ禍により老人クラブの活動に制限があったため、事業活用実績も少なかった。活動継続・拡大による医療・介護費の減につなげるためにも、事業を継続していきたい。						
課題(改善すべき点や方向性)	拠点整備は、ほとんどの集落が活用しているが、介護予防備品整備の方は、未だ使っていない集落もある。未活用集落に対し、機会を見て周知していきたい。						
外部評価委員会の意見	補助金交付の対象の拡大を検討していただきたい。					方向性	
						改善	
町としての考え方	未活用集落への事業の周知に取り組むとともに、老人クラブでのニーズも踏まえた上で、補助金交付対象の拡大について検討する。					方向性	
						改善	



・ ・ ・ ・ ・ 第 2 部 ・ ・ ・ ・ ・

事務事業の外部評価報告書

## 1. 外部評価制度について

### 遊佐町行政評価外部評価委員会設置の目的

当町における行政評価制度の導入は、平成 15 年度より試行導入し、平成 16 年度から役場内部で遊佐町行政評価推進委員会を設置して、行政事務事業評価を実施してきました。具体的には、事業の目的や成果を検証し、更には課題を整理しながら当該事業を、より良い方向に改善していくという内部評価に取り組んできました。

しかし、この過程で三つの課題が浮び上がりました。一つ目は、行政評価は、町民への施策や事務事業の説明を目的として、事業の見直しや仕分けというものに繋げるための制度と位置づけているものの、実際には、行政評価の結果と遊佐町の振興計画の策定作業とが直接結びついていない状況でした。

二つ目は、行政評価を行った結果が町民への説明資料として作成されるものの、評価により明らかになった課題が次年度の計画や予算に直接反映することがない状況でした。その結果、普段の行政事務が整理されないまま、行政評価の事務が増えているだけといった状況があり、町民説明という目的は幾分果たしているものの、優先順位として直接業務に影響している度合いは、決して高いものではありませんでした。

三つ目は、評価の対象として、評価する必要性が低いと思われる事業や、町に裁量権が無い事業などが評価対象とされていることによって「何のための行政評価なのか」といった評価を行う目的がさらにぼやけてしまっている状況にありました。

以上のように、より効率的で効果的な政策運営を進める仕組みや、町民に分かりやすい町政の運営を図る仕組みというものが求められています。そこで、町民による客観的な評価により明らかになった課題を、迅速に次年度の計画に反映していくことで、町民本位の町政、町民の視点に立った町政に変えていく行政経営の一つの手段として、外部評価制度の導入ということが検討されました。その結果、平成 22 年度から外部評価制度を導入することとなり、遊佐町行政評価外部評価委員会を設置し、その目的を、町が実施する行政評価に関し、「評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保すること」としました。

## 2. 評価の視点（外部評価に当たっての視点）

外部評価に際して、事業を町が本当にしなければならないものか、という「行政関与の妥当性・必要性」に重きを置き、その上で、「事業の効率性」さらにはその「事業の効果・成果」を順に検討しました。これら視点の具体的な内容は、次の通りです。

## (1) 行政関与の妥当性・必要性

- ・行政でなければできないことがあり、行政だからできることがあります。町の行政を町民の視点で検討し、行政が関与していく必要性を検証します。
- ・世の中には、社会的弱者と言われる人たちがいて、行政が関与しなければ、助けることができない場合があります。社会的弱者の視点で、行政が関与することは、妥当なのか、必要なのか、検証します。
- ・事業の中には、「なぜ行政がここまで関与するのか」というような疑問を抱く事業もあります。いろいろな協議会や協会の事務局を行政が行っている場合がありますが、行政サービスと行政が関与する必要性を混同しているときがあります。町民の視点で、見直す必要性があるかを検証します。
- ・以前は、声が大きい人や権威がある人が言うと、予算が通る時代がありました。しかし、近年の歳出抑制の時代には、行政でも、できないものはできないと言うべきであり、町民に任せることも必要です。行政がすべきことと町民ができることを比較しながら、検証します。
- ・例えば、国で決めた補助事業を、そのまま鵜呑みにして導入し、町で実施するのはいかがなものかと考えます。失敗する場合もあり、失敗してもだれも責任をとりません。町民にとって本当に必要な事業は何か、行政も本当に必要と考え実施している事業なのか、町民の視点で検証します。

## (2) 事業の効率性

- ・ムダの排除ということを考え、まとめられる事業はまとめるべきです。同じような事業を、違う課にまたがって行っている場合もあるので、類似的な事業はないか、事業の再編や統合はできないか、事業の効率性を考えた合理化という視点で検証します。
- ・どんな事業も費用が優先されるが、費用をかけないサービスという効率的な視点で事業はできないか、検証します。

## (3) 事業の効果・成果

- ・事業の効果・成果が、行政において、あまり確認されていない場合があります。町民の視点で費用対効果も含めて、事業の効果・成果を確認し、今後、どのようにすべきかを検証します。
- ・事業の効果・成果について、行政としての評価が甘くないか、過大すぎないか、検証します。

## (4) その他

- ・費用対効果や受益と負担のバランス、町民への奉仕者としての役割を、企

業経営という視点で比較しながら検証します。

- ・業務上の日常の管理が事業の実施上の管理に結びついているか、管理するための目標値がきちんと設定されているかという視点で検証します。

- ・事業も長期に渡り実施することで、マンネリ化、慢性化してくる。そのようなことによる弊害を防ぐという視点で検証します。

- ・外部評価の実施も13年目となり、昨年までとの比較という視点で検証します。

令和4年度 遊佐町行政評価外部評価委員会 名簿

班名	氏名	公募・学識経験者の別	地区	備考
1班	佐藤 憲三	学識経験者	遊佐	委員長 班長
	長澤 良樹	学識経験者	蕨岡	
	菅原 愛	公募	稲川	
	真嶋 敦子	学識経験者	稲川	
	佐藤 佳子	学識経験者	高瀬	
2班	佐藤 悦雄	公募	遊佐	班長
	本間 功	公募	稲川	
	高杉 晋	学識経験者	遊佐	
	池田 隆子	公募	稲川	
	松本 香	公募	遊佐	
3班	小松 早苗	学識経験者	遊佐	班長
	高橋 智	学識経験者	蕨岡	
	佐藤 陽	学識経験者	西遊佐	
	菅原 麻理子	学識経験者	吹浦	
	阿部 恵美子	公募	吹浦	

事務局

企画課	企画課長	渡会 和裕
	課長補佐兼企画係長	荒木 茂
	主査	村井 孝徳
	主任	瀧口 めぐみ
	主事	菅原 優輔

## 遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱

### (設置)

第1条 町が実施する行政評価に関し、評価制度の透明性と評価内容の客観性を確保することを目的に、遊佐町行政評価外部評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 町が実施した事務事業評価の内容の検証を行うこと。
- (2) 町が実施した事務事業評価の内容に関し、提言及び提案を行うこと。
- (3) 行政評価制度のあり方に関し、提言を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、町長が必要と認めた事項。

### (組織等)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から、町長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 公募による町民
- (3) 前2号に掲げるもののほか、町長が特に必要と認める者

3 委員の任期は、委嘱する日の属する年度の3月31日までとする。ただし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故あるとき又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第5条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者又は関係職員の出席を求めることができる。

3 委員長は、第2条に規定する所掌事項を効率的に処理するため、委員に分業を指示することができる。この場合において、委員は、その結果を委員長に報告するものとする。

### (庶務)

第6条 委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

### (その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。（遊佐町告示第69号）

附 則（平成26年6月13日告示第121号）

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則（平成29年6月20日告示第174号）

この要綱は、公布の日から施行する。

## 遊佐町行政評価外部評価委員会公募委員選考要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、遊佐町行政評価外部評価委員会設置要綱第3条第2項第2号の規定に基づく公募による委員(以下「公募委員」という。)の選考方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(応募資格)

第2条 公募委員に応募しようとする者(以下「応募者」という。)は、次に掲げる要件を備えていなければならない。

- (1) 遊佐町の町政に関心のある者
- (2) 遊佐町の住民基本台帳に記載され、又は、外国人登録原票に登録されている者で、引き続き1年以上遊佐町内に居住している者
- (3) 応募する年度の4月1日現在の年齢が20歳以上の者
- (4) 平日に開催する会議等にも出席できる者
- (5) 国又は地方公共団体の職員、国会又は地方議会の議員でない者

(応募方法等)

第3条 公募委員の募集は、遊佐町役場の掲示場に掲示するほか、遊佐町広報等により行うものとする。

- 2 公募委員の募集人員、募集期間、応募方法等は、遊佐町行政評価外部評価委員募集要項に定める。
- 3 応募者は、遊佐町行政評価外部評価委員会応募用紙(別記様式。以下「応募用紙」という。)により応募するものとする。

(選考の方法)

第4条 公募委員の選考に当たり、遊佐町行政評価外部評価委員会選考委員会(以下「選考委員会」という。)を設置する。

- 2 選考委員会は、副町長、教育長、総務課長、企画課長で構成する。
- 3 選考委員会に委員長を置き、副町長をもってこれに充てる。
- 4 選考委員会は、応募資格及び応募用紙の記載内容を審査の上、選考するものとする。この場合において、次に掲げる事項を総合的に考慮するものとする。

- (1) 男女比や年齢構成の均衡
- (2) 職種の多様性
- (3) その他必要な事項

(選考結果の報告等)

第5条 委員長は、公募委員の選考を終了したときは、直ちに町長に報告しなければならない。

- 2 町長は、前項の報告を受けたときは、速やかに、選考結果を応募者全員に書面で通知するものとする。
- 3 応募用紙は、返却しないものとする。
- 4 応募者等からの選考過程についての問い合わせには応じないものとする。

(庶務)

第6条 選考委員会の庶務は、行政評価担当所管課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が選考委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成22年5月31日から施行する。(遊佐町告示第70号)

## 令和4年度外部評価ヒアリング日程

班	課名	係名	内部評価	外部評価	ヒアリング日時		場所
					7月5日	7月6日	
1班 (19事業)	健康福祉課	健康支援係	0	13	7月5日	9:00-16:00	第2 会議室
	企画課	企画係	6	2	7月6日	9:00-10:00	
	企画課	観光物産係	4	3		10:00-11:30	
	企画課	PAT整備推進室	0	1		11:30-12:00	
2班 (20事業)	産業課	農業振興係	0	3	7月5日	9:00-10:30	第1 委員会室
	産業課	産業創造係	3	3		10:30-12:00	
	産業課	水産林業係	1	1		13:00-13:30	
	健康福祉課	国保係	0	2		13:30-15:30	
	健康福祉課	子育て支援係	0	5	7月6日	9:00-11:30	
	健康福祉課	福祉係	0	6		11:30-15:30	
3班 (20事業)	地域生活課	管理係	2	6	7月5日	9:00-12:00	第2 委員会室
	健康福祉課	介護保険係	0	3		13:00-14:30	
	教育課	総務学事係	2	1		14:30-15:00	
	企画課	定住促進係	1	10	7月6日	9:00-15:00	
ヒアリングなし	総務課	総務係	2	0	/		
		財政係	1	0			
		ICT推進室	3	0			
		危機管理係	6	0			
	農業委員会	農地管理係	0	0			
	地域生活課	土木係	2	0			
		環境係	9	0			
		上水道係	3	0			
		下水道係	2	0			
	教育課	文化係	0	0			
		社会教育係	1	0			
	町民課	課税係	3	0			
		町民係	1	0			
		納税係	2	0			
議会事務局	議事係	1	0				
合計			55	59			



## 令和4年度外部評価ヒアリング結果（令和3年度事後評価）

### (1) 評価結果（事業の「方向性」の特徴・比較）

・全部で59事業について評価しましたが、次年度以降の事業の「方向性」について、担当課評価と外部評価に分けて集計した結果は、別表（P.89）の通りです。また、全事業の個々の評価については、次項「外部評価ヒアリングの事務事業シートのまとめ」（P.90～）をご覧ください。

・担当課評価の「継続」が40事業67.80%に対して、外部評価の「継続」が29事業49.15%、担当課評価の「改善」が10事業16.95%に対して、外部評価の「改善」は29事業49.15%となり、結果として外部評価結果は「継続」「改善」とも29事業49.15%ずつでした。外部評価を開始して令和4年度で13年目となりますが、「継続」と「改善」の判定が同割合になったのは今年度が初めてであり、外部評価の判定が大変厳しい結果となったことが伺えます。

・「方向性」の内訳について、担当課評価と外部評価を突き合わせると、「継続」「改善」など評価が一致している事業は、59事業のうち36事業であり、一致している割合は61.01%です。ほぼ同一の事業の外部評価を実施した令和2年度の外部評価（令和元年度事後評価）では、一致している事業の割合が70.49%だったため、令和4年度の外部評価（令和3年度事後評価）の方向性と一致した事業の割合は、令和2年度（令和元年度事後評価）と比較して△9.48%となり、担当課評価と外部評価の方向性の不一致の差が大きくなりました。

・「方向性」の差が顕著となった理由としては以下の3点が考えられます。

1点目は、斎藤先生からの講評でも触れられておりますが、令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止又は大幅に縮小せざるを得ない事業が少なからずあり、結果的に方向性を決定するための評価値が低く、担当課の方向性を「縮小」とせざるを得なかったことです。

2点目は、事務事業評価シートの見直しを図り、「担当課年度評価」欄と「課題（改善すべき点や方向性）」欄を個別に設けたことにより、課題が「見える化」され外部評価委員の目線からでも、各事業における改善の方向性を見つけやすくなったことです。

3点目は、外部評価において、これまでの活用手段は確かに有効であるが、より効果を上げるための手段として新たな視点を示した事業については、方

向性を「改善」としたことです。以上3点により、例年と比較して方向性の不一致の差が大きくなったと考えられます。

## (2) 今後に向けて

- ・外部評価で「継続」と判定された事業であっても、外部評価ヒアリングの過程で問題点を指摘された事業もあり、「継続」とはいえ、町民の視点に立って再検討し、更なる事業の充実を図る必要があります。

- ・外部評価で「改善」の判定をされた事業は、外部評価委員より厳しい指摘、意見を受けた事業が多く、担当課が事業内容や制度設計の見直しを含め、具体的な改善策を示し、実施する必要があります。担当課年度評価で課題を明らかにしている事業が多いため、その課題の解決に向け、各課において取組を進めていただきたいと思います。

- ・事務事業評価シートは、決まった様式ではなく、必要に応じて適宜見直し、修正をしていく必要があります。外部評価委員、果ては町民に対して分かりやすい内容にするため、必要な部分については引き続き都度見直しを図ります。

- ・今年度は、昨年度に引き続きヒアリング対象事業に係る事務事業について、各課に対し、事前の資料提出をお願いしたところです。また、班長会議を随時開催し、当日のヒアリングの進め方、各事業に対する指摘事項などについて意識共有を図り、円滑に外部評価ヒアリングが進むように努めました。このような取組みについては引き続き外部評価委員の意見を踏まえ、次年度以降も必要な事項については更なる改善を図ります。

(別表)

令和4年度外部評価の評価結果

方向性の集計

方向性	担当課評価	%	外部評価	%
拡大	0	0.00%	0	0.00%
継続	40	67.80%	29	49.15%
改善	10	16.95%	29	49.15%
縮小	9	15.25%	0	0.00%
統合	0	0.00%	1	1.69%
廃止	0	0.00%	0	0.00%
終了	0	0.00%	0	0.00%
対象外	0	0.00%	0	0.00%
計	59	100.0%	59	100.0%

方向性の内訳

		外部評価								計 (%)
		拡大	継続	改善	縮小	統合	廃止	終了	対象外	
担当課評価	拡大	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	継続	0	26	14	0	0	0	0	0	40 (67.80)
	改善	0	0	10	0	0	0	0	0	10 (16.95)
	縮小	0	3	5	0	1	0	0	0	9 (15.25)
	統合	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	廃止	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	対象外	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0.0)
	計 (%)	0 (0.0)	29 (49.15)	29 (49.15)	0 (0.0)	1 (1.69)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	59 (100.0)



← 担当課評価と外部評価の「方向性」が一致するもの。

令和4年度外部評価結果一覧表(令和3年度事後評価)

総合発展計画 第1章～第3章

第1章 地域の特性を活かした産業振興と多彩な働き場の構築《産業振興》

第1節 雇用の安定と就労環境の充実

第1項 新たな雇用を生み出す企業誘致の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
1	1	1	立地企業支援事業	産業課 産業創造係	A	継続	継続	計画的に実施いただきたい。
1	1	1	ビジネスネットワーク事業	産業課 産業創造係	B	改善	改善	企業説明会のあり方を工夫して、より一層教育機関との連携を図っていただきたい。

第2項 未来の産業を担う人材育成と発掘

該当事業なし

第3項 多様な働き方を支える就労環境への支援

該当事業なし

第2節 所得の向上と後継者育成

第1項 農林水産業の育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
1	2	1	遊佐ブランド推進事業 (創業支援センター事業)	産業課 産業創造係	A	継続	継続	引き続き計画的に続けていただきたい。
1	2	1	あわびの放流事業	産業課 水産林業係	A	継続	継続	着実に事業を進めていただきたい。
1	2	1	チャレンジファーム研修生受入等 支援事業	産業課 農業振興係	B	改善	改善	県外を含めた新規就農相談会への参加を検討していただきたい。
1	2	1	まるごと遊佐推進事業	産業課 農業振興係	D	縮小	継続	遊佐の農産物の良さを関係機関と連絡を密にして取り組んでいただきたい。

1	2	1	産地化作物転作促進支援事業	産業課 農業振興係	A	継続	改善	園芸作物への転作を進めていただきたい。
---	---	---	---------------	--------------	---	----	----	---------------------

第2項 既存産業の競争力を引き出す経営基盤の強化 該当事業なし

### 第3節 地域資源を活かした観光振興

#### 第1項 効果的な情報発信と観客活動の強化

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
1	3	1	観光イベント実施事業	企画課 観光物産係	A	継続	改善	観光客のニーズに即した商品の提供と、安心・安全なイベント開催に向けて関係機関との連携を図っていただきたい。
1	3	1	観光情報提供事業	企画課 観光物産係	B	改善	改善	地域おこし協力隊、観光協会と更なる密接な連携を行い、観光客の増につながる、HPの作成に努めていただきたい。

#### 第2項 観光客受入れ体制の整備・拡充

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
1	3	2	グリーンツーリズム推進事業	企画課 観光物産係	D	縮小	改善	コロナ禍に対応できる、受け入れ体制の強化、および魅力あるメニューの作成を実施してください。

#### 第3項 高速道路を活用した拠点整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
1	3	3	遊佐パーキングエリアタウン整備事業	企画課 PAT整備推進室	A	継続	継続	令和8年度開業を見据え、着実に進めていただきたい。

## 第2章 若者に選んでもらえるまちづくり《移住・定住》

### 第1節 移住（帰郷・新規転入）希望者の定住促進

#### 第1項 遊佐が好きになる、住みたくなる情報の発信と回帰支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	1	1	IJUターン就職支援事業	企画課 定住促進係	C	縮小	改善	対象ケースの拡充に努めていただきたい。
2	1	1	若者ふるさと回帰推進事業	企画課 定住促進係	B	改善	改善	町内出身者への事業の周知方法を工夫していただきたい。
2	1	1	移住・交流推進事業	企画課 定住促進係	A	継続	改善	YouTubeやSNS等の魅せ方について工夫していただきたい。
2	1	1	移住交流推進支援事業	企画課 定住促進係	D	縮小	継続	関係機関と連携を更に深め、積極的に進めていただきたい。

#### 第2項 空き家の活用による移住者支援とアフターケアの充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	1	2	空き家再生地域おこし事業	企画課 定住促進係	D	縮小	継続	事業の更なる周知を図り、積極的に取り組んでいただきたい。
2	1	2	定住住宅空き家活用事業	企画課 定住促進係	D	縮小	改善	新しい制度内容の周知・PRを徹底していただきたい。
2	1	2	集落支援員活動事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	関係機関との連携を深め、事業を進めていただきたい。
2	1	2	移住世帯上水道使用量補助金交付事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	今後も計画的に事業を進めていただきたい。

## 第2節 若者の定住促進

### 第1項 同窓会などへの積極的な支援と若者対象事業の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	2	1	結婚支援推進事業	企画課 定住促進係	D	縮小	改善	マッチングアプリの導入等、交流手段を工夫していただきたい。

### 第2項 未来を担う“ゆざっ子”のはばたき支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	2	2	遊佐高生留学制度事業	企画課 企画課	B	改善	改善	他校にはない、遊佐高独自の魅力を効果的に発信し、寮などの対応を検討しつつ、生徒増につなげていただきたい。
2	2	2	遊佐高校キャリアアップ支援事業	教育課 総務学事係	A	継続	継続	今後も計画的に事業を進めていただきたい。
2	2	2	若者住宅建設支援（賃貸住宅建設）事業	地域生活課 管理係	B	改善	改善	賃貸住宅の不足解消につなげるため、実態を踏まえて民間業者等へ補助制度について周知を図っていただきたい。
2	2	2	若者住宅建設支援（建設支援）事業	地域生活課 管理係	A	継続	継続	今後も計画的に進めていただきたい。
2	2	2	若者住宅建設支援（取得支援）事業	地域生活課 管理係	A	継続	継続	今後も計画的に進めていただきたい。

### 第3項 家族の絆づくり支援

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	2	3	舞鶴地区若者定住促進事業	企画課 定住促進係	A	継続	継続	計画的に事業を進めていただきたい。
2	2	3	木造住宅耐震診断事業	地域生活課 管理係	A	継続	継続	町民への周知を図り、今後も計画的に事業を進めていただきたい。
2	2	3	持家住宅建設支援金交付事業	地域生活課 管理係	A	継続	継続	予算に注視しながら、今後も計画的に事業を進めていただきたい。

2	2	3	住宅リフォーム資金利子補給事業	地域生活課 管理係	B	改善	改善	事業内容の周知を行い、制度の利用拡大に努めていただきたい。
---	---	---	-----------------	--------------	---	----	----	-------------------------------

第4項 地域との絆づくり支援

該当事業なし

第3章 共に寄り添い、助け合い、幸せを実感できるまちづくり《子育て・健康・福祉》

第1節 子育てしやすい環境の整備

第1項 出産・子育てにおける切れ目のない環境整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	1	1	思春期赤ちゃんふれあい体験事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
3	1	1	幼児むし歯予防事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	計画的に進めていただきたい。

第2項 充実した子育て支援体制の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	1	2	放課後児童クラブの支援事業（2箇所）	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	関係機関と連携し、事業を着実に進めていただきたい。
3	1	2	子育て支援センターの運営事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	子育てしやすい環境の整備に向けて、引き続き推進していただきたい。
3	1	2	育児支援家庭訪問事業（エンゼルヘルパー派遣事業）	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	育児にあたる母親等の負担軽減を図り、計画的に進めていただきたい。
3	1	2	すくすくゆざっ子支援金支給事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	改善	支給事務処理について改善をしていただきたい。
3	1	2	子育て世帯移住促進対策事業	健康福祉課 子育て支援係	A	継続	継続	関係部署と調整を図り、子育てしやすい環境を継続的に進めていただきたい。



## 第2節 健康でいきいきと暮らせる環境整備

### 第1項 高齢者のいきがづくりと社会参加の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
2	2	1	介護予防事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	改善	プログラムの内容をさらに工夫をしていただきたい。

### 第2項 安心してくらすせる環境整備

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	2	2	高齢者福祉タクシー事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	改善	日曜日の利用について検討していただきたい。
3	2	2	高齢者鍼灸マッサージ助成事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	改善	広報の仕方を工夫していただきたい。
3	2	2	住宅改造整備補助事業	健康福祉課 福祉係	D	縮小	統合	住宅改造整備が必要な世帯が支援を受けられるようリフォーム事業との統合を図られたい。

### 第3項 健康づくりの推進と介護予防の充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	2	3	介護予防事業（ゆったり健康サロン）	健康福祉課 介護保険係	A	継続	改善	地区の実情に応じた周知方法を工夫していただきたい。
3	2	3	いきいき教室事業	健康福祉課 介護保険係	B	改善	改善	会場ごとの特性が分かるようにPR方法を工夫していただきたい。
3	2	3	寝具乾燥消毒サービス事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	町民の健康と衛生を守る事業であり着実に実行していただきたい。
3	2	3	ゆざ健康マイレージ事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	改善	健康グッズの景品の見直しと抽選方法の見直しについて工夫していただきたい。

3	2	3	若年者健診（わかば健診）	健康福祉課 健康支援係	A	継続	改善	受診率向上のため、健診を受けやすい体制整備と若者の意識改革を進めていただきたい。
3	2	3	各種がん検診精密検査未受診者対策の推進	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	着実に実施していただきたい。
3	2	3	各種がん検診事業（胃、大腸、子宮、乳、肺）	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
3	2	3	特定健診	健康福祉課 健康支援係	A	継続	改善	未受診者の特性に応じた受診勧奨を工夫していただきたい。
3	2	3	特定保健指導	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	計画的に実施していただきたい。
3	2	3	高齢者体力アップ事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	改善	参加率向上のため、周知方法を工夫していただきたい。
3	2	3	食生活改善推進員養成事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	改善	伝達講習の参加率の向上を図っていただきたい。
3	2	3	訪問口腔衛生指導	健康福祉課 健康支援係	A	継続	継続	着実に実施していただきたい。

#### 第4項 医療・介護保険事業の推進

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	2	4	医療制度の周知事業	健康福祉課 国民健康保険係	A	継続	継続	住民サービス向上に向けて、継続して事業を実施していただきたい。
3	2	4	ライフアドバイザー設置事業	健康福祉課 国民健康保険係	A	継続	改善	収納率向上のため、滞納者の実態把握を着実に実施していただきたい。
3	2	4	家族介護継続支援事業	健康福祉課 介護保険係	B	改善	改善	継続的に支援するための方策を検討していただきたい。
3	2	4	重度心身障がい者紙おむつ支給事業	健康福祉課 福祉係	A	継続	継続	介護者の経済的負担が軽減されるよう計画的に実施していただきたい。
3	2	4	地域医療充実支援事業	健康福祉課 健康支援係	A	継続	改善	定期的な実態調査と制度の周知を徹底していただきたい。

第3節 共に助け合う地域の絆の再生

第1項 地域福祉に対する町民意識の醸成

該当事業なし

第2項 地域福祉を担う人材育成

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	3	2	在町外国人等の「暮らし応援」助成金交付事業	企画課 企画係	A	継続	継続	着実に進めていただきたい。

第3項 地域福祉を支える仕組みの充実

総合発展計画			事業名	課・係名	担当課評価		外部評価	
章	節	項			評価値	方向性	方向性	意見
3	3	3	地域支え合い体制づくり事業補助金	健康福祉課 福祉係	A	継続	改善	補助金交付の対象の拡大を検討していただきたい。

## 令和4年度 外部評価制度に対して外部評価委員から出された意見

### 【外部評価制度全般に関して】

- ・初めて外部評価委員会に参加し、以下2点においてこの委員会の必要性を感じた。
  - ①町政の細部にわたる事業取り組みを外部評価委員に説明し、町民目線での評価を求めることで、住民参加の町政がなされ、より住民参加の事業実践へと繋げている。
  - ②事務事業評価シートを作成し、数値化することで、事業に携わる職員の方々の主観的・客観的療法の立場にたったの振り返りの機会になっている。課題の発見や新たな具体的手段での対応で業務にあたって下さることは、町民のニーズに届く丁寧な町政を導き出してくれている。
- ・町のことを町民が真剣に話し合っている姿はとても温かく感じました。

### 【外部評価委員会について】

- ・20代、30代の方々の参加が必要かと思いました。
- ・若い人たちにこの内容を知ってもらいたいと思います。若い人が参加しやすい体制づくり（町内の会社や事業所に理解を求め、職員を参加させてもらうなど）が必要と思いました。
- ・新しい委員が参加できたことは良かった。

### 【外部評価ヒアリングについて】

- ・ヒアリングまでの期間が昨年度より1週間長くあったため、資料の内容確認に時間をとることができた。
- ・資料をそろえていただいたことにより、ヒアリング時に大変助かりました。
- ・内容は知らなかった事業を詳しく知ることができ、とても良かった。これを踏まえ他の人にも必要に応じ情報提供できたら良いと思った。
- ・1日は大変だった。午前のみ・午後のみなど半日ずつやってほしい。
- ・次に向けて今回のことをもっと学びたい。
- ・今年度初ヒアリングに臨んだ方が多く、どういう事を聞くかも分かったと思いますので、次年度からは初歩的な事でも構わないのでどんどん質問できるように向けた方が良いと思います。
- ・ヒアリングの時、各係からのシート説明が、シートの読み上げが主で時には省略することもあったのでスピードについていくのがやっとだった。ゆっくりと省略しないで説明していただきたい。

### 【その他】

（全体的な日程に関して）

- ・推薦元（まちづくり協議会）の依頼から第1回委員会までの期間が短く、日程調整が大変だった。

（外部評価ヒアリングの公開について）

- ・町民の知りたいという声のある事業状況に関しては、外部評価ヒアリングの議論内容を公開し、町民の考える手立てにしてもいいのではないかな。
- ・公開する必要はない。また公開しても見ないのではないかな。

・ヒアリング内容は公開について、事業の評価を町民目線でやっている所を見ていただき、さらに参加したいという町民を期待したい。

(ヒアリングの班分けについて)

・3班体制では評価対象事業が少なくてよいが、自分の希望する(評価したい)事業に当たらないこともある。班を自分で選択できないか。

## 評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

令和3年度

### ① 町に裁量権がない事業(58事業)

※○は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費(千円)	担当課名・係名
260	選挙管理事務業務	9,707	総務課総務係
740	L G W A N 管理業務	150	総務課ICT推進室
444	電子申請システム整備事業	1,219	総務課ICT推進室
258	住民基本ネットワークシステムの安全な運用	877	総務課ICT推進室
445	統計調査業務	793	総務課ICT推進室
(531)	番号制度システム改修等事業	4,708	総務課ICT推進室
746	自衛隊募集対策費	44	総務課危機管理係
747	消防補償等組合負担金	13,251	総務課危機管理係
748	交通災害共済事業	229	総務課危機管理係
142	日本福祉大学との友好協力宣言事業	0	企画課企画係
3	登山道の整備推進事業	2,704	企画課観光物産係
(20)	中山間地域等直接支払事業	98,673	産業課農業振興係
(319)	庄内広域合成組合分賦金(食肉流通センター)	1,933	産業課農業振興係
(349)	直接支払推進事業	1,257	産業課農業振興係
(473)	環境保全型農業直接支払交付金	33,769	産業課農業振興係
(500)	経営所得安定対策等推進事業	4,799	産業課農業振興係
(501)	農業次世代人材投資事業(旧青年等就農給付金)	2,177	産業課農業振興係
(122)	松くい虫防除事業(地上散布)	10,615	産業課水産林業係
115	栽培漁業地域展開促進事業	879	産業課水産林業係
(234)	保全松林健全化整備事業	16,629	産業課水産林業係
(277)	地域水産物供給基盤整備事業	13,306	産業課水産林業係
331	漁業就業者確保育成事業	0	産業課水産林業係
333	鳥海岩ガキ漁場再生事業	400	産業課水産林業係
350	カシノナガキクイムシ駆除事業	0	産業課水産林業係
(474)	農地水保全管理支払交付金(共同活動)	129,189	産業課水産林業係
(474)	農地水保全管理支払交付金(向上活動)	22,684	産業課水産林業係
(477)	メジカ地域振興推進事業	755	産業課水産林業係
(594)	松くい虫防除事業(町単独)	18,319	産業課水産林業係
(637)	圃場整備事業	92,272	産業課水産林業係
391	空き農地バンク制度	0	農業委員会農地管理係
(156)	臨時県道整備負担金事業	4,437	地域生活課土木係

## 評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

32	狂犬病予防事業	152	地域生活課環境係
456	人権啓発活動事業	161	町民課町民係
41	老人福祉施設入所事業	7,164	健康福祉課福祉係
66	障がい者自立支援医療給付事業	8,497	健康福祉課福祉係
144	高齢者の訪問実態調査事業	130	健康福祉課福祉係
281	障がい者自立支援給付事業	326,426	健康福祉課福祉係
347	障がい者地域生活支援事業	7,215	健康福祉課福祉係
485	老人クラブ活動助成事業	1,883	健康福祉課福祉係
518	障がい児通所給付費等事業	13,878	健康福祉課福祉係
571	シルバー人材センター運営事業	1,404	健康福祉課福祉係
687	シルバー人材センター空き家対策事業費補助	1,404	健康福祉課福祉係
688	生活困窮者就労支援事業	2,056	健康福祉課福祉係
60	介護保険制度保険給付業務	1,729	健康福祉課介護保険係
151	介護保険啓発事業	118	健康福祉課介護保険係
173	介護保険制度認定業務	11,547	健康福祉課介護保険係
407	介護保険制度資格管理業務	2,079	健康福祉課介護保険係
246	国民健康保険支援事業(一般会計)	112,564	健康福祉課国民健康保険係
364	後期高齢者医療制度(一般会計)	245,022	健康福祉課国民健康保険係
365	広域連合負担金(保険料・事務費)	178,713	健康福祉課国民健康保険係
393	国民健康保険制度医療給付業務	1,103,750	健康福祉課国民健康保険係
432	国民健康保険制度資格管理業務	646	健康福祉課国民健康保険係
436	福祉医療給付事業(県単)	61,572	健康福祉課国民健康保険係
733	後期高齢者医療制度資格管理業務	8	健康福祉課国民健康保険係
145	母子保健事業	7,533	健康福祉課健康支援係
174	母子保健事業(1歳6ヶ月・3歳児健診)	724	健康福祉課健康支援係
762	献血推進事業	322	健康福祉課健康支援係
763	新型コロナワクチン接種事業	87,571	健康福祉課健康支援係

### ② 扶助的性質の高い事業(50事業)

※○は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費(千円)	担当課名・係名
162	家畜伝染病予防対策事業	973	産業課農業振興係
376	有害鳥獣駆除事業	495	産業課農業振興係
232	土地改良施設農外利用負担金	3,452	産業課水産林業係
714	水産業成長産業化支援事業	2,489	産業課水産林業係

## 評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

13	全町美化運動事業（2回）	419	地域生活課環境係
39	害虫防除事業	607	地域生活課環境係
737	海岸クリーンアップ推進事業	247	地域生活課環境係
439	年金制度周知業務	0	町民課町民係
409	社明運動費	105	健康福祉課福祉係
411	認知症老人対策事業（補助金）	80	健康福祉課福祉係
413	緊急時通報システム事業	373	健康福祉課福祉係
417	身障者福祉タクシー事業	1,847	健康福祉課福祉係
419	脊髄損傷者等援護事業	0	健康福祉課福祉係
483	民生児童委員協議会運営事業	4,229	健康福祉課福祉係
484	社会福祉協議会組織等支援事業	22,529	健康福祉課福祉係
622	敬老者褒賞事務（敬老祝金給付含む）	1,989	健康福祉課福祉係
625	食の自立支援事業	2,436	健康福祉課福祉係
649	雪かき応援事業	2,176	健康福祉課福祉係
744	身障者在宅福祉（人工透析）	356	健康福祉課福祉係
451	介護保険事業（一般会計）	300,886	健康福祉課介護保険係
59	児童手当支給事業	143,245	健康福祉課子育て支援係
280	ゆざっ子誕生祝金事業	2,550	健康福祉課子育て支援係
611	ひとり親家庭等家賃補助事業	1,439	健康福祉課子育て支援係
623	幼稚園一時預かり事業	1,673	健康福祉課子育て支援係
719	ゆざっ子エンゼルサポート事業	1,098	健康福祉課子育て支援係
720	障がい児保育対策事業	2,960	健康福祉課子育て支援係
738	福祉医療給付事業（町単）	19,407	健康福祉課国民健康保険係
247	重度心身障がい（児）者医療給付事業	37,872	健康福祉課国民健康保険係
248	ひとり親家庭等医療給付事業	3,768	健康福祉課国民健康保険係
249	子育て支援医療給付事業	39,339	健康福祉課国民健康保険係
147	定期予防接種事業	33,844	健康福祉課健康支援係
449	任意予防接種事業	4,674	健康福祉課健康支援係
130	外国人英語助手招致事業	10,588	教育課総務学事係
134	特別支援教育支援員設置事業	34,911	教育課総務学事係
199	学校給食調理事業	19,389	教育課総務学事係
208	友遊スクール設置事業	1,272	教育課総務学事係
209	就学時健診事業	220	教育課総務学事係
211	小学校学校保健事業	7,211	教育課総務学事係



## 評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

212	中学校学校保健事業	2,210	教育課総務学事係
253	学習指導書整備事業	3,008	教育課総務学事係
312	要保護準要保護事務	4,447	教育課総務学事係
397	元気な学校づくり推進事業	692	教育課総務学事係
672	特別支援教育就学奨励費事務	1,474	教育課総務学事係
673	中学校部活動指導員配置事業	1,117	教育課総務学事係
691	学習支援塾推進事業	1,122	教育課総務学事係
166	芸術文化振興事業	2,200	教育課社会教育係
171	奥の細道鳥海ツーデーマーチ開催事業	1,184	教育課社会教育係
607	統合型地域スポーツクラブ支援事業	2,261	教育課社会教育係
668	遊佐町子育てフォーラム開催事業	0	教育課社会教育係
695	図書館開館30周年記念事業	100	教育課社会教育係

### ③ 施設の維持管理、計画策定、県の要請や委託など確実な実施で目的が達成する事業 (58事業)

※○は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費 (千円)	担当課名・係名
355	庁舎管理事業	8,100	総務課総務係
655	システムソフト保守事業	1,543	総務課総務係
632	新庁舎建設事業	757,684	総務課総務係
328	例換整備事業	1,221	総務課総務係
459	公用車整備事業	9,589	総務課総務係
583	公会計財務書類作成事業	6,028	総務課財政係
696	PBC廃棄物運搬処分事業	3,821	総務課財政係
447	電算危機管理事業	43,748	総務課ICT推進室
227	地域イントラネット管理業務・改修業務	13,047	総務課ICT推進室
301	地域情報通信基盤管理事業	13,214	総務課ICT推進室
5	消防施設整備事業	10,329	総務課危機管理係
6	消火栓整備事業	2,948	総務課危機管理係
7	小型動力ポンプ更新事業	3,928	総務課危機管理係
8	小型動力ポンプ付積載車整備事業	13,112	総務課危機管理係
10	防災資機材備蓄庫整備事業	15,309	総務課危機管理係
14	防犯灯設置事業	4,759	総務課危機管理係
14	集落内防犯灯更新事業	2,540	総務課危機管理係
15	防災行政無線整備事業	10,329	総務課危機管理係

## 評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

266	常備消防費	275,115	総務課危機管理係
345	消防施設管理費	4,399	総務課危機管理係
656	新庁舎防災行政無線親局移設事業	15,496	総務課危機管理係
697	高齢者安全運転支援事業費補助金	1,985	総務課危機管理係
749	水難救助活動費	1,079	総務課危機管理係
750	消防団員費	14,941	総務課危機管理係
751	火災出動手当	490	総務課危機管理係
752	消防施設維持補修費	1,808	総務課危機管理係
753	消防施設整備事業	14,897	総務課危機管理係
754	水害救助活動費	0	総務課危機管理係
755	水害費一般経費	174	総務課危機管理係
756	災害対策一般経費	10,008	総務課危機管理係
757	災害救助活動費	0	総務課危機管理係
758	防火・防災普及啓発事業	96	総務課危機管理係
759	避難誘導看板等設置事業	264	総務課危機管理係
760	防災敷材等整備事業	15,309	総務課危機管理係
761	防災行政無線個別受信機整備事業	58	総務課危機管理係
235	遊佐町4大祭推進事業	0	企画課企画係
271	まちづくりセンター管理事業(活動交付金を除く)	12,544	企画課企画係
505	情報公開等制度運用事業	207	企画課企画係
78	遊佐町公共サイン管理事業	0	企画課観光物産係
131	西浜海水浴場砂除去事業	5,975	企画課観光物産係
219	山岳観光トイレ維持管理事業	11,183	企画課観光物産係
316	しらい自然館運営事業	12,220	企画課観光物産係
386	着地型観光育成事業	6,500	企画課観光物産係
348	観光施設改修事業	58,138	企画課観光物産係
470	地域間交流事業	375	企画課観光物産係
418	二次交通対策事業	2,735	企画課観光物産係
536	鳥海ふれあいの里関連施設指定管理事業	48,300	企画課観光物産係
739	海水浴場清掃事業	6,059	企画課観光物産係
322	さんゆう・さんグリーン指定管理事業	6,240	産業課農業振興係
380	体験農園整備事業	600	産業課農業振興係
381	放牧地貸付事業	252	産業課農業振興係
383	道の駅「鳥海」ふらっと整備事業	7,366	産業課農業振興係

## 評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

107	小規模土地改良事業 (町単)	1,000	産業課水産林業係
108	一般農道整備事業	2,394	産業課水産林業係
116	林道改良事業	1,507	産業課水産林業係
341	女鹿漁港修築事業	0	産業課水産林業係
352	排水機場管理費	3,554	産業課水産林業係
592	あわび陸上養殖施設整備事業	6,298	産業課水産林業係

### ④長期的な評価しか適当でない事業 (35事業) ※○は実施計画に記載のある事業

No	事業名	事業費 (千円)	担当課名・係名
609	空き家対策事業	1,470	総務課危機管理係
74	「遊佐町国土利用計画」による環境に配慮した土地利用の推進事業	649	企画課企画係
250	まちづくり町政座談会開催事業	450	企画課企画係
495	遊佐町水循環保全条例推進事業	2,322	企画課企画係
68	羽越本線等高速化早期実現要望活動事業	63	企画課PAT整備推進室
69	日沿道整備要望活動事業	251	企画課PAT整備推進室
70	日沿道山形・秋田県境区間建設促進期成同盟会要望活動	100	企画課PAT整備推進室
588	機構集積協力金交付事業	518	産業課農業振興係
589	強い農業・担い手づくり総合支援事業 (旧経営体育成支援事業)	2,470	産業課農業振興係
619	産地パワーアップ事業	0	産業課農業振興係
638	園芸大国やまがた産地育成推進事業	11,984	産業課農業振興係
639	畜産経営競争力強化支援事業	3,347	産業課農業振興係
710	元気な地域農業担い手育成支援事業	4,998	産業課農業振興係
711	経営継承・発展支援事業	2,000	産業課農業振興係
351	みどり環境税交付事業 (高度公益機能森林)	1,178	産業課水産林業係
578	みどり環境税交付事業 (共存の森運営事業)	0	産業課水産林業係
670	森林環境譲与税活用事業	4,340	産業課水産林業係
123	松くい虫防除事業 (樹幹注入)	0	産業課水産林業係
24	公害防止協定書締結事業	0	地域生活課環境係
354	湧水域共存の森活用事業 (環境)	0	地域生活課環境係
367	ごみ処理基本計画推進事業	0	地域生活課環境係
730	エネルギー基本計画策定事業	0	地域生活課環境係
178	上水道給水管網整備事業	40,777	地域生活課上水道係
549	上水道事業繰出金	32,300	地域生活課上水道係

## 評価対象外事業一覧表

(評価の必要性が低いため、評価対象から外す事業)

621	上水道管移設・布設替事業	3,476	地域生活課上水道係
664	上水道老朽管更新（道路改良関連）事業	979	地域生活課上水道係
190	合併処理浄化槽設置整備事業	2,420	地域生活課下水道係
194	下水道施設修繕事業	4,960	地域生活課下水道係
512	公共下水道事業繰出金	449,000	地域生活課下水道係
513	地域集落排水事業繰出金	73,000	地域生活課下水道係
601	公共下水道整備事業	31,680	地域生活課下水道係
646	公共下水道事業下水道管渠移設・布設替事業	0	地域生活課下水道係
152	介護保険次号計画の点検、分析	94	健康福祉課介護保険係
143	健康づくり推進事業	2,581	健康福祉課健康支援係
438	うつ病予防対策事業	357	健康福祉課健康支援係

おわりに

(令和4年度外部評価委員会を振り返って)

長引くコロナウイルス感染症によって、止むを得ず中止をせざるを得ない事業が昨年度と同じくいくつか発生した。それでも、評価活動を継続された結果、評価シートにはその事業の中止に至る経緯や原因について正確に記され、その上で次年度の方向性が示されることとなった。こうした評価活動の継続性によって得られる評価結果情報は、次に同様な事態に遭遇した際の重要な指針となりうる。リスクマネジメントを支える貴重な情報に他ならない。いくつかの中止した事業を含め、本年度は59事業を評価した。それらの評価活動の過程において確認された特徴や課題として、次の3点を指摘したい。

#### 1. 評価シートの記載方法の徹底

今年度は、評価シートの一部を変更した。具体的には、評価シートの「担当課年度評価」欄には従来、評価基準の有効性や妥当性などの数値の根拠となる説明と方向性の理由について記述していた。それを今年度からは「担当課年度評価(方向性の理由)」と「課題(改善すべき点や方向性)」との二つに欄を分けた。その理由の一つは、書くべき内容をより明確に特定することで、担当者によって記載内容が異なることを回避するためである。記載すべき内容の統一を図ろうとしたわけである。もう一つは、次年度以降取り組むべき課題を担当者に自覚化させ、併せて町民に対しても「見える化」することで、明確さと分かりやすさを前提に担当者、町民の双方による知恵を引き出すことを意図したからである。

評価シートの変更が行われたことで、評価シート作成において多少なりとも不満や混乱が生れることも想定されたが、杞憂に終わった。むしろ、これまでより事業の評価・方向性の理由付け、次年度以降の課題の整理が行いやすくなったと考えられる。外部評価委員の事前の評価シートの確認作業や事業ヒアリングにおいてスムーズに行われたことがその一つの証左と言える。

変更とは別に、従来から指摘してきたことであるが、評価シートの書き方として以下の諸点を再確認していただきたい。第1に、分かりづらい文言も見受けられるため、町民に分かりやすい文言や文章の作成を心がけると共に、より簡明・簡潔な文章とすることにも十分配慮していただきたい。第2に、目的の内容について、評価シート内に事業の「対象」の欄を設けていないため、「対象」が明記されていないケースが散見される。必ず目的の文中に入れることを徹底していただきたい。第3に、「担当課年度評価」や「課題」の欄の文中に「思われる」というような曖昧な表現が見受けられる。「担当者の思い」ではなく、事実や確定した方向性を可能な限り断定的に記述

することに努めていただきたい。第4に、評価値と方向性の整合性を確保するように努めていただきたい。

## 2. 評価対象事業の再吟味

評価対象事業の再吟味に際して改善すべき4点を指摘したい。

第1が、評価制度の適用を受けていない事業が多い点である。外部評価委員会では毎年ほぼ同じ事業数の評価を行なってきた。その一方で、毎年、評価とは関わりなくなんらかの理由によって新たな事業が生まれている。本来であれば、それら新たに生まれた事業も評価の対象となるべきものである。本町の評価制度の上では、評価対象外事業に該当するのであれば、課ごとの評価対象外リスト一覧表に記載される。一方、評価対象事業であれば、評価シートが作成され内部の事務事業評価の対象となり、その評価結果が外部評価委員会の評価を受けることになる。ところが、毎年ほぼ同じ事業数の評価となっている。このような実態は、新たに生まれた事業があるにもかかわらず、「評価対象の蚊帳の外」に置かれていることを意味している。この状況が継続するならば、年々評価対象事業数は減少の一途を辿ることになり、評価制度の存続意義が低下しかねない。それゆえ、評価の対象に上がっていない事業を評価の土俵に上げる取り組みが必要である。まずは、より詳しい実態を把握することから着手していただきたい。

第2が、評価対象外リスト一覧表に記載されている事業が非常に多いことである。令和4年度（令和3年度事後評価）における対象外リスト一覧に計上されている事業が181事業である。しかし、これら評価対象外事業となっている事業においても、有効性・効率性・活動量の評価は必要であり、この点に関しては、外部評価においても関与が可能と考えられる。また、評価対象外事業であっても、振興計画に盛り込まれている場合には、評価外とすること自体、あるいは評価のないまま自動的に振興計画に位置付けることに対して、町の説明責任が問われることにもなる。さらに、外部評価委員会においても評価外事業のうちいくつか関心の高い事業もある。それゆえ、評価対象外ルールの厳格な運用の下で再度、対象外とすることの適切性を確認すると共に、評価対象外事業であっても、振興計画の重要事業などについては外部評価委員会のヒアリングの対象とすることを検討していただきたい。

第3が、評価対象外事業の多さに関連するが、評価対象外の事業数が課によって偏りがあるということである。逆に言えば、課によって評価を受ける事業に大きな偏りが存在しているということである。無論、課の所管事務の性質によっては異なることが想定されるため、ある課では評価対象外の事業数が多く、評価対象事業数が少ないケース、またその逆のケースもある。このような実態も念頭に置いて、評価対象か否かを吟味していただきたい。

第4が、計画間において評価事業の整合性が欠如していることである。具体的には、振興計画に加えて、町の計画において総合戦略も重要であるため、総合戦略の事業においても外部評価委員会の評価対象とする事業としない事業を整理し、整合性を図っていただきたい。

### 3. 外部評価委員の任期

外部評価委員会が発足して以来、委員会構成の問題として若い委員の参加と女性委員の参加は常に重要なテーマの一つだった。今年度は、この点で大きな進展があった。若手の委員、女性の委員が増えたことにより、委員の年齢構成の若返りと男女比もほぼ半々となった。その結果として、事業ヒアリング時の質問内容の多様化が確認できたことや委員会における合意形成において建設的な討議が行われたことは大きな成果と言えるだろう。委員会構成が町の縮図に近い状態、いわゆる「ミニ・パブリックス(社会の縮図である小さな公衆)」のような形になったことは、委員会の意思が町全体の意思を代替している、あるいはほぼ町の人々から見ても異論はない状態を表していると言えるだろう。

このような利点を継続させていくため、行政評価外部評価委員会設置要綱の第3条第3項において、「委員の任期は、委嘱する日の年度の3月31日までとする。ただし再任は妨げない。」と定めているが、これを委員の経験を活かしたり能力を発揮してもらうために現行の1年間とする任期を2年に変更することも検討していただきたい。評価の仕組みが2年で全事業を評価する構造になっていることとも整合的かつ評価活動の効率化にも寄与するものと考えられる。なお、変更する際には、現在の委員を継続させるような工夫をしていただきたい。

これまで幾つかの改善事項を指摘してきたが、限りある資源の中での取り組みである。それゆえ、速さよりも計画的かつ着実に取り組むことを期待したい。

(埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授 斎藤友之)

令和4年9月 報告  
遊佐町行政評価推進委員会  
遊佐町行政評価外部評価委員会  
(事務局：遊佐町 企画課内／山形県飽海郡遊佐町遊佐字舞鶴 202)  
(電話番号：0234-72-4523)